

令和8年度

半田市

主 要 事 業 の 概 要

(予算説明会資料)

令和8年2月

目 次

企 画 部	3
総 務 部	20
市民経済部	30
福 祉 部	51
こども未来部	62
建 設 部	80
環境水道部	101
教 育 部	112
3か年実施計画 からの主な変更点	133
第7次総合計画 施策体系	133

適正な人事管理により、市行政の円滑な運営を図ります (人事管理事務)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

社会情勢の変化に伴う市民ニーズに対して、的確かつ柔軟に対応でき、新たな変革にチャレンジできる組織作りに努めます。また、職務に意欲的に取り組むことができる人事制度の確立に努めるとともに、心身ともに健康で個々の能力が十分に発揮できる環境整備を進めます。

(2) 令和8年度予算

事業費	36,146千円	財源 内訳	国県支出金	0千円	その他	301千円
			地方債	0千円	一般財源	35,845千円

◎当該年度主な事業内容

- 採用試験にテストセンター方式を導入 1,248千円
公務員統一試験を廃止し、テストセンター方式を新たに導入することで、受験機会の拡大と受験者の負担軽減を図り、採用する人材の裾野を広げます。
- 民間の就活情報サイトを活用 1,436千円
採用試験の見直しに合わせ、新たに民間の就活情報サイトを活用した採用広報活動を強化し、受験者数の増加を図ります。
- AI面接の試行 110千円
採用試験においてAI面接を試験的に導入し、試験官の経験や主観に偏ることなく、より客観的な視点を取り入れることで評価の質の向上を図ります。
- 欠員補充に人材派遣を活用 30,800千円
年度途中の産育休等に伴う職員の欠員に対応するため、会計年度任用職員の任用に加え、引き続き人材派遣制度を活用し、欠員補充に対する安定的な体制を確保します。

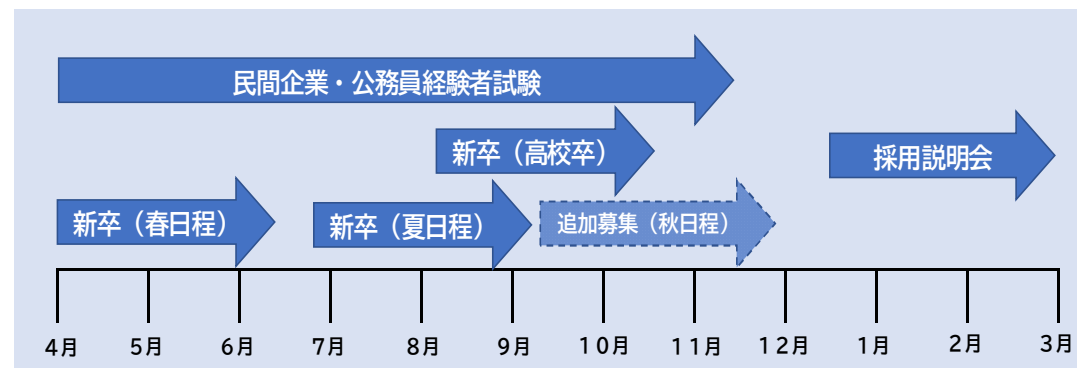
2. 得られる成果

職員の職場環境をより良くし、能力や実績に基づく適材適所の人員配置を含めた人事管理を行い、行政運営能力が高まります。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値 (実績値)	R8目標値
採用試験倍率	14.0倍 (9.0倍)	14.0倍 (7.3倍)	14.0倍

3. 事業実施イメージ

令和8年度採用試験 年間実施イメージ



職員の健康保持と、安全で快適な職場づくりを行います (職員給与福利厚生事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

労働安全衛生法等に基づき、職員を対象とした健康診断、メンタルヘルスケアのためのストレスチェック、安全衛生委員会の開催、職場巡視、職員互助会への交付金の交付等を実施します。

さらに、職務内容により感染のリスクが大きい職員への予防接種や、メンタルヘルスに関する研修を実施することにより、職員の安全と健康の確保及び快適な職場環境を保持します。

(2) 令和8年度予算

事業費	16,503千円	財源 内訳	国県支出金	0千円	その他	1,908千円
			地方債	0千円	一般財源	14,595千円

◎当該年度主な事業内容

1. 職員の名刺作成 510千円

職員が業務上使用する名刺を新たに公費で作成することとし、職員の負担軽減を図ります。

2. 職員の被服等の購入 1,411千円

例年の作業服・空調服・防寒着等の購入に加え、屋外での作業を行う職員の熱中症対策として、空調服の配備を強化します。

3. 職員健康診断およびストレスチェック 4,457千円

労働安全衛生法等に基づき、社会保険に加入するすべての職員を対象に実施します。

4. 職員互助会交付金 6,413千円

半田市に代わり職員の保健、元気回復その他厚生に関する事業を実施する職員互助会に対し、交付金を支出します。

2. 得られる成果

職員の健康と安全な職場づくりに努めることにより、公務災害・通勤災害や病気休職者の減少につながります。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
公務災害・労働災害申請件数	10件 (19件)	10件	10件
精神疾患による病気休職職員数	5人 (19人)	5人	5人

3. 事業実施イメージ

職員の健康保持と、安全で快適な職場づくり



自ら考え、行動できる「自立した職員」を育成します (職員研修事業)

歳出科目：02.01.01.12.01
 総合計画：5-3-1 行政運営

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

市民全体の奉仕者としてふさわしい品位と識見を備えた能率的な職員を養成し、市行政の円滑な運営を図ることを目的に職員研修を実施します。各階層で必要とされる基礎能力を育むための「階層別研修」、専門知識・技術を習得するための「専門研修」及び「派遣研修」により、職員を育成します。

(2) 令和8年度予算

事業費	9,598千円	財源内訳	国県支出金	52千円	その他	94千円
			地方債	0千円	一般財源	9,452千円

◎当該年度主な事業内容

1. 階層別研修 (消耗品費、自治体法務検定受験料、職員研修委託料)

5,637千円

各階層に必要とされる基礎能力向上のための全体研修を実施します。

新規採用職員の社会人基礎力を向上させ、周囲との接点の質を高めながら、自身の仕事を上司の期待どおり完遂し、自律的な成長サイクルを身につけるための研修を重点的に実施します。

2. 専門研修・派遣研修 (旅費、研修開催負担金、研修参加者負担金)

3,411千円

専門知識・能力を習得するため、人事課主催の研修のほか、自治大学校や市町村アカデミー等の研修施設への派遣研修を実施します。

3. 自己啓発 (システム使用料)

550千円

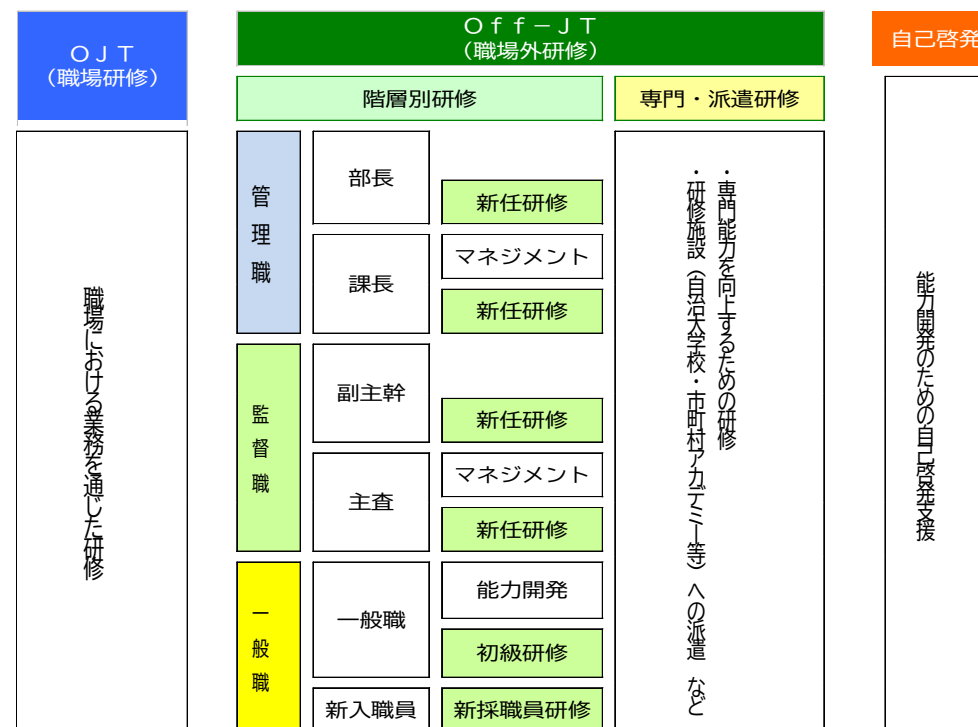
職員の自己啓発による能力開発と資質の向上を図るために実施します。職員の受講機会を増やすため、通信教育研修からeラーニングに変更します。

2. 得られる成果

職員個々の学ぶ意欲を高め、計画的かつ総合的な職員研修を実施することにより、自ら考え、行動できる「自立した職員」を育成します。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
人事評価 (執務態度・能力評価) の平均点	36.0点 (33.1点)	36.0点	36.0点
電話対応診断結果平均点	80.0点 (74.3点)	80.0点 (75.7点)	80.0点

3. 事業実施イメージ



多様なアプローチで市民に必要な情報をお届けします (広報事務)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

市報や市ホームページ、各種SNSなど効果的な広報媒体を通じて、必要な情報を必要な人に迅速かつ正確に提供するとともに、市民の市政への理解を促します。

(2) 令和8年度予算

事業費	27,616千円	財源 内訳	国県支出金	0千円	その他	3,067千円
			地方債	0千円	一般財源	24,549千円

◎当該年度主な事業内容

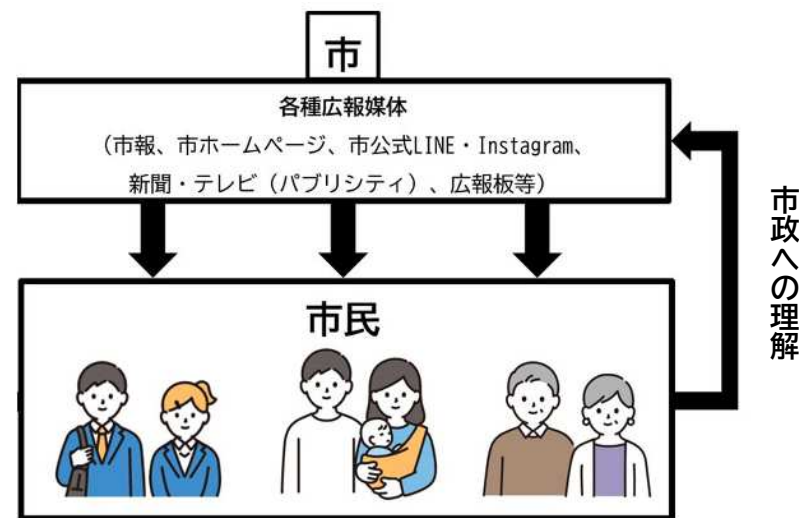
1. はんだ市報の発行 26,181千円
 はんだ市報を月一回発行し、市政情報を分かりやすく市民へ提供します。
2. 市ホームページ自動翻訳及び音声読上サービスの提供 763千円
 外国籍の方や視覚障がい者の方にも市ホームページを活用していただくため、自動翻訳サービス及び音声読上サービスを提供します。

2. 得られる成果

市政情報を適時適切に発信することで、市民が必要としている情報を提供できるとともに、市民の市政に対する理解を得ることができます。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
はんだ市報の満足度（市民アンケートでの「非常に満足」または「おおむね満足」の割合）	94.0% (95.5%)	96.3%	96.3%
市ホームページのアクセス数 (月間平均)	160,000件 (102,958件)	130,000件	110,000件
市公式LINEの登録者数	- (20,884人)	23,000人	26,000人

3. 事業実施イメージ



ふるさと納税で市と地場産品をPRします (ふるさと納税事務)

歳出科目：02.01.06.02.02
 総合計画：5-3-2 財政運営

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

ふるさと納税制度を活用して半田市の魅力や地場産品をPRし、「生まれ育ったふるさと」、「親しみのもてるまち」として本市に関心を持ち、応援する市民や市外在住者を増やします。

ふるさと納税の受付サイトにおいて、返礼品の魅力がより伝わるようにサイトページの改善を行うとともに、広告配信により露出度を高め、寄附額の増加を図ります。

また、新たな取組として、企業版ふるさと納税のマッチング支援業務委託を行い、本市の地方創生の取組を応援いただける企業への働きかけを強化します。

(2) 令和8年度予算

事業費	55,713千円	財源内訳	国県支出金	0千円	その他	54,723千円
			地方債	0千円	一般財源	990千円

◎当該年度主な事業内容

- ふるさと納税受付サイトの利用及び関連業務の委託 54,218千円
 さとふる、楽天等のふるさと納税受付サイトを利用して寄附を受け付けます。また、ふるさと納税の円滑な運営のために、寄附者対応等の関連業務を委託します。
- ふるさと納税の広告配信 440千円
 楽天等の受付サイトで広告配信を行い、返礼品の露出度を高めます。
- 企業版ふるさと納税のマッチング支援業務委託 990千円
 マッチング支援事業者の持つ企業とのつながりやノウハウを活かし、企業版ふるさと納税の寄附見込みのある企業への働きかけを行います。

2. 得られる成果

自主財源を確保するとともに、本市及び地場産品を広くPRすることができます。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
ふるさと納税寄附額	100,000千円 (97,715千円)	100,000千円	112,000千円
ふるさと納税寄附件数	5,000件 (4,042件)	5,000件	5,300件
企業版ふるさと納税寄附件数	- (4件)	-	10件

3. 事業実施イメージ



山車・蔵・古・赤レンガのまち、半田
 愛知県半田市ふるさと納税



愛知県半田市ふるさと納税



愛知県半田市ふるさと納税

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

民間の持つ技術やノウハウを取り入れ、地域・行政課題の解決、業務効率化を図るため、STATION Aiを通じた情報収集を進め、生産性の向上を目指します。

令和8年度は、官民共創によるイノベーション推進を目的として、スタートアップ企業とのマッチングを円滑に進めるための職員伴走支援を新たに実施するとともに、実証実験に取り組みます。

(2) 令和8年度予算

事業費	3,975千円	財源 内訳	国県支出金	0千円	その他	0千円
			地方債	0千円	一般財源	3,975千円

◎当該年度主な事業内容

1. STATION Ai 利用料 423千円

STATION Aiのコワーキングスペース、会議室等を利用し、スタートアップ企業等とのネットワークを構築します。

2. 官民共創伴走支援業務 2,980千円

共創推進に向けた地域・行政課題の言語化、スタートアップ企業へのリバースピッチイベントの実施、実証実験を行い、行政・地域課題の解決と生産性の向上を図ります。

2. 得られる成果

地域や行政が抱える課題の解決に向けた広い視野を得るとともに、実証実験を通して地域・行政課題の解消を図ります。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
庁内における「STATION Ai」を活用した地域・行政課題解決に向けた実証実験の実施件数	- (-)	-	2件

3. 事業実施イメージ

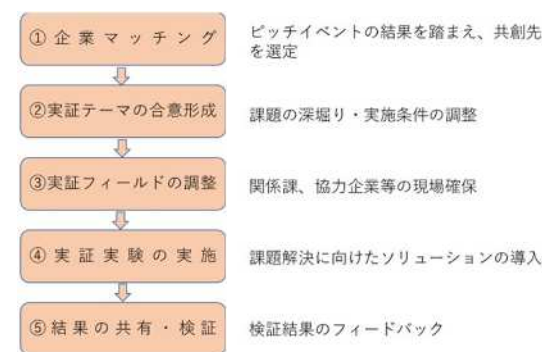
(1) STATION Ai活用



(2) 官民共創に向けた取組み



リバースピッチイベント



実証実験フロー

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

子育て世帯や若い世代をターゲットにした認知度・都市イメージ向上のための情報発信と市民のまちへの誇りと愛着醸成につながる取組を実施することで、半田市に関わりのある交流人口・関係人口の増加を図り、その先の定住人口の獲得を目指します。

(2) 令和8年度予算

事業費	6,705千円	財源内訳	国県支出金	1,624千円	その他	0千円
			地方債	0千円	一般財源	5,081千円

◎当該年度主な事業内容

1. はんだの魅力発見ツアー 45千円
2. プレスリリース配信サービス PRタイムズ 924千円
3. プレスリリース作成支援業務委託 159千円
4. ノベルティグッズ作成業務委託 165千円
5. 各種データ分析支援業務委託 4,488千円

ウェブサイトにアクセス、検索における視認性、SNSでの拡散性など、情報発信に関するデータ分析（デジタルマーケティング分析）や来訪者属性や施設訪問、周辺交通量などの分析（人流データ分析）を実施し、市の取組の改善を進めます。

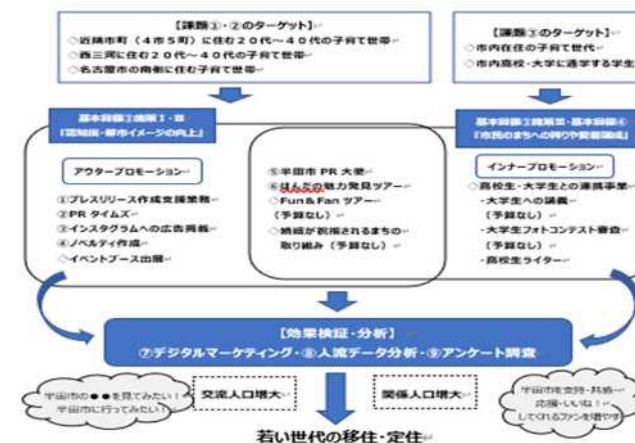
2. 得られる成果

市内外にまちの魅力を発信することで、市外から人を呼び込むとともに、市民のまちへの誇りや愛着を醸成し、半田市に住み続けてもらうことで定住人口の確保につながります。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
「半田市を知っている」と答えた東海3県在住者の割合	-	53% (64.6%)	70%
これからも住み続けたいと答えた市民の割合 (39歳以下)	70% (48.1%)	58%	58%
「半田市に愛着を感じる」と答えた市民の割合 (39歳以下)	75% (66.9%)	75%	75%
「はんだで暮らす」Webページのエンゲージメント数	- (6,834回)	7,100回	7,100回

※エンゲージメント数とは、ページを10秒以上継続して閲覧した場合やページ内のリンクをクリックした場合等、WEBページにおける特定の行動を伴う閲覧の件数

3. 事業実施イメージ



一人ひとりに“ぴったりの行政”をDXで実現します (DX推進事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

半田市DX推進計画(第2期)で掲げる、「ぴったりの行政」の実現に向け、オンライン手続きの拡充や生成AIなどの活用を進め、市民サービスの向上と業務効率化を図ります。

令和7年度から本格導入した生成AIの活用に加え、令和8年度からは、新たに「ローコードツール」の導入、業務改善とデジタル人材の育成を一体的に行う「業務改善伴走支援事業」を実施し、業務の見直しからDXの実現までを、現場の職員自らが取り組む意識の醸成と環境を整えます。また、「デジタル技術実証サポート事業」として、デジタル技術を活用して地域課題の解決を図る取組を行う事業者等に対し、経費の一部を補助することで、民間の知見や技術を柔軟に取り入れた課題解決・行政サービスの改善を推進します。

(2) 令和8年度予算

事業費	36,572千円	財源 内訳	国県支出金	2,216千円	その他	0千円
			地方債	0千円	一般財源	34,356千円

◎当該年度主な事業内容

1. 市民が選べる、使いやすい行政サービス

施設予約システムの変更に係る導入業務委託料等 4,433千円

オンライン申請サービス使用料 3,907千円

2. データを活かし、見える行政・動く行政

BIツール導入支援業務委託料 2,972千円

3. 人を活かす業務改善

生成AIサービス使用料 1,386千円

ローコードツール導入及び運用支援業務委託料 4,189千円

業務改善伴走支援事業 4,345千円

4. 地域と“共に創る”つながるまちづくり

デジタル技術実証サポート事業補助金 1,000千円

2. 得られる成果

オンライン手続きの拡充により、窓口・オンラインなど手続きの選択肢が増えることで、市民が利用しやすい時間や方法で、手続きを進められる環境が整います。

生成AIなどの活用により、作業に費やす時間を短縮し、職員が注力すべき、政策を検討し、戦略を考える時間を確保することで、各課業務の質の向上につなげます。また、自ら変革(DX)を主導できる職員が育つことで、社会の変化に柔軟に対応することができます。

目標値や目指すべき状態	現状値	R8目標値
行政手続きオンライン化率(申請件数基準)	70.3% ※R6実績	85.0%
デジタル技術を活用した業務改善数	- ※新規指標	10件
生成AIを業務で活用した職員	27.8% ※新規指標(R7.12時点)	50%

3. 事業実施イメージ



市民活動団体の活動を下支えします (はんだまちづくりひろば運営事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

市民活動の拠点としてはんだまちづくりひろばを運営し、地域の課題解決のため様々な分野で活動している市民活動団体が、今後とも自立的・継続的に活動が行えるよう、また活動の活性化につなげられるよう、団体運営や活動に関する相談・コーディネートや団体のスキルアップを図る各種事業を実施します。その他、団体同士がつながる交流の場の提供や、SNS等による情報提供を行います。

(2) 令和8年度予算

事業費	140千円	財源 内訳	国県支出金	0千円	その他	0千円
			地方債	0千円	一般財源	140千円

◎当該年度主な事業内容

1. まちづくりひろば公式LINEアカウントの運用 68千円

まちづくりひろばの情報発信を強化することを目的に、LINE公式アカウントを開設し運用します。より多くの方へタイムリーかつ効果的に情報を届けることで、団体間の交流や団体活動の活性化を目指します。

2. 市民活動団体の活動支援 72千円

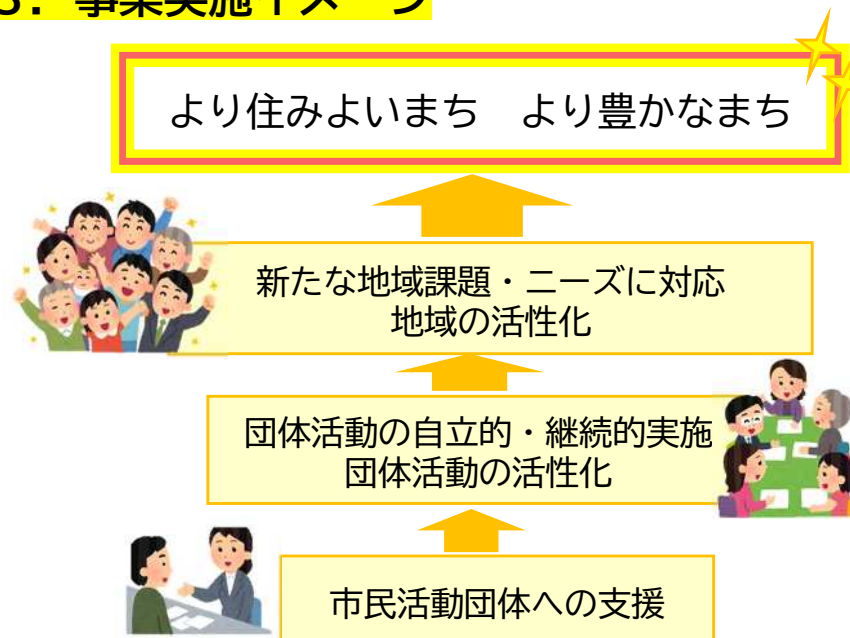
アンケート調査結果に基づき、団体ニーズに沿ったスキルアップ支援講座を開催するほか、市民活動団体間のネットワーク形成を促進する講座を実施します。

2. 得られる成果

市民活動団体が自立しながら活動を続けていくことで、行政の手が行き届かないきめ細かな市民ニーズに対応したり、まちの魅力をより引き出すことができ、住みよいまちづくりや地域の活性化、新たに発生する地域課題への柔軟な対応が期待できます。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
登録団体の市民活動支援への満足度	95.0% (94.3%)	98.0%	98.0%

3. 事業実施イメージ



市民協働のすそ野を広げる活動をします (市民協働推進事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

半田市市民チャレンジ協働プランに基づく協働によるまちづくりを推進するため、広く協働意識の醸成を図ります。地域課題解決に取り組む活動を知り、共感し、地域での活動参加につながるイベントとして協働フェスタを実施します。また、職員の入庁年数や職位に応じ、協働による取組に必要な姿勢やノウハウ、協働の重要性を学ぶ職員研修、多様なセクターとの交流会などを通して、協働を推し進める地盤固めとなる事業を実施します。

(2) 令和8年度予算

事業費	883千円	財源 内訳	国県支出金	0千円	その他	0千円
			地方債	0千円	一般財源	883千円

◎当該年度主な事業内容

1. 職員向け市民協働推進研修の実施 453千円

施策推進にあたり必要となる市民協働意識の醸成のため、階層別の職員研修を実施します。

2. 市民チャレンジ協働プランの推進 293千円

「半田市市民チャレンジ協働プラン」(令和4年3月策定)の中間年度にあたることから、計画の進捗を評価し、評価をふまえた中間見直しを、市民チャレンジ協働プラン推進委員会にて実施します。また、同委員会委員、市民活動団体及び職員が一堂に会し、多角的な視点で協働による取組を具体的に考える交流会を実施します。

2. 得られる成果

市民、市民活動団体、学校、事業者、行政など多様な主体が参加するイベントや交流会などを通して、より互いの理解が深まり、新たな連携が生まれ、プランに掲げる多彩な協働による持続可能な地域づくりの促進が期待できます。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
協働フェスタ参加者の市民協働の関心度	90.0% (90.1%)	92.0%	98.0%
職員の市民協働への理解度	95.0% (97.8%)	98.0%	98.0%

3. 事業実施イメージ

1. 職員研修



2. 交流会



市民活動を資金面で支援します (市民活動助成事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

市内で活動するNPO・ボランティア団体・自治区などの市民活動団体が取り組む公益的な事業に対し、助成金を交付することにより、団体が行う事業を資金面で支援し、団体の自発的・自立的活動の促進や継続的な事業実施を目指します。

行政だけでは解決できない地域課題や多様な市民ニーズに対応するため、団体が企画実施する事業に係る費用を助成します。

(2) 令和8年度予算

事業費	6,374千円	財源内訳	国県支出金	500千円	その他	0千円
			地方債	0千円	一般財源	5,874千円

◎当該年度主な事業内容

1. 市民活動助成金 6,000千円

「男女共同参画社会推進事業補助金」や「はたらく親を応援する団体育成事業」等の資金支援制度を「市民活動助成事業」として統合します。はじめの一步プラス部門、オープンコラボ部門、行政コラボ部門の3部門により、市民活動団体の状態や活動内容に沿った助成を行います。

2. 得られる成果

市民活動団体の自発的及び自立的な活動を促進することで、地域の多様な市民ニーズ・地域課題に対応でき、住みやすいまちづくりにつながります。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
市民活動助成金交付団体数	12団体 (10団体)	15団体	21団体

3. 事業スケジュール

	R7.12月	R8.1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月～
一次募集	募集受付		審査	助成対象活動期間 (4月1日～R9.3月末まで)				
二次募集				募集受付	審査	助成対象活動期間 (7月1日～R9.3月末まで)		

※二次募集は一次募集の終了後、予算の範囲内で実施します。

自分らしく生きられる社会を目指します

(男女共同参画社会推進事業)

総合計画：5-2-2 自分らしく生きられる社会

歳出科目：02.01.12.04.01

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

半田市男女共同参画推進条例並びにみんなが輝くチャレンジプラン（第3次半田市男女共同参画推進計画）に基づき、すべての市民が、多様性を認め合いながら、性別にかかわらず、個性と能力を十分に発揮し、活躍できる社会（誰もが自分らしく生きられる社会）となるよう理解の促進を図ります。

(2) 令和8年度予算

事業費	905千円	財源内訳	国県支出金	198千円	その他	0千円
			地方債	0千円	一般財源	707千円

◎当該年度主な事業内容

1. LGBTQに関する相談事業 36千円

多様な性に関する悩みをもつ性的少数者等を対象に相談窓口を開設し、相談者が抱える悩みや不安の課題解決を図ります。また、教職員等を対象とした、児童生徒が抱える性の多様性に関する悩みや当事者からの相談に対する教職員が抱える課題などについて情報共有を図り、課題解決へとつなげます。

2. ワーク・ライフ・バランス推進事業 401千円

誰もがやりがいや充実感を感じながら働き、出産・子育てなど、多様なライフスタイルに応じた働き方が選択できるよう、各種ワークショップを実施し、事業所及び市民のワーク・ライフ・バランスの推進を図ります。

3. みんなが輝くチャレンジプラン（第3次男女共同参画推進計画）

中間見直し事業 315千円

令和3年度の策定から5年が経過し、社会情勢の変化等に即した計画になるよう、計画の中間見直しを実施します。

2. 得られる成果

市民の多様性への理解が深まり、「自分らしく生きられる社会」の実現につながります。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
各男女共同参画社会推進事業参加者数	- (-)	400人	400人
ワーク・ライフ・バランス推進セミナーの参加企業数	- (-)	20社	20社

3. 事業実施イメージ

1. LGBTQに関する相談事業

教職員等を対象に意識醸成及び情報交換を目的とした研修の様子



2. ワーク・ライフ・バランス推進セミナー

市内事業者を対象に先例事例の紹介や情報交換を目的としたセミナーの様子



自治区の活動をサポートします (自治振興推進事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

市内42自治区の自治活動の推進と地域の福祉の増進を目的として、各区が広く自主的な活動が行えるよう、自治振興費を交付しているほか、地域担当職員の配置により、自治区の課題を速やかに把握し、市の担当部署につなげられるよう体制を整えることで、早期解決に結び付けているとともに、自治区との信頼関係を築きます。

(2) 令和8年度予算

事業費	43,217千円	財源 内訳	国県支出金	0千円	その他	0千円
			地方債	0千円	一般財源	43,217千円

◎当該年度主な事業内容

1. 自治振興費交付金 42,736千円
自治振興費交付金を交付し、継続的な自治活動が行えるよう支援します。
2. 自治区への加入支援事業 378千円
自治区加入勧誘につながる啓発グッズを転入者に配布するとともに、自治区による加入勧誘活動に活用できるよう提供します。
3. 地域担当職員の育成事業 56千円
地域と行政のつなぎ役を担う地域担当職員の育成を目的とした研修を実施します。

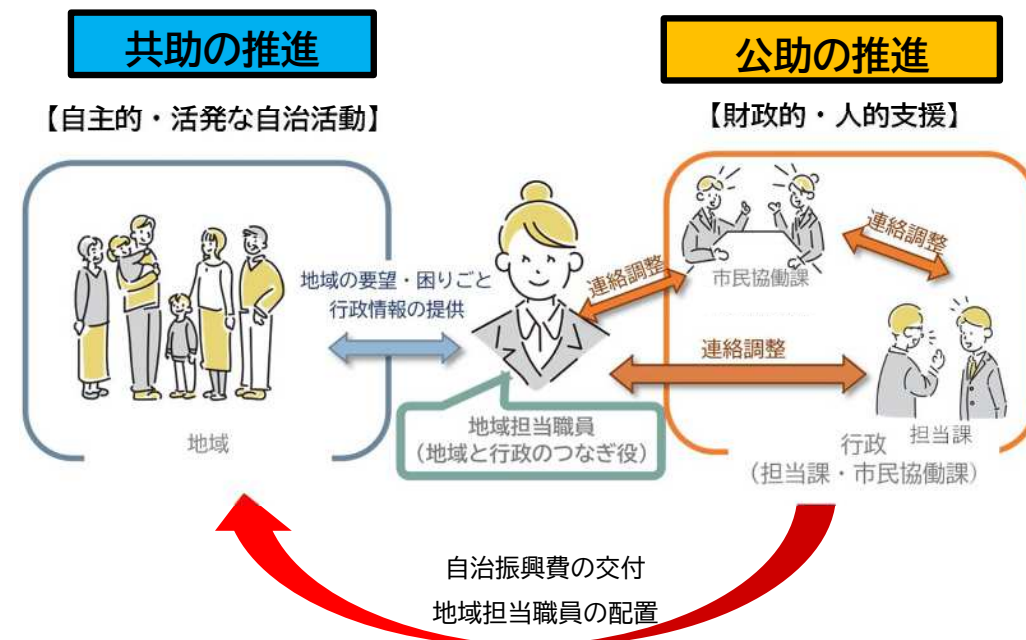
2. 得られる成果

市内の自治活動を支援することで、地域自治の強化及び問題解決力の向上につながります。また、地域担当職員が地域と行政とのつなぎ役としての役割を果たすことで、地域課題の早期発見・解決につながります。

共助・公助双方の担い手が役割を果たすことで、住み続けたいと思えるまちづくりが推進されます。

目標値や目指すべき状態	自治区が地域における自治活動を活発かつ持続的に行えている状態であること
-------------	-------------------------------------

3. 事業実施イメージ



未来に対応した

コミュニティ組織の構築を応援します (小学校区コミュニティ活動支援事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

人口減少等の影響により多様化・複雑化が進む地域課題に対応し、自治区が持続可能な地域運営をしていけるよう、小学校区単位での協力・活動体制の構築を進めます。

原則、公共施設の建て替えや複合化を契機として、地域の多様・多世代の方々と、高齢化や人口急減がもたらす地域課題を共有・把握する機会を設け、地域事業の最適化や合理化に向けた小学校区単位の協議組織の構築や活動を支援します。

2. 得られる成果

小学校区単位のコミュニティ組織の構築・活動の推進により、地域の持続可能かつ効率的な自治活動につながります。

地域コミュニティの持続性向上のために、公共施設の更新等による地域の拠点整備に合わせた対話の場を展開し、未来に向けた地域づくりの意識醸成を図ることで、小学校区単位のコミュニティ組織の構築を目指します。

目標値や目指すべき状態	小学校区単位の協議の場があり、小学校区コミュニティ組織設立に向けた意識が醸成されている状態
-------------	---

(2) 令和8年度予算

事業費	1,475千円	財源内訳	国県支出金	0千円	その他	0千円
			地方債	0千円	一般財源	1,475千円

◎当該年度主な事業内容

1. 広域コミュニティ構築検討協議会運営委託事業 850千円

校舎の建て替えに併せて複合化する乙川東小学校の区域において、ファシリテーションの専門事業者に委託し、地域の多様な主体と話し合う「地域のみらいミーティング」を継続的に展開します。

2. 小学校区コミュニティの伴走支援事業 595千円

成岩地域共創センターの運営委託を予定している(仮称)成岩小学校区コミュニティの組織力向上のため、専門事業者に委託し、伴走支援します。

3. 事業実施イメージ



	【フェーズ1】	【フェーズ2】	【フェーズ3】	【フェーズ4】	【フェーズ5】
内容	<ul style="list-style-type: none"> 「0」のファシリテーターを登用し、施設が持つべき機能や活用方法について、利害関係者と協議する場を設定する(→基本構想・計画を策定時に開催) 地域づくりについての内容も踏まえ、概ね5回程度開催する 	<ul style="list-style-type: none"> 施設の具体的な運用協議に併せ、小学校区単位の組織(≒小学校区コミュニティ構築)構築協議を実施する 開館準備会につながる展開で終結させる 	<ul style="list-style-type: none"> 施設の管理運営を担うための小学校区単位の地域組織を構築するための協議を行う 市が伴走しつつ、住民主体で準備会が展開されるよう支援する 	<ul style="list-style-type: none"> 伴走支援を受けながら、施設運営に適した法人化を目指す(伴走支援内容：1年目) 法人化手続きの支援、組織運営体制づくり、運営方針の策定支援を行う 	<ul style="list-style-type: none"> 法人組織が円滑に施設を運営できるよう支援する(伴走支援内容：2年目) 組織運営の定着、会計・財務管理体制の整備、コンプライアンス・リスク管理体制を構築する(伴走支援内容：3年目) 自立運営への移行支援、事業評価・改善サイクルの導入支援、地域住民参画の拡大策、外部資金調達・持続性向上を支援する
予算(見込)	◇ 広域コミュニティ構築検討協議会運営委託料	◇ 広域コミュニティ構築検討協議会運営委託料 ◇ 開館準備会委員謝金	◇ 開館準備会委員謝金	◇ 伴走支援委託料 ◇ 開館準備会委員謝金	◇ 伴走支援委託料

多文化共生社会の実現を目指します (多文化共生推進事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

「第2次半田市多文化共生プラン」で掲げる基本目標「だれもが暮らしやすい環境の整備」「日本語習得・多文化コミュニケーションの促進」「だれもが協働し認め合うための意識の醸成」「多文化共生を支える人材や組織の発掘・育成」に基づき、市民や市民活動団体、企業等の様々な主体と連携・協力しながら各施策を展開し、多文化共生社会の実現を目指します。

(2) 令和8年度予算

事業費	18,359千円	財源 内訳	国県支出金	8,959千円	その他	3,206千円
			地方債	0千円	一般財源	6,194千円

◎当該年度主な事業内容

1. 多文化共生推進事業運営委託 10,367千円
多文化共生分野においてノウハウ等を持つ半田国際交流協会に共生推進に係る事業(ネットワーク会議・日本語教室・講座等)を包括的に委託し、より効果的な事業の実施に繋がります。
2. 多文化共生相談窓口の運営 6,916千円
テレビ電話通信用タブレットやポルトガル語及びベトナム語を母国語とする多文化共生相談員を配置し、外国籍市民の困り事の相談を受け、解決に向けた支援等を行う相談窓口を運営します。
3. 多文化共生推進懇談会の開催 140千円
大学、国際交流協会、商工会議所、市民活動団体などの代表者等を中心に組織された会議を開催し、プランに基づき実施する事業等について議論し、より一層多文化共生の推進を図ります。

2. 得られる成果

多文化共生への理解が促進され、誰もが国籍等を問わず互いに理解し、尊重し合うまちにつながります。

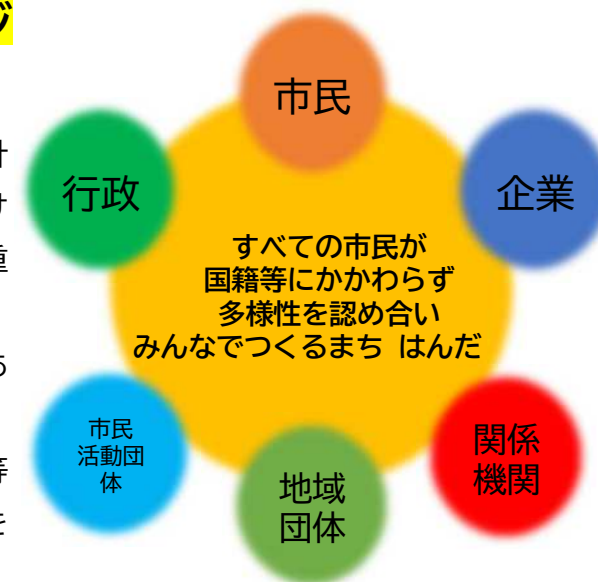
目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
講座・イベント等参加者の多文化共生への理解度	- (-)	90%	90%
外国籍市民と共生できていると思う市民の割合	- (28.6%)	35.0%	38.0%
多文化共生の推進にあたって市民活動団体や企業など様々な主体との協働体制が構築され、連携した事業等の実施ができてきている状態。			

3. 事業実施イメージ

【プランの推進体制】

プランに掲げる基本目標を計画的に推進するため、行政だけでなく様々な主体との連携が重要な役割を持ちます。

そのため、プランの推進にあたっては市民、市民活動団体、地域団体、企業、各関係機関等と連携し、協力しながら施策を推進します。



成岩小学校区の地域拠点を整備します ((仮称) 成岩地域交流施設建設事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

人口減少等の影響により多様化・複雑化が進む地域課題に対応していけるよう、老朽化により更新予定であった成岩公民館を地域の拠点（成岩地域共創センター）として整備し、持続可能な地域活動の場として活用できるようにするとともに、既存の自治区を超えた小学校区単位の組織構築の意識醸成を図ります。

(2) 令和8年度予算

事業費	60,520千円	財源 内訳	国県支出金	30,259千円	その他	0千円
			地方債	0千円	一般財源	30,261千円

◎当該年度主な事業内容

1. 建設工事 51,700千円

成岩地域共創センターの外構工事（駐車場の舗装、フェンス・ガードレールの整備、植栽等）を実施します。

2. 備品等整備事業 8,820千円

成岩地域共創センターの活用に必要な消耗品・備品（椅子、机等）を整備します。

2. 得られる成果

自治区をはじめとした地域の住民や団体が小学校区単位をかたちづくり、当該施設の活用を通して連携・協働することで、主体的な地域活動の展開が図られます。また、地域の多様な主体の交流及び連携を促進することで新たな価値を生み出し、持続可能な地域づくりの発展につながります。

目標値や目指すべき状態

住民自身が「住み続けたいまち」づくりを主体的に推進できるよう、成岩小学校区の地域拠点が整備されている状態

3. 整備イメージ



1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

人口減少等の影響により多様化・複雑化が進む地域課題の解決のために、多様な主体の力を結集した持続可能な地域づくりの拠点として設置する、地域共創センターを運営します。

地域共創センターは、児童が歩いて通うことができ、地域の誰もが知っている学校の敷地内に設置するものであり、区域内の住民や自治区、学校関係者、企業、市民活動団体等との連携強化を図ることで住民主体による「住み続けたいまちづくり」を推進します。

(2) 令和8年度予算

事業費	8,968千円	財源 内訳	国県支出金	0千円	その他	2,192千円
			地方債	0千円	一般財源	6,776千円

※その他財源：使用料収入

◎当該年度主な事業内容

1. 施設運営委託事業 4,985千円

当該小学校区住民等で構成される地域組織に施設の運営を委託することにより、地域共創センターが住民にとっての住み続けたいまちの拠点となるよう取り組みます。

2. 公共施設の維持管理事業 2,883千円

市の業務として取り組むべき施設の維持管理（光熱水費等の支払い）や保守点検・清掃・警備業務の委託事業を実施します。

2. 得られる成果

多様・多世代の住民の居場所が整備されることにより、住民自身が「住み続けたいまちづくり」に向けた活動の担い手となることができます。また、当該施設の活用を通して地域の多様な主体の交流・連携が促進されることにより、自治区や既存の地域コミュニティを補完する小学校区コミュニティの活動が活発化し、住み続けたいまちづくりに必要な事業が地域主体で展開されることが期待できます。

目標値や目指すべき状態	地域が主体的に「住み続けたいまちづくり」に取り組むことができるよう、多様な主体の連携により地域共創センターを活発に活用できている状態
-------------	--

3. 事業実施イメージ

①委託業務 (委託先：(仮称)成岩小学校区コミュニティ)	②直営実施 (市民協働課)
<主な役割> ・館内の見守り ・地域内での連携のハブ的役割（学校と地域とのつなぎ役） ・簡易清掃 ・貸館対応 ・交流イベントの企画・運営 等	<主な役割> ・各種保守点検等契約 ・運営に関する伴走支援 ・固定費（電気代、ガス代、水道代、電話・Wi-Fi・光通信費等）の支払い

公平性等が担保された入札・契約を行います (入札・契約管理事務)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

公共事業の入札・契約事務を実施するにあたり、公平かつ公正で透明性の高い事務を執行し、競争性の確保を前提とした入札制度を運用するとともに、地元経済の活性化を目的とした地元企業の受注機会の確保に努めます。

また、市が発注する請負工事等について、工事成績評価及び請負業者への指導等を実施し、工事の適正かつ良質な履行を確保します。

(2) 令和8年度予算

事業費	454千円	財源内訳	国県支出金	0千円	その他	0千円
			地方債	0千円	一般財源	454千円

◎当該年度主な事業内容

1. システム使用料 304千円

入札・契約事務を適切かつ効率的に実施するため、各種システムを利用します。

2. 優良建設工事の表彰制度に係る消耗品費 18千円

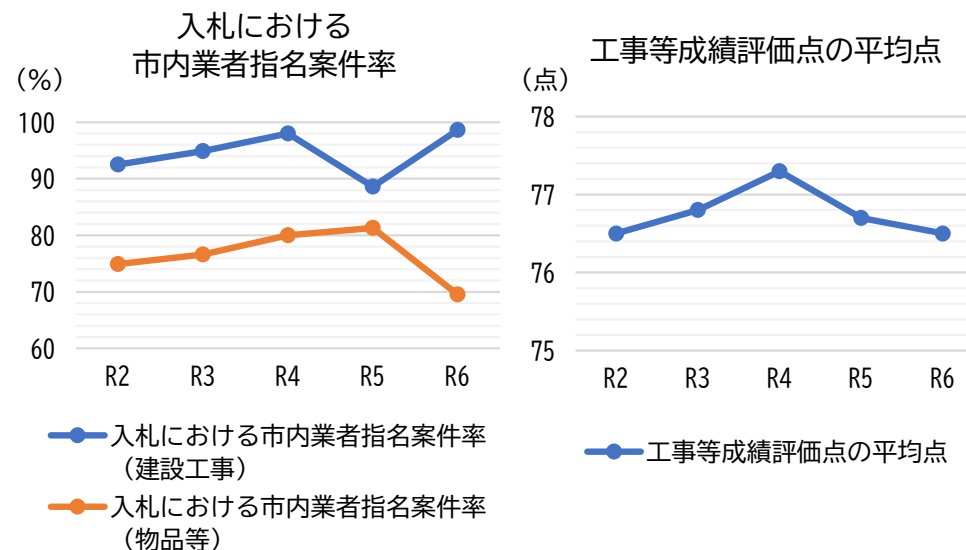
工事の品質や施工意欲の向上を図ることを目的として、優良な成績を収めた工事の施工業者へ表彰状の授与を行います。

2. 得られる成果

法律に裏付けされた入札・契約事務が遂行されることで、適正な公共事業の実施に繋がります。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
入札における市内業者指名案件率(建設工事)	95.0% (98.6%)	95.0%	95.0%
入札における市内業者指名案件率(物品等)	85.0% (69.5%)	85.0%	80.0%
工事等成績評価点の平均点	77.5点 (76.5点)	77.5点	77.5点

3. 参考データ



庁舎設備の計画的な更新等を行います (庁舎計画的改修事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

庁舎建設から約11年が経過し、建設時に導入した設備については、経年劣化の状況を確認しながら、交換修繕等を順次進めていく必要があります。費用をふまえた設備更新計画を作成しつつ、計画的に設備改修等を行うことで、長期に渡り安定的に活用できる庁舎とします。

(2) 令和8年度予算

事業費	61,659千円	財源 内訳	国県支出金	0千円	その他	0千円
			地方債	0千円	一般財源	61,659千円

◎当該年度主な事業内容

令和8年度は停電時（災害発生等）における庁舎への電力供給の根幹となる非常用発電機の点検及び設備機器の取替等を行い、72時間電気が供給できる状態の維持に努めます。加えて、庁舎外に保管している文書の電子保存化を進めるためにスキャナーを購入します。

1. 非常発電機点検業務委託料	54,307千円
2. 備品購入費（スキャナー）	970千円

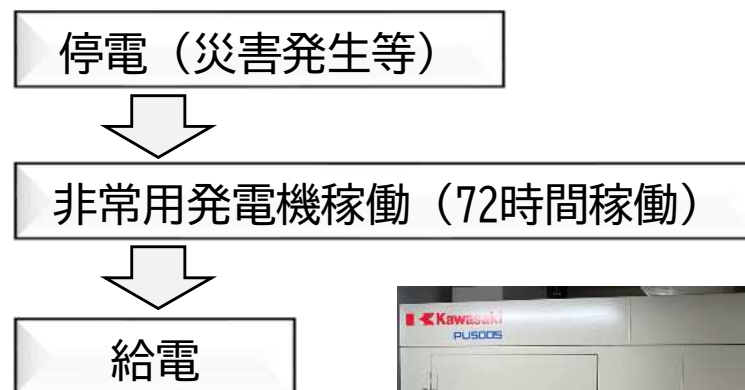
2. 得られる成果

市役所は、公共サービスの中核的な施設であり、非常時、通常時ともに重要な拠点施設となる中で、来庁者及び職員が安心して庁舎を快適に利用できる環境が整います。

目標値や目指すべき状態

来庁者、職員が長期間に渡り快適に庁舎を利用することができる状態

3. 事業実施イメージ



個人情報管理の徹底等を実践します (情報公開・個人情報保護事務)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

市の保有する個人情報は、法令に基づき適切に管理する必要があります。個人情報保護を徹底し、情報漏えいを起さない体制、環境づくりが求められます。

また、情報公開については、市民の知る権利を法的に担保する制度で、行政文書を適切に開示することで市の保有する情報を市民と適切に共有します。

個人情報保護制度、情報公開制度は、市民が適時適切に行政の保有する情報や文書にアクセスでき、行政の透明性を確保するうえで重要な制度となります。

(2) 令和8年度予算

事業費	415千円	財源 内訳	国県支出金	0千円	その他	0千円
			地方債	0千円	一般財源	415千円

◎当該年度主な事業内容

1. 情報公開・個人情報保護審査会委員報酬 118千円

行政文書の開示、自己情報の開示等に対する不服審査請求のあった際に、「情報公開・個人情報保護審査会」を開催します。

2. 個人情報保護インシデント訓練委託料 297千円

個人情報漏えい事案に対しては、被害を抑制し、透明性のある初動対応が重要であるため、令和7年度の管理職に続き、監督職を対象としたシミュレーション訓練を実施します。

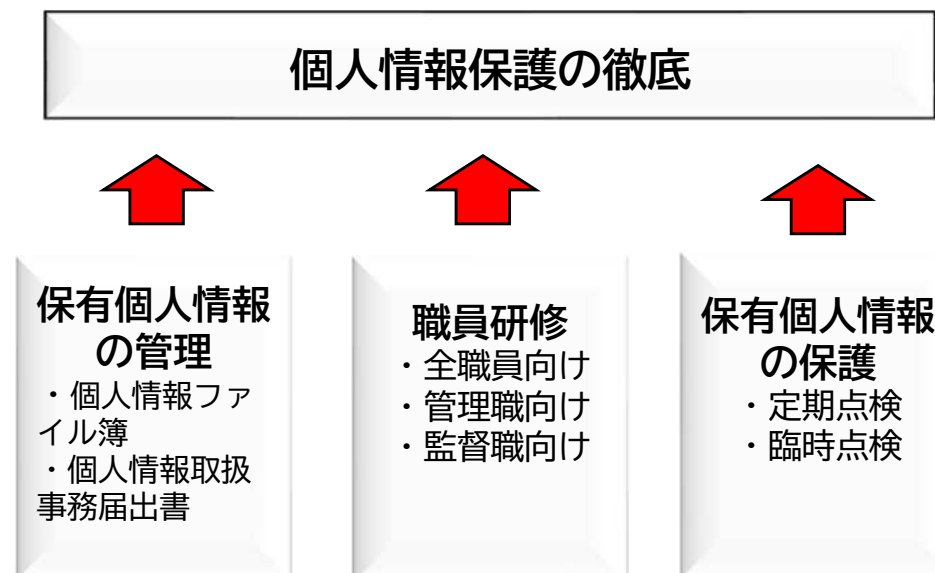
2. 得られる成果

適切に制度を運用することで、市民の知る権利の保証や個人の権利権益の保護はもとより、行政に対する市民の信頼感の確保に繋がります。

目標値や目指すべき状態

市の保有する個人情報等を適切に管理できている状態

3. 事業実施イメージ



平和の尊さを伝え意識の醸成を図ります (平和推進事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

平成5年議決の非核平和都市宣言等を基盤に、戦争の悲惨さや平和の尊さを伝承していく各種平和事業を実施します。

次世代を担う小中学生等を対象とした平和懇談会(出前講座)や平和ポスターコンクール等の開催、市内の戦争史跡等をめぐる市民向けツアーの開催等を通じて、平和に資する意識の醸成を図ります。

(2) 令和8年度予算

事業費	2,810千円	財源 内訳	国県支出金	0千円	その他	11千円
			地方債	0千円	一般財源	2,799千円

◎当該年度主な事業内容

1. 講師謝金 16千円

戦争経験者や市民団体と協働し、出前講座や史跡をめぐるツアー等を実施します。

2. 費用弁償 462千円

被爆の実相を体感することを目的に、市内の中学生を被爆地である広島に派遣します。

3. 非核・平和都市宣言啓発塔移設工事 1,991千円

JR半田駅に設置している非核・平和都市宣言啓発塔について、区画整理事業の進展にあわせ、半田駅西側に新設します。

2. 得られる成果

次世代を担う子どもたちを中心に、平和の尊さを伝えていくことは、恒久平和の実現に寄与します。

目標値や目指すべき状態

市民の戦争の悲惨さや平和の尊さへの理解度が高まっている状態

3. 事業実施イメージ



健全で持続可能な財政運営に努めます (財政管理事務 (地方債償還元金・利子))

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

計画的な地方債の償還と、予算編成や執行管理において事業内容の精査を重ねることで健全な財政運営を図ります。

大規模な建設事業や公共施設の整備、災害復旧事業においては、単年度の収入だけで実施することは財源的に困難です。そのため、将来にわたって市民の皆様が利用する施設等については、「地方債」を財源として活用することで、将来の市民の皆様が元利償還金という形で負担いただき、世代間の公平を調整しています。

(2) 令和8年度予算

事業費	1,196,574千円	財源 内訳	国県支出金	0千円	その他	298,571千円
			地方債	0千円	一般財源	898,003千円

◎当該年度主な事業内容

一般会計の令和8年度末地方債残高見込みは12,749,174千円であり、前年度比996,871千円増加します。地方債の元金償還は着実に進んでいますが、令和8年度に(仮称)成岩こども園建設事業の財源として、830,200千円の借入等により地方債残高は増加します。

令和8年度地方債償還金は、以下のとおりとなります。

1. 地方債償還金 (元金) 1,072,929千円
2. 地方債償還金 (利子) 123,645千円

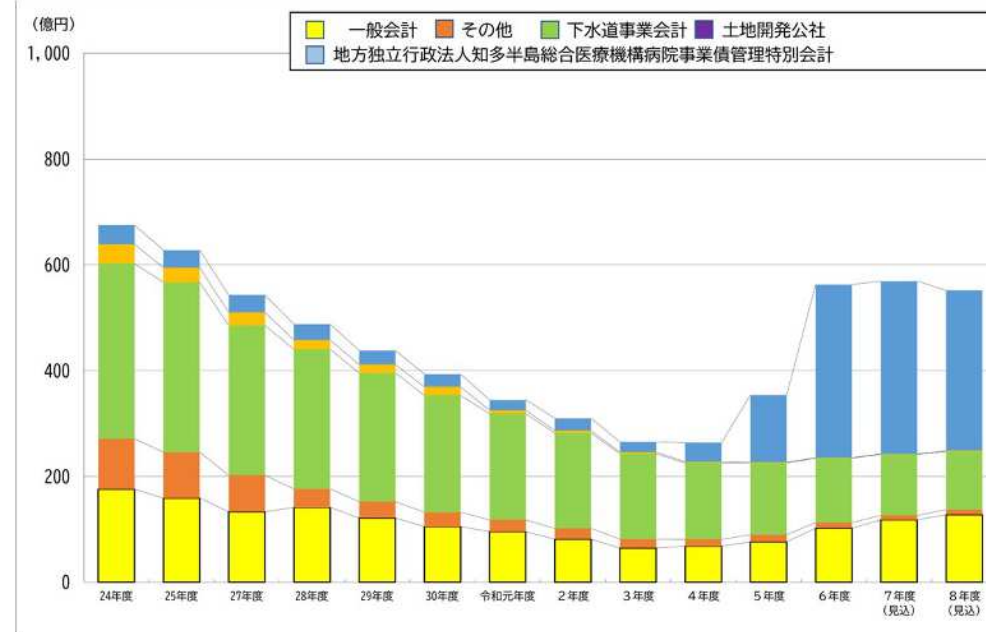
なお、今後の市全体の地方債残高は公共施設の更新等により、増加が見込まれますが、引き続き適正な規模で地方債を発行し、健全で持続可能な財政運営に努めます。

2. 得られる成果

計画的に地方債を償還することで、健全で持続可能な財政運営が可能となります。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
実質公債費比率を県内市平均以下とする。	2.5% (△0.1%)	2.6%	3.1%

3. 参考データ



◎市全体の地方債残高
 令和6年度末 564億円
 令和7年度末 570億円 (見込)
 令和8年度末 553億円 (見込)

◎実質公債費比率 (3か年平均)
 令和6年度実績
 半田市 △0.1%
 県内市平均 3.1%

固定資産評価替関連事業を実施します (固定資産評価替関連事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

令和9基準年度評価替に向けての事業で、令和6年度から第一年度となっており、以降令和8年度の第三年度までが一単位となっています。

地番図等作成業務委託、標準宅地時点修正率算定委託、固定資産(土地)評価システム業務委託等を実施します。

(2) 令和8年度予算

事業費	31,247千円	財源 内訳	国県支出金	0千円	その他	0千円
			地方債	0千円	一般財源	31,247千円

◎当該年度主な事業内容

- 1. 地番図等作成業務委託料** 8,404千円
 土地や建物の現況図の修正等を委託しています。
- 2. 標準宅地時点修正率算定委託料** 2,075千円
 毎年の地価変動に対応するため、市内の定められた地点における7月1日時点での修正率の算定を、不動産鑑定士へ委託しています。
- 3. 固定資産(土地)評価システム業務委託料** 13,431千円
 3年ごとの評価替えに合わせ、路線価等の算出及び評価業務支援を委託しています。

2. 得られる成果

関係法令等にある必要な手順に沿って、正確で効率的な評価替え作業が実施できます。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
適正課税率	100% (99.96%)	100%	100%

3. 事業スケジュール

令和9基準年度 固定資産評価スケジュール

地方税法349条において、固定資産の評価替えは3年に1度行うことと定められており、次回評価替え年度である令和9年度評価替に向けた作業及び時点修正等を下記のとおり実施する。

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
第1年度(令和6年)												
用途地区の区分												
状況類似地域の区分												
主要街路の決定												
標準宅地の選定												
標準宅地の時点修正												
第2年度(令和7年)												
標準宅地鑑定評価の実施												
一般鑑定評価の実施												
価格形成要因の確認												
土地価格比率表の見直し												
路線データの見直し												
標準宅地の時点修正												
第3年度(令和8年)												
路線価調整												
標準宅地の時点修正												

交通安全の推進を図ります (交通安全推進事業)

歳出科目：02.01.09.02.02
 総合計画：4-1-2 交通安全

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

市民一人ひとりの交通安全意識を高め、事故防止に係る啓発及び対策をするため、半田警察署や交通指導員、地域と連携した交通安全啓発活動の実施及び交通安全教室の開催をし、交通事故の減少を図ります。啓発活動として、児童・生徒の路上交通指導、交通安全教育指導、高齢者世帯訪問等を関係団体と連携し実施します。

(2) 令和8年度予算

事業費	1,164千円	財源 内訳	国県支出金	0千円	その他	0千円
			地方債	0千円	一般財源	1,164千円

◎当該年度主な事業内容

- ビッグデータ活用交通安全対策検討会議委員謝金 8千円
- 消耗品費（交通指導員等被服費、啓発物品等） 892千円

2. 得られる成果

市民の交通安全意識の高まりが図られ、交通事故の減少に繋がります。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
人身事故件数	403 (407)	403	365

3. 参考データ

令和6年交通事故状況（半田市）

区分	令和6年	前年	前年との比較	
人身事故	407	450	△43	件
死者数	3	3	0	人
負傷者数	468	518	△50	人

防犯活動を推進します (防犯活動事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

「半田市安全なまちづくり条例」に基づき、地域団体や警察、学校、企業等と連携した防犯啓発活動や、市民が気軽に参加することのできる防犯活動への参加促進に努め、「安心・安全なまちづくり」の推進を図ります。

(2) 令和8年度予算

事業費	13,249千円	財源内訳	国県支出金	0千円	その他	251千円
			地方債	0千円	一般財源	12,998千円

◎当該年度主な事業内容

1. 犯罪被害者等支援金	300千円
2. 犯罪被害者等日常生活支援委託料	121千円
3. 防犯カメラ運用委託料	11,396千円
4. 消耗品費 (自治区配布用パトロール資材、啓発品等)	245千円

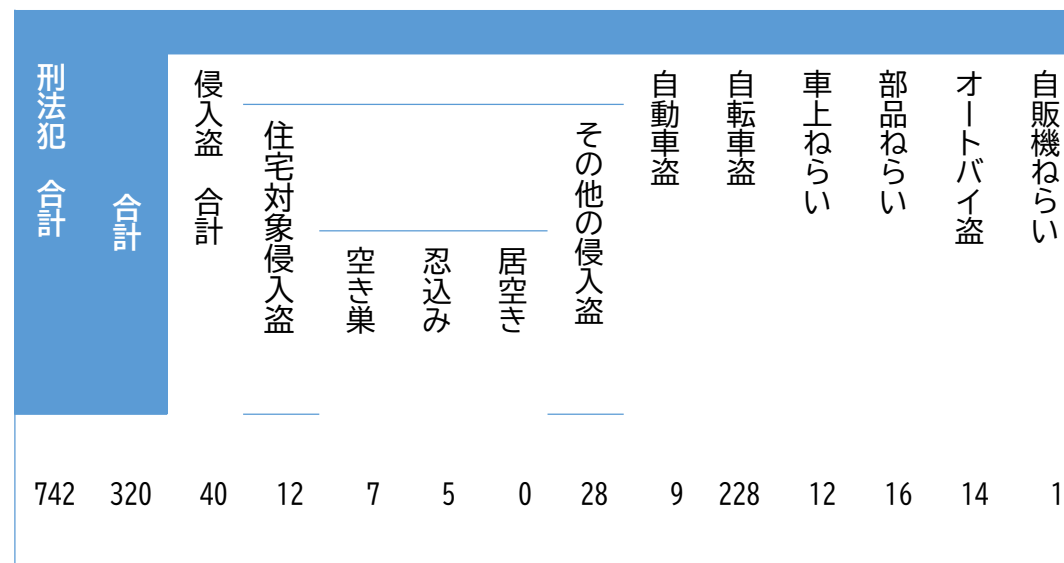
2. 得られる成果

地域団体や学校、企業、市民の方が防犯活動を主体的に取り組んでいただくとともに、行政や警察と連携・協働することによりまち全体の防犯意識が高まります。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
市内刑法犯発生件数	406 (742)	406	406

3. 参考データ

令和6年刑法犯発生状況 (半田市)



防犯カメラの設置を補助します (防犯カメラ設置費補助事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

安心して暮らせるまちを実現させるため、市民の防犯意識の向上・犯罪の未然防止及び早期発見を目的として、防犯カメラの購入費用の一部を補助します。

(2) 令和8年度予算

事業費	5,000千円	財源 内訳	国県支出金	0千円	その他	0千円
			地方債	0千円	一般財源	5,000千円

◎当該年度主な事業内容

1. 防犯カメラ設置費補助金 5,000千円

2. 得られる成果

市内における防犯カメラの設置が促進され、侵入盗などの被害の未然防止及び早期発見につながります。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
防犯カメラ設置費補助申請件数	- (-)	-	500

3. 事業実施イメージ



地域の防災力を強化します (災害対策事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

市民の生命及び財産を守るため、地域の防災力を強化し、災害による被害の軽減を図ります。

また、総合防災訓練や防災キャンプ、防災講話等での啓発を通じて、市民一人ひとりの防災意識の向上を図ります。

(2) 令和8年度予算

事業費	11,682千円	財源 内訳	国県支出金	0千円	その他	0千円
			地方債	0千円	一般財源	11,682千円

◎当該年度主な事業内容

1. 消耗品費 (半田市総合防災訓練)	120千円
(自主防災会用資材)	552千円
(トイレメンテナンス用品)	102千円
2. 食糧費 (半田市総合防災訓練)	150千円
3. 委託料 (トイレ年次点検委託料)	330千円
4. 災害救援マップシステム使用料	231千円
5. 防火防災訓練災害補償等掛金 (自主防災訓練等)	117千円

2. 得られる成果

自主防災活動への支援や住民への啓発を行うことで、地域防災力の強化、市民全体の防災意識の向上に繋がります。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
住民主体の避難所運営訓練実施 場所数	8 (8)	14	14

3. 事業実施イメージ



個人番号カードで簡単便利に証明書が取得できます (諸証明事務事業)

歳出科目： 02.03.01.04.01
 総合計画： 5-3-1 行政運営

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

住民票や戸籍謄本などの諸証明について、個人番号カードを使用することで簡単便利に取得できるコンビニ交付サービス、オンライン申請サービス、らくらく窓口証明書交付サービスの提供に必要な各システムの運用管理を行います。

なお、本年度は、コンビニ・らくらく窓口での交付手数料を100円割引することにより、コンビニ交付サービスの利用を促進するとともに、窓口の混雑緩和を図ります。

(2) 令和8年度予算

事業費	13,533千円	財源内訳	国県支出金	0千円	その他	13,533千円
			地方債	0千円	一般財源	0千円

◎当該年度主な事業内容

1. コンビニ交付端末使用料及びシステム使用料 9,533千円
2. らくらく窓口証明書交付システム借上料 370千円
3. コンビニ交付市町村負担金 2,728千円

2. 得られる成果

引き続きコンビニ交付やオンライン申請などのサービスを提供することにより、市民課窓口に出向くことなく開庁時間外でも各種証明書の取得が可能となります。また、「書かせない・待たせない・来庁させない」ことにより、市民の利便性向上と市民課窓口の混雑緩和を図ることができます。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
コンビニ交付率 (%)	32.7 (31.3)	34.7	41.6

3. 参考データ



※コンビニ交付の対象となる住民票の写し、戸籍謄抄本、戸籍の附票、印鑑登録証明書の総発行枚数に占めるコンビニ交付による発行枚数の割合

窓口サービスの質の向上を図ります (市民課窓口業務委託事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

市民課の窓口業務を委託することにより、民間事業者の豊富な知識や創意工夫を活用した効率的で効果的な窓口業務の実現と、的確な人員配置等や業務課題の分析などによる窓口サービスの質の向上を図ります。

また、次期契約（令和8年10月～令和11年9月）では、「窓口業務委託」と「入力従事者派遣」を統合することで、両業務間の連携向上や人員配置の最適化を目指します。

(2) 令和8年度予算 (全体事業費：194,076千円 令和8～11年度)

事業費	53,097千円	財源内訳	国県支出金	0千円	その他	17,685千円
			地方債	0千円	一般財源	35,412千円

◎当該年度主な事業内容

1. 市民課窓口業務委託料 53,097千円

2. 得られる成果

窓口での申請や届書の受付、各種届出内容の入力などについて民間事業者の知見を活用することにより、待ち時間の短縮や安定した質の高い窓口サービスを提供します。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
窓口満足度 (%)	90.0 (80.9)	90.0	90.0

3. 事業実施イメージ



受付窓口



デジタルサポート窓口

個人番号カードの窓口環境を整えます (個人番号カード交付事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

個人番号カードの申請及び交付、電子証明書の更新等の手続を専用窓口で受付するとともに、写真の無料撮影やタブレットによる申請補助により、手続される方の負担軽減を図ります。

令和8年度はカード搭載の電子証明書の更新対象者が多く、窓口の混雑が予想されるため、令和7年度に強化した受付体制を引き続き継続していきます。

また、ほとんどの方が個人番号カードを保有する中、カードへの振り仮名記載の導入等に伴い増加するカードへの印字作業に対応するための専用プリンターを追加で確保します。

(2) 令和8年度予算

事業費	57,234千円	財源 内訳	国県支出金	57,234千円	その他	0千円
			地方債	0千円	一般財源	0千円

◎当該年度主な事業内容

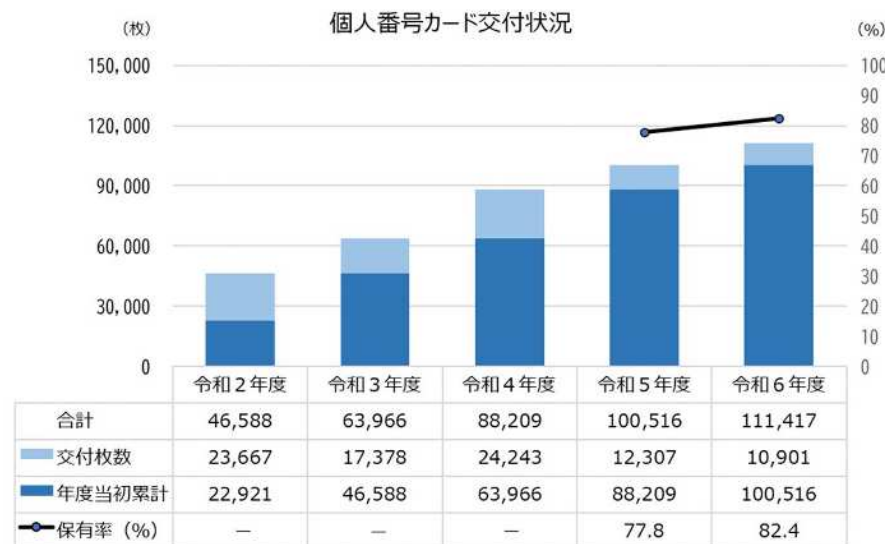
1. 会計年度任用職員人件費 49,263千円
2. カード交付事務に係る機器等借上及び交付予約システム等使用料 3,398千円
3. 個人番号カード等裏面印字プリンター購入費 (2台分) 1,529千円

2. 得られる成果

個人番号カードの機能維持のためには、住民異動時の継続手続や券面更新、有効期限到達による更新手続を漏れなく行う必要があります。本市における個人番号カードの保有率が80%を超える中、窓口を訪れるたくさんの方がスムーズに手続きできるよう努めていきます。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
個人番号カード保有率 (%)	84.0 (82.4)	85.4	87.4

3. 参考データ



半田市の農業の価値を高めます (6次産業化農業者支援プロジェクト事業)

歳出科目：05.01.03.02.50

総合計画：2-1-3 農業

1. 事業の内容



(1) 事業目的・概要

「選ばれる農家」に向けて、農業をテーマにしたコミュニティ活動「にこもぐ」の広がりと売上の向上を目指します。また、畜産や花きなど多様な農家はその規模やブランド力を活かして参加できる場として「大にこもぐ展」を開催し、異なるビジネスモデルを持つ農家たちの連携を推進し、相乗効果で半田全体の農業価値向上を図ります。

(2) 令和8年度予算

事業費	7,658千円	財源内訳	国県支出金	0千円	その他	84千円
			地方債	0千円	一般財源	7,574千円

◎当該年度主な事業内容

1. プロジェクトリーダー報酬	3,000千円
2. 販路拡大等支援業務委託料	4,014千円
3. 半田市農産物新商品開発等推進補助金	200千円

2. 得られる成果

農業を起点としたつながりの構築、農業の持続性や地域資源として感じられる機会を創出することにより、農業の価値を高めるとともに、農家の個力向上につなげます。また、農家主体の活動を促進します。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
知多半島農家マルシェ参加農家数	60名 (60名)	60名	92名

3. 事業実施イメージ



新規就農者を支援します (就農者支援事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

農業従事者の高齢化が急速に進展するなか、持続的可能な農業を実現するためには、青年等の新規就農を増やしていく必要があります。

経営の不安定な就農初期段階の新規就農者に対して、農業次世代投資事業補助金・新規就農者育成総合対策事業補助金を交付します。

認定農業者の設備導入などのサポートを行います。

また、PRを強化し、新規就農者を確保します。



(2) 令和8年度予算

事業費	8,784千円	財源 内訳	国県支出金	8,784千円	その他	0千円
			地方債	0千円	一般財源	0千円

◎当該年度主な事業内容

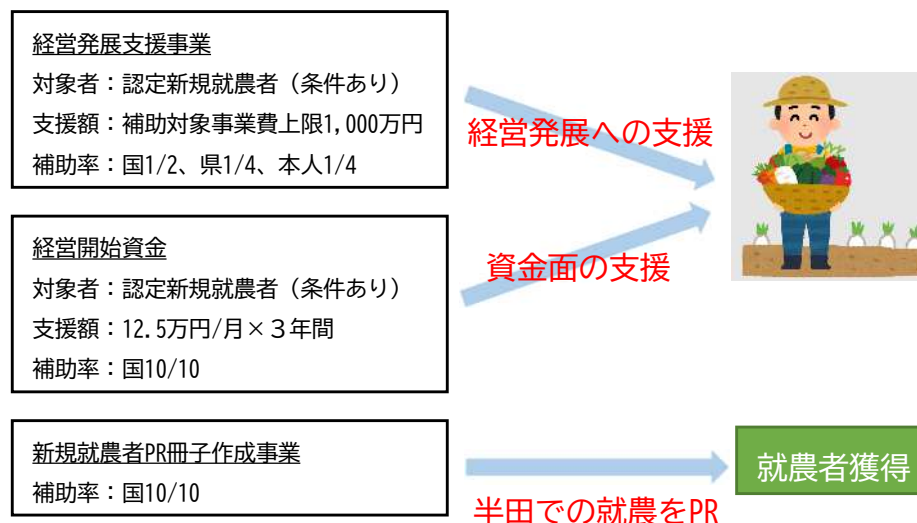
1. 新規就農者育成総合対策事業補助金 8,500千円
2. 印刷製本 284千円

2. 得られる成果

新規就農者に対して補助金を交付することにより、経営の不安定な就農初期段階を支援し、認定農業者の設備導入等をサポートすることで、持続かつ安定した経営につながります。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
「認定新規就農者」認定数	3名 (0名)	3名	3名

3. 事業実施イメージ



道の駅整備に向けた官民連携手法の調査を行います (道の駅建設事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

令和7年度に実施した道の駅整備に係る調査の結果を踏まえ、道の駅設置に向けた官民連携手法導入の可能性について調査を行います。本調査により、「知多半島の縦軸、横軸のハブ機能構築と交流人口の増加」「広域道路ネットワークを活かした防災拠点機能の設置」「半田市の魅力に触れる機会の創出」「農業の担い手確保」に向けて、官民連携手法の有効性や導入に向けた課題を整理します。

(2) 令和8年度予算

事業費	12,155千円	財源 内訳	国県支出金	10,000 千円	その他	0千円
			地方債	0 千円	一般財源	2,155千円

◎当該年度主な事業内容

1. 民間活力導入可能性調査委託料 12,155千円

道の駅整備に向けた官民連携手法導入の可能性について調査を行います。

サウンディング(※1)やVFM(※2)の算定を行い、官民連携手法の適否や課題を整理し、道の駅整備の目的や基本的な機能を踏まえた事業スキームの方向性について検討します。

※1 民間事業者との意見交換等を通じ、事業に対して様々なアイデアや意見を把握する調査。

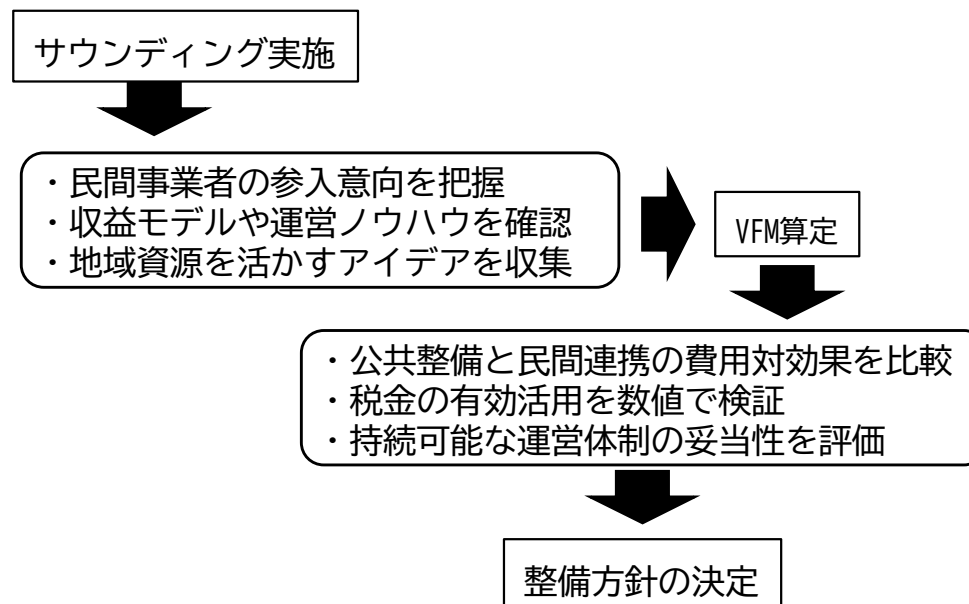
※2 Value For Money の略称。支払いに対して最も価値の高いサービスを供給するという考え方。総事業費を従来型比でどれだけ削減できるか示す割合。

2. 得られる成果

道の駅整備に向けた官民連携手法の比較や費用対効果を具体的に整理することができ、課題やリスク、留意点を明らかにします。

目標値や目指すべき状態	官民連携手法の比較・評価を終え、道の駅整備の可否が判断できる状態になっていること
-------------	--

3. 事業実施イメージ



畜産環境対策を推進します (畜産環境対策推進事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

本市の畜産の特色として、畜産施設と市街地が近接する都市近郊型農業を形成しており、畜産臭気対策は重要な課題です。

畜産資材や敷料等の高騰により厳しい畜産経営の中、畜産臭気の軽減を図るため、畜産環境対策推進事業を実施し、畜産事業者を支援します。

2. 得られる成果

畜産環境対策を推進し畜産臭気を軽減することで、畜産環境が改善されます。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
官民境界で測定した臭気指数 15を超える延件数	0件 (5件)	0件	0件

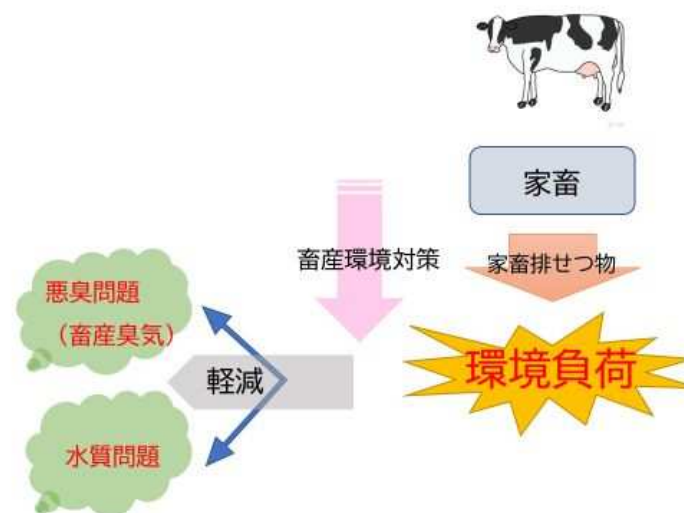
(2) 令和8年度予算

事業費	4,000千円	財源 内訳	国県支出金	0千円	その他	0千円
			地方債	0千円	一般財源	4,000千円

◎当該年度主な事業内容

1. 畜産環境対策推進事業補助金 4,000千円

3. 事業実施イメージ



里山林を整備します (里山林整備事業)

歳出科目：05.02.01.01.50

総合計画：2-1-3 農業

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

放置され、荒廃が進み利活用されなくなった里山林(板山地区・秋葉神社)について里山林整備事業計画に基づき整備を行い、市民協働による保全・活用を図ります。

2. 得られる成果

荒廃した里山を整備し、その後地域活動組織により維持管理を図っていくことで地域コミュニティの中心として活用できる施設に生まれ変わります。

目標値や目指すべき状態

荒廃した里山を再生することにより、地域コミュニティの中心として活用できる施設とする。

(2) 令和8年度予算

事業費	13,745千円	財源内訳	国県支出金	13,745千円	その他	0千円
			地方債	0千円	一般財源	0千円

3. 事業実施イメージ

令和6年度 測量調査設計委託等

令和7年度 伐採工等

令和8年度 作業用通路整備、森林整備用資機材倉庫整備等

◎当該年度主な事業内容

1. 森林整備工事 13,745千円



地元への就職を促進します (産業人材確保支援事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

本市における産業課題である「人材の確保」に対し、市内の多種多様な企業の工場や現場を開放し、見学や体験・販売を通じて、事業者のものづくりへの考え方や姿勢を体感することができる「はんだオープンファクトリー」への開催補助や、市内の高校へ出向き地元企業の仕事内容や魅力を直接伝える「地元企業PR事業」を通じて、地元就職の促進や安定した人材の確保を図ります。

(2) 令和8年度予算

事業費	1,354千円	財源 内訳	国県支出金	0千円	その他	0千円
			地方債	0千円	一般財源	1,354千円

◎当該年度主な事業内容

安定した人材の確保に向け、オープンファクトリー開催補助、地元高校生への事業者PR事業を実施します。

1. オープンファクトリー開催補助金 1,000千円

2. 地元企業PR事業委託料 354千円

2. 得られる成果

市内企業の認知度が低い状況があるなかで、直接の現場を見学したり、話を聞くことで、地域の方や将来を担う子どもたちに対して、地元産業への理解と共感の醸成を促します。特に、将来を担う子どもたちにとっては、キャリア教育の一助となるとともに、就職の際に選択肢として、思い出されることで、地元就職の促進につながることができます。

また、企業の社員にとっても、仕事の魅力を自ら発信することで、仕事への誇りや職場への愛着の向上が図られ、企業の活性化及び企業価値の向上につながります。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値 (実績値)	R8目標値
オープンファクトリー参加者 及び参加企業数	3,000人 20社 (2,722人) (28社)	3,200人 35社 (4,552人) (42社)	4,600人 45社

3. 事業実施イメージ (はんだオープンファクトリー2025の様子)



商店街活動をサポートします (商店街街路灯撤去事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

近年の商店街の会員等の減少や、広告としての役割が薄れてきた街路灯の増加など、商店街等が設置した街路灯の維持管理が困難となっており、商店街活動に支障をきたしています。

本事業は、令和7～9年度の期間において、広告としての役割を果たしていない街路灯の撤去費用に対して補助し、負担軽減を図ることで、商店街等の持続的な活動を支援します。

(2) 令和8年度予算

事業費	3,108千円	財源 内訳	国県支出金	1,554千円	その他	0千円
			地方債	0千円	一般財源	1,554千円

◎当該年度主な事業内容

1. 商店街街路灯撤去事業補助金 3,108千円

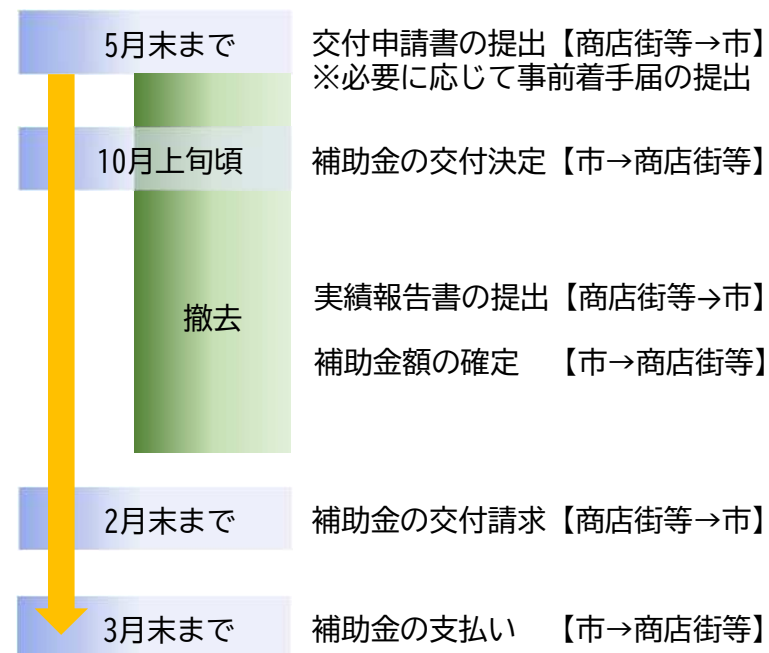
街路灯の撤去費用に対し、70% (県費35%、市費35%) を補助します。
(令和8年度撤去見込本数：52本)

2. 得られる成果

商店街の電灯料や道路占有料の費用負担を削減することができ、持続的な商店街活動の実施が可能となります。

目標値や目指すべき状態	商店街等の負担軽減を図り、商店街等の活動が持続的に行える状態であること。
-------------	--------------------------------------

3. 事業スケジュール



市内への企業立地を促進し、事業者を支援します (企業立地事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

石塚地区工業団地への企業立地を促進するため、産業立地セミナーへの出展や新聞等にPR広告掲載するなど誘致活動を行います。また、企業再投資促進補助金（令和8年度は交付予定なし）の交付や先端設備導入計画の認定、工場立地法の緑地規制緩和措置により、事業者の設備投資や事業拡大を支援します。

(2) 令和8年度予算

事業費	3,346千円	財源 内訳	国県支出金	0千円	その他	0千円
			地方債	0千円	一般財源	3,346千円

◎当該年度主な事業内容

1. 広告料 2,455千円
経済新聞等に石塚地区工業団地の広告を掲載します。
2. 普通旅費 301千円
産業立地セミナーへの出展や、企業訪問に係る費用を計上します。
3. 印刷製本費 319千円
石塚地区工業団地への企業立地を促進するため、パンフレット等PR資材を制作します。

2. 得られる成果

新たな企業進出や補助金等の優遇制度を活用した設備投資による事業拡大により、安定的な税収確保や雇用創出に繋がります。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
検討企業の総需要面積/分譲面積 (石塚地区)	150% (234%)	250%	250%

3. 事業実施イメージ



石塚地区工業団地整備事業を推進します (石塚地区工業団地整備事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

市内の工業用地は既存企業で埋まっており、企業進出や事業拡大には、新たな工業用地が必要になるため、工業団地の造成により企業誘致を推進します。

企業誘致により、安定的な税収確保や雇用創出、それに伴う定住人口の増加を図ります。

(2) 令和8年度予算

事業費	20,813千円	財源 内訳	国県支出金	5,173千円	その他	0千円
			地方債	0千円	一般財源	15,640千円

◎当該年度主な事業内容

石塚地区における工業団地造成に向け、開発区域内の公共用地の分筆のための測量、道路改良工事、水路改良工事を実施します。

1. 測量調査設計委託料	11,030千円
2. 道路改良工事	2,510千円
3. 水路改良工事	6,200千円

2. 得られる成果

工業団地を造成することで、新たな企業進出や事業拡大等が可能になり、将来の安定的な税収確保や雇用創出、それに伴う定住人口の増加に繋がります。

目標値や目指すべき状態	企業進出に向けて石塚地区工業団地の整備が完了すること。
-------------	-----------------------------

3. 事業スケジュール



公民連携の中心市街地活性化を進めます (中心市街地活性化事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

中心市街地に多様な目的をつくるため、場づくり人づくりを行い、担い手や関係人口を増やし、エリア価値を高め、税収確保や持続可能な地域づくりにつなげます。

本事業は、中心市街地において、JR武豊線高架事業等のハード整備で街が大きく変化するタイミングを好機ととらえ、持続可能な組織づくりを行いながら、民と公の連携したまちづくりを行います。

(2) 令和8年度予算

事業費	64,451千円	財源 内訳	国県支出金	31,926千円	その他	700千円
			地方債	0千円	一般財源	31,825千円

◎当該年度主な事業内容

1. 創造・連携・実践センター指定管理料 22,479千円

中心市街地活性化拠点であり、市民・事業者・学生等の交流やネットワークの形成、起業・創業の促進を目的とした、半田市創造・連携・実践センター（コココリン）の指定管理料。

2. 半田運河エリア活性化拠点運営業務委託料 8,080千円

半田運河エリアに日常的な地域交流拠点を設置し、コミュニティ形成や人材発掘、低未利用地等の活用・検討を行います。

3. 古民家再生調査委託料 24,225千円

JR半田駅や半田運河周辺などの古民家等を活用し宿泊施設や滞在施設へのリノベーションに向けた可能性調査を行います。

2. 得られる成果

エリア価値向上から得られる税収確保等により、少子高齢社会においても、中心市街地及び周辺地域への好循環をうみだし、健全な都市経営が図られます。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
まちなか居住人口	5,330人 (5,267人)	5,355人	5,380人
中心市街地における起業・創業・出店数	6件 (10件)	7件	8件
中心市街地への来街者数	5,700人/日 (5,747人/日)	5,920人/日	6,140人/日

3. 事業実施イメージ

中心市街地の目指すまちの姿

「つむぐ・つなげる・つくる」で実現
はんだに暮らしたくなる、関わりたくなる、働きたくなる、知多半島の中心市街地

過去から未来で想いを「つむぐ」

・地域が大切にする想いや文化、伝統等を大切にしつつ、未来へ「つむぎ」ながら、未来の価値を創造する。持続的な仕事や産業を育み、未来へつむぐ。

ヒトとヒト、ヒトとコトを「つなげる」

・まちなか暮らしの魅力発信で、ヒトとコトをつなげる。知多半島の多様なヒト・コト・モノ・地域をつなげる。

私たちが新たに「つくる」

・ワクワクとうるおいのある暮らしをつくる。自分たちでつくる。共につくる。ヒトが起点となる。



賑わいあるまちづくりを推進します (中心市街地活性化支援事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

魅力あふれる中心市街地を目指して、半田商工会議所を始め、商店街などの関係者と連携を図りながら、中心市街地の回遊性向上に向けた取組などを実施することで、市内外からの集客を図るとともに中心市街地への新規来訪者とリピーターの増加につなげます。

(2) 令和8年度予算

事業費	7,400千円	財源 内訳	国県支出金	3,700千円	その他	1,000千円
			地方債	0千円	一般財源	2,700千円

◎当該年度主な事業内容

1. 中心市街地活性化協議会負担金 5,400千円

事業者を始め様々な主体が参画するまちづくりの運営を横断的、総合的に調整し、中心市街地活性化の推進を図ることを目的とした協議会への負担金。

2. 中心市街地商業活性化にぎわい事業補助金 2,000千円

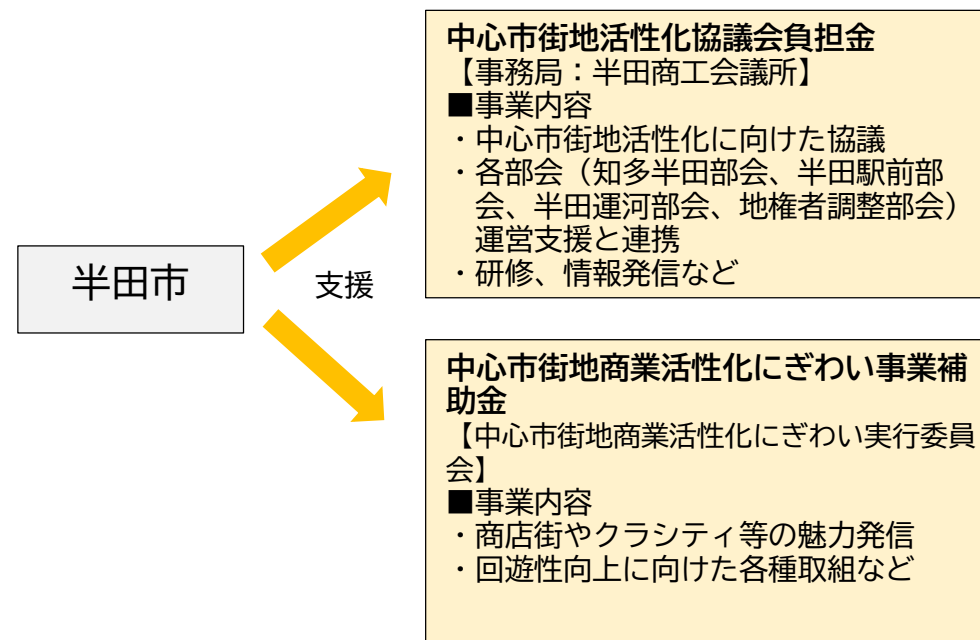
商店街等で構成する中心市街地商業活性化にぎわい実行委員会が実施する各種イベントや恒常的に人を集める仕掛けづくりなど、中心市街地の回遊性や集客力向上に向けた事業に対する補助金。

2. 得られる成果

中心市街地の魅力向上の取組を増やすことで、市内外の関係人口が増え、商業活性化につながります。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
中心市街地への来街者数	5,700人/日 (5,747人/日)	5,920人/日	6,140人/日

3. 事業実施イメージ



CLACITYの賑わいを支援します (知多半田駅前再開発ビル商業施設支援事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

中心市街地の核施設であるクラシティの商業施設の利用促進を図るため、利用者の駐車場利用料や商業施設の賑わいづくり事業に対し、補助金を交付します。また、本市はクラシティ商業床の地権者であるため、修繕積立金費を負担します。

(2) 令和8年度予算

事業費	10,279千円	財源 内訳	国県支出金	0千円	その他	8,058千円
			地方債	0千円	一般財源	2,221千円

◎当該年度主な事業内容

- 半田市知多半田駅前再開発ビル商業施設利用促進補助金 4,836千円
 - 利用者の駐車場利用料に対する補助金 3,699千円
 - クラシティの賑わいづくり事業に対する補助金 1,137千円
- 知多半田駅前再開発ビル大規模修繕積立金負担金 5,443千円
クラシティ商業床の修繕積立費用を負担します。

2. 得られる成果

クラシティ内の既存店舗の撤退を防ぎ、新たな事業展開による商業施設の賑わいづくりに寄与します。また、クラシティ利用者が増加することで、知多半田駅周辺における日常的な人口密度の向上につながり、中心市街地の活性化に寄与します。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
クラシティの商業施設のテナントの充足率	100% (95.7%)	100%	100%

3. 事業実施イメージ

(半田市知多半田駅前再開発ビル商業施設利用促進補助金)

【半田市】 ・クラシティが実施する事業への補助金交付



【クラシティ】 ・利用者の駐車場利用料補助の実施
・クラシティの賑わいづくり事業の実施



【効果】 ・商業施設の賑わい創出
・クラシティ利用者の増加



・知多半田駅周辺における人口密度の向上
・中心市街地の活性化

知多半田駅東ロータリーをリニューアルします (知多半田駅前広場改修事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

平成20年に作られた知多半田駅東ロータリーについて、中心市街地活性化の観点から、ロータリーを縮小し、「車」中心から「人」中心の駅前へとリニューアルします。

駅前で居心地良く滞在でき、多様な利活用が可能な魅力的な空間を創出することで、エリア価値向上を目指します。

(2) 令和8年度予算

事業費	68,121千円	財源 内訳	国県支出金	14,983千円	その他	0千円
			地方債	0千円	一般財源	53,138千円

◎当該年度主な事業内容

知多半田駅東ロータリーの改修工事に向け、令和6年度策定のリニューアル基本構想及び令和7年度の基本設計に基づき、令和8年度は実施設計及び関係機関との協議、実証実験等を行います。

1. 知多半田駅前広場改修実施設計業務委託料 54,954千円

改修に向けた実施設計を行います。

2. 道路空間活用実証実験委託料 7,117千円

歩道空間を活用し、人の滞留を生むための実証実験や効果を検証します。

3. 地質調査委託料 4,477千円

4. 樹木等管理工事 1,573千円

2. 得られる成果

知多半田駅前を魅力ある空間にすることで、来街者が居心地良く滞在でき、多様な活動が展開されるなど、中心市街地の魅力向上につながります。

目標値や目指すべき状態	賑わい空間を創出した知多半田駅東ロータリーのリニューアルが完了すること。
-------------	--------------------------------------

3. 事業スケジュール

	R7	R8	R9	R10
基本・実施設計				
工事				

※令和7年度時点の予定です。

魅力ある個店づくりを支援します (商業施設助成事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

人口減少社会を迎え少子高齢化が加速する現代においては、中心市街地を始めとする既存の商業地域の衰退が進みつつあります。

拡散型のまちでは快適な生活の維持が困難な状況となるため、持続可能な商業振興を目的に、戦略的に地域に必要とされる業種を配置することで、市民生活に密着した魅力ある個店づくりを支援します。

(2) 令和8年度予算

事業費	12,000千円	財源内訳	国県支出金	8,875千円	その他	0千円
			地方債	0千円	一般財源	3,125千円

◎当該年度主な事業内容

1. 半田市商業施設助成事業費補助金 12,000千円

店舗の新設及び改装に関する費用（備品は対象外）の2分の1を補助します。対象区域（右図参照）ごとに、上限額および対象業種を設定し、実施していきます。

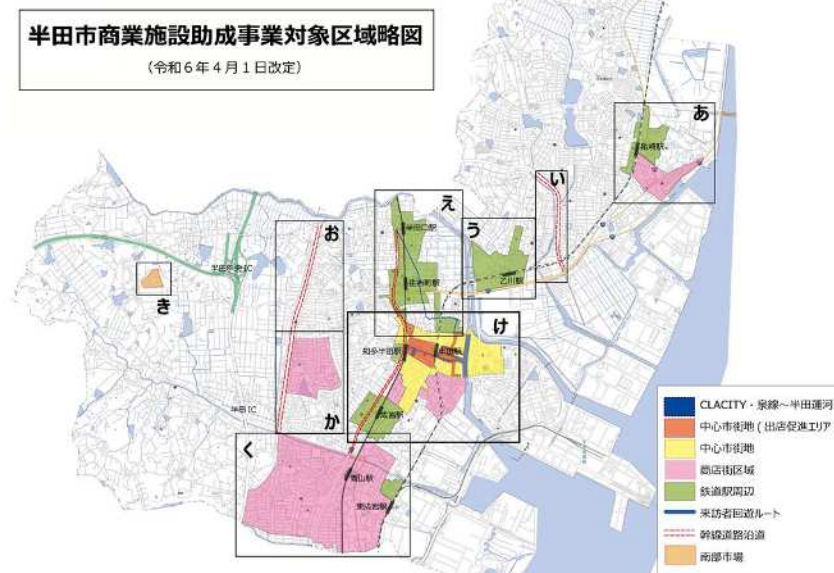
2. 得られる成果

商業集積が進むことで持続可能な商業の振興に繋がります。また、魅力ある個店が増えることにより、商店街やまちの活性化につながります。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
補助金の交付件数	12件 (14件)	12件	12件
補助金の交付額	12,000千円 (9,333千円)	12,000千円	12,000千円

3. 事業実施イメージ

対象区域ごとに限度額や対象業種を設定し、地域に必要とされる業種の出店を後押しします。



観光振興を推進します (観光振興事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

半田市の観光資源である「山車・蔵・南吉・赤レンガ」等を活用し、観光誘客や知名度を向上させるとともに地域経済の活性化を図る。

(2) 令和8年度予算

事業費	38,936千円	財源 内訳	国県支出金	3,300千円	その他	5,520千円
			地方債	0千円	一般財源	30,116千円

◎当該年度主な事業内容

1. いいかも半田キャンペーン推進業務委託料 5,479千円
公共交通機関である名古屋鉄道とタイアップして特別きっぷを作成し、市外からの誘客を図ります。
2. 食の観光推進業務委託料 7,296千円
半田市の歴史や地域に根差した醸造・発酵食の魅力を飲食店や関係団体等と連携し、旅の行き先となるようブランディングを図ります。
3. ナイトタイムエコノミー創出業務委託料 6,600千円
中心市街地における夜間景観の質を向上させ、賑わいの創出や来訪者の滞在時間延長による地位経済の活性化を図るため、夜間景観基本計画を策定します。
4. 秋季観光周遊促進業務委託料 5,872千円
観光シーズンである秋に、矢勝川周辺や半田運河周辺、半田赤レンガ建物を周遊できる仕組の構築と誘客PRを行います。

2. 得られる成果

「歴史と文化のまち半田」の認知度向上及び「醸造・発酵のまち」としてブランド力を向上させることで、観光誘客と観光消費の増加を図ることができます。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
年間観光入込客数	1,743千人 (1,822千人)	1,860千人	1,884千人

3. 半田市の主な観光資源



山車(写真：はんだ山車まつり)



蔵(写真：半田運河)



南吉(写真：矢勝川周辺の彼岸花)



赤レンガ(写真：半田赤レンガ建物)

半田運河周辺の賑わいを創出します (半田運河活性化推進事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

半田運河周辺の観光施設や良好な景観を活かし、この地域が育んできた歴史や文化に関連するイベントを実施することで、賑わいの創出と誘客促進、エリアの価値向上を図ります。

(2) 令和8年度予算

事業費	18,959千円	財源 内訳	国県支出金	5,444千円	その他	2,020千円
			地方債	0千円	一般財源	11,495千円

◎当該年度主な事業内容

1. 半田運河活性化推進業務委託料 18,959千円

- 萬三の白モッコウバラ祭
- 半田運河の鯉のぼり
- 半田運河Canal Night
- 半田運河発酵マルシェ
- 半田運河誘客スポット設置事業 等

2. 得られる成果

半田運河の認知度・イメージの向上により、観光入込客数の増加による賑わいの創出やブランド力の向上を図ることができます。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
半田運河周辺観光入込客数	334千人 (521千人)	356千人	361千人

3. 実施事業イメージ



半田運河Canal Night



半田運河の鯉のぼり



半田運河誘客スポット設置事業
(夏：風鈴)



半田運河誘客スポット設置事業
(秋：ランプ)

半田赤レンガ建物の常設展示室等をリニューアルします

(半田赤レンガ建物常設展示室等リニューアル事業)

歳出科目：06.01.04.02.61

総合計画：2-1-1 観光

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

半田赤レンガ建物は、令和7年度に開館10周年を迎えており、展示室を含めた建物内外を改修し、大人だけでなく子どもも楽しめる施設とすることで、市内外から選ばれる施設として魅力あるコンテンツの造成を行います。

(2) 令和8年度予算

事業費	111,621千円	財源 内訳	国県支出金	50,987千円	その他	60,634千円
			地方債	0千円	一般財源	0千円

◎当該年度主な事業内容

- 半田赤レンガ建物リニューアル業務委託料 45,544千円
観光施設・教養施設として魅力あるコンテンツ造成を目指し、大人から子どもまで楽しめるよう、施設のリニューアルを行います。
- 半田赤レンガ建物親水設備整備工事 56,430千円
池及び水路の親水機能と安全性を考慮した改修を行うことで、市内外からの誘客を図るとともに、親子で訪れる先の一つとして選ばれる施設として広場のリニューアルを行います。
- 擁壁撤去工事 9,647千円
道路からの景観と広場の解放感を確保し、歴史ある外観がより実感できるよう擁壁の撤去を行います。

2. 得られる成果

体験型のコンテンツを造成することにより、観光施設としてだけでなく、文化・教養施設として学んで遊べる施設となり、市内外からの来訪者の増加を図ります。

目標値や目指すべき状態

市内外からの来訪者増加と市民の半田赤レンガ建物への愛着の醸成を目指します。

3. 実施事業イメージ



<改修前>



<改修前>



<改修前>



<改修後イメージ(歩道より)>

半田赤レンガ建物の魅力向上を図ります (半田赤レンガ建物管理運営事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

半田赤レンガ建物の歴史と文化財的価値の発信を通して、認知度向上と来訪者の増加を図ります。また、観光客の市内回遊の拠点施設として、飲食提供、物販サービス、常設展示室公開、企画展・イベント開催、貸館サービス等に関して、民間事業者のノウハウや創意工夫による指定管理者制度を活用した管理運営を行います。

(2) 令和8年度予算

事業費	64,143千円	財源 内訳	国県支出金	0千円	その他	345千円
			地方債	0千円	一般財源	63,798千円

◎当該年度主な事業内容

1. 半田赤レンガ建物指定管理料 63,994千円



2. 得られる成果

建物がもつ歴史と文化財的価値の市内外での認知が進み、市民のシビックプライド醸成と来訪者増加に伴う消費額の増加が期待できます。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
半田赤レンガ建物 観光入込客数	530千人 (477千人)	554千人	559千人

3. 実施事業イメージ



複雑化・複合化した支援ニーズに対応します (重層的支援体制整備事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

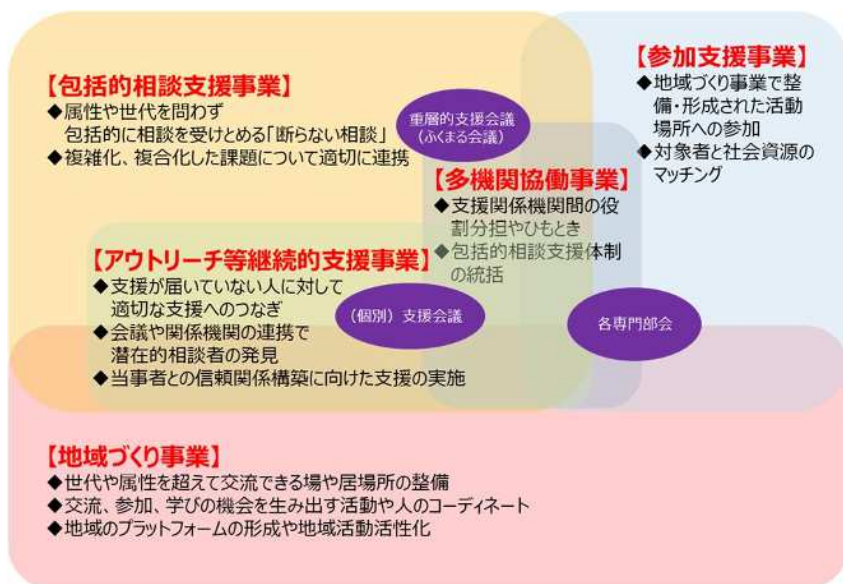
地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応するため、包括的相談支援・社会参加支援・地域づくり支援を一体的に実施します。

(2) 令和8年度予算

事業費	52,189千円	財源内訳	国県支出金	27,000千円	その他	0千円
			地方債	0千円	一般財源	25,189千円

◎当該年度主な事業内容

1. アウトリーチ継続的支援事業等委託料 29,130千円
2. 共助の地域づくり事業委託料 23,059千円

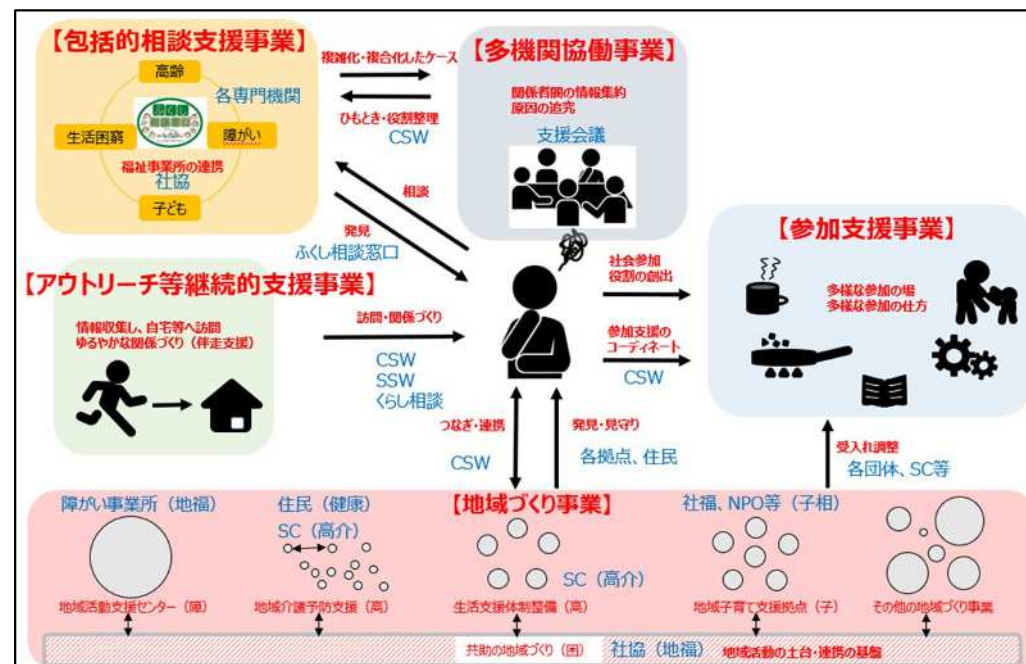


2. 得られる成果

CSW（コミュニティソーシャルワーカー）の設置による属性や世代を問わない相談体制や、共助の地域づくり事業等を通じた支援ニーズをキャッチする仕組み等を構築することで、複雑化・複合化した支援ニーズに包括的に対応していくことができます。

目標値や目指すべき状態	誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる支え合いのまちづくりができていく状態
-------------	---

3. 事業実施イメージ



障がい者・児等に

地域の特性に合わせたサービスを提供します (地域生活支援事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

障がい者・児等の地域での生活を支援し、安心して暮らすことができるよう必要な施策を実施することを目的としています。

障害者総合支援法に基づき、地域の特性や利用者の実態把握により、自治体独自に創意工夫した事業を、障がい者・児等に提供した事業者に対し、要した費用を支給します。

(2) 令和8年度予算

事業費	161,841千円	財源 内訳	国県支出金	52,701千円	その他	218千円
			地方債	0千円	一般財源	108,922千円

◎当該年度主な事業内容

1. 障がい者相談支援事業委託料 59,865千円

福祉サービスの利用援助を始めとした相談支援を、半田市障がい者相談支援センターに委託し実施します。

2. 日常生活用具給付費 27,330千円

障がい者（児）等に、日常生活や社会活動を容易にするための日常生活用具の給付を行います。

3. 日中一時支援給付費（休日支援） 29,055千円

家族等による介護・見守りが困難で自宅で過ごすことができない共同生活援助（グループホーム）の入居者及び休日において障がい福祉サービス等の利用を必要とする在宅障がい者に対し、休日の日中における見守り及び日常生活上の支援を行います。

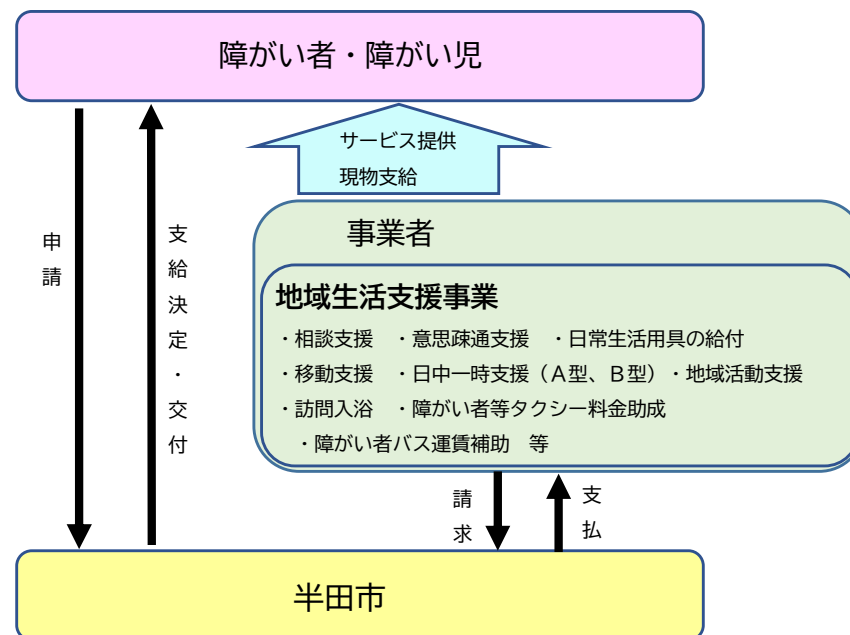
2. 得られる成果

地域の特性や利用者の実態により、創意工夫した事業を行うことで、支援を必要としている障がい者・児等が安心して地域で生活できるようになります。

目標値や目指すべき状態

障がいの有無にかかわらず、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる状態

3. 事業実施イメージ



生活困窮者の自立を支援します (生活困窮者自立支援事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

生活困窮者自立支援法に基づき、就労の状況、心身の状況、地域社会との関係性その他事情により、現に生活に困窮する方（離職、ホームレス、生活苦、多重債務、ひきこもりなど）の相談に幅広く対応し、自立に向けた包括的且つ早期的な支援を行います。生活保護に至る前の「第2のセーフティネット」として、経済的な課題に留まらない様々な困りごとを抱える生活困窮者の自立を促進します。

(2) 令和8年度予算

事業費	64,545千円	財源内訳	国県支出金	39,108千円	その他	1,400千円
			地方債	0千円	一般財源	24,037千円

◎当該年度主な事業内容

- 自立相談支援事業 21,078千円
相談支援員が、相談者に寄り添いながら必要な支援につなげます。
- 家計改善支援事業 9,415千円
生活再建のため、家計の見直しに関する支援を行います。
- 就労準備支援事業 8,844千円
就労に向け、生活面/社会面/就労面から様々な支援を行います。
- 住居確保給付金 3,963千円
一定期間、家賃相当分の給付金を支給し求職活動を支えます。
- 地域居住支援事業 3,305千円
住まいの確保や居住支援（入居支援、見守り支援など）を行います。
- ひきこもり支援推進事業【新規】 17,940千円
アウトリーチを含む相談支援や居場所づくりなどを行います。

2. 得られる成果

困窮の状況に応じた適切な情報と支援を提供し、生活に困窮する世帯の自立を促します。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
新規相談支援件数	350件 (323件)	350件	350件

3. 事業実施イメージ

半田市にお住まいの方へ
Living consultation room
暮らし相談室
あんしん半田

- 相談**：生活の中で気になることや困ったことについて相談を受けて解決の糸口を探します。お悩みに合わせて関係機関と連携します。
- 各種情報提供**：失業給付や職業訓練資金貸付、専門窓口など様々な情報を提供します。
- 住まい**：公営住宅や低家賃の物件を一括に探します。
- 住居確保(家賃相当分)**：離職者等の方を対象に家賃の一部を給付します。※資格要件があります。
- 住居確保(転居費用分)**：家賃の安価な住宅への転居のための初期費用を補助します。令和7年4月1日施行
- 家計見直し**：家計の収支を確認しムダな出費や見直しを行います。
- 債務整理支援**：法律相談窓口の紹介、同行を行います。
- 貸付あっせん**：社会福祉協議会による各種貸付についてあっせんを行います。
- 心理カウンセリング**：こころの専門家としての視点から指導や助言を行います。
- 面接の練習**：面接の練習を通して質問の受け答え方や表情の確認など実際の面接に備えます。
- 就労体験**：お仕事の雰囲気や肌で感じたり、徐々に慣れていくために就労体験を行うことができます。

無料相談窓口

生活保護法に基づき扶助費を支給します (生活保護扶助事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

生活保護法に基づき、必要な扶助費を支給し、世帯に応じた自立に向けて支援を行います。

(2) 令和8年度予算

事業費	1,171,731千円	財源 内訳	国県支出金	899,960千円	その他	0千円
			地方債	0千円	一般財源	271,771千円

◎当該年度主な事業内容

1. 生活扶助費 342,872千円
毎日の生活に必要な食費や光熱水費などの費用
2. 住宅扶助費 174,569千円
賃貸アパートの家賃などの費用
3. 医療扶助費 584,897千円
病気やけがの治療などの費用
4. 介護扶助費 44,032千円
介護サービスの費用

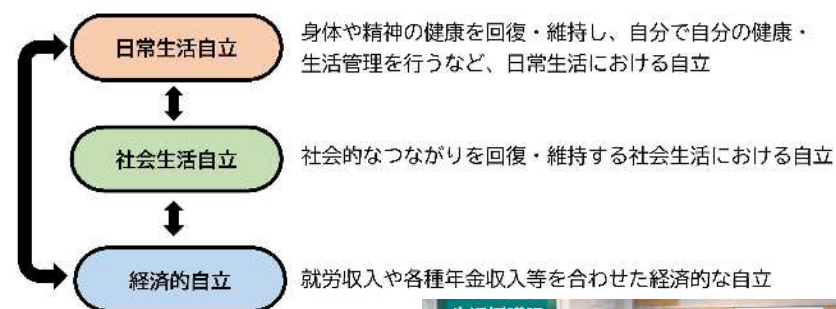
2. 得られる成果

生活に困窮する世帯の健康で文化的な最低限度の生活を保障します。また、生活保護制度の適正な実施に向けて、年金裁定請求手続きなど他法他施策の積極的な活用とハローワークなど関係機関と連携した就労支援に重点的に取り組むことで、被保護世帯の自立を促進します。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
就労自立給付金支給世帯数	18 (20)	18	20

3. 事業実施イメージ

生活保護における「3つの自立」



環境的、経済的に困難を抱える

高齢者を老人ホームで養護します (老人ホーム入所事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

環境上及び経済的な理由により、在宅での自立生活が困難な高齢者を養護老人ホーム等へ入所措置することで、生活を保障し、養護します。

また、養護老人ホーム入所者のうち、年間収入が90,000円未満の方に対し、生活支援のため月額7,500円の生活補給金を支給します。

(2) 令和8年度予算

事業費	78,118千円	財源 内訳	国県支出金	0千円	その他	18,369千円
			地方債	0千円	一般財源	59,749千円

◎当該年度主な事業内容

1. 委託老人ホーム入所措置費 77,771千円

養護老人ホーム等へ入所措置を行った場合に、その入所先へ支払う措置に要する費用を推定人数分予算計上します。

2. 入居者生活補給金 270千円

養護老人ホーム入所者のうち、対象者に支給する生活補給金を推定対象者分予算計上します。

2. 得られる成果

在宅での自立生活が困難な高齢者の生活を養護老人ホームで支えることができます。

目標値や目指すべき状態	措置が必要な高齢者を適切に入所させられる状態
-------------	------------------------

3. 参考データ

	R5年度	R6年度	R7年度
	各年度3月31日時点		10月1日時点
養護老人ホーム入所者数(人)	28	28	28
特別養護老人ホーム入所者数(人)※	0.8	1.9	1.3

※特別養護老人ホーム入所者数は12か月を1名として算定
R7見込みは、R6見込みと同数とする。

■生活補給金支給者数(実績)

	R5年度	R6年度	R7年度
	各年度4月1日時点		10月1日時点
対象者数(人)	2	3	3



介護人材の確保・定着を支援します (介護人材確保・定着支援事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

後期高齢者の増加に伴い介護サービスの需要が膨らむ一方、介護従事者不足が課題となっています。将来的な介護サービスの供給不足を防ぐため、介護従事者の新規採用を後押しし、離職防止の施策を実施します。

(2) 令和8年度予算

事業費	973千円	財源 内訳	国県支出金	659千円	その他	0千円
			地方債	0千円	一般財源	314千円

◎当該年度主な事業内容

1. 介護人材確保・定着支援補助金 879千円

介護支援専門員資格 新規取得研修受講料補助 (補助率1/1)

介護支援専門員資格 更新等研修受講料補助 (補助率1/2)

2. 人材確保・定着支援及び介護PR事業 94千円

(確保・定着)

業務効率化等による負担軽減や雇用促進に関する事業

(介護PR)

若年層へのキャリア教育や就職転職層への介護業界のPRなど

2. 得られる成果

介護人材の確保及び定着を支援することで、介護保険制度の安定的かつ持続的な運営を図る。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
介護人材確保に関する市主催イベントへの参加者数	-	-	100人
介護人材確保・定着補助金申請率	-	-	100%

※令和8年度新規目標設定

3. 参考データ

1. 介護支援専門員 (ケアマネジャー) とは

介護保険法に基づき、要介護者や要支援者が適切な介護サービスを受けられるよう支援する専門職。受験には介護福祉士や看護師等の国家資格を持ち、5年以上かつ900日以上の実務経験が必要。

2. 介護支援専門員資格の有効期間

介護支援専門員資格の有効期間は5年。更新のためには、期間満了前に更新研修等の受講が必要。

更新研修時間：32～88時間 (実務経験の有無等により異なる)

更新研修費用：28,600円～66,800円

子ども医療費を助成します (子ども医療費助成事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

0歳から高校生等の医療費を助成することにより、保護者の経済的な負担を軽減し、適切に医療を受ける機会の確保、健康の保持増進等の福祉の向上を図ります。

(2) 令和8年度予算

事業費	698,360千円	財源 内訳	国県支出金	114,357千円	その他	0千円
			地方債	0千円	一般財源	584,003千円

◎当該年度主な事業内容

0歳から高校生等に対して、医療費（保険診療分）の自己負担分を助成します。令和7年度からは中学生及び高校生等の通院費についても、全額助成を開始しています。

2. 得られる成果

子どもが必要な時に適切に医療を受けられ、健康の保持・増進につながります。また、保護者の子育てに係る経済的負担の軽減という、子育て支援の効果もあります。

目標値や目指すべき状態	子どもが必要な時に適切に医療を受けられる。
-------------	-----------------------

3. 事業実施イメージ

(例) 3割負担の方

		総額10,000円の医療を受診した場合	
一般の方	健康保険が負担	自己負担	
	7,000円	3,000円	
子ども医療助成の方	健康保険が負担	半田市が負担 (子ども医療費助成)	

市民の健康づくりを推進します (健康づくり推進事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

健康増進法・自殺対策基本法、第3次健康はんだ21計画・第2次半田市自死対策計画に基づき、健康寿命の延伸及び自殺者の減少のため、年齢を問わず市民一人ひとりの身体とこころの健康づくりを推進します。

(2) 令和8年度予算

事業費	2,189千円	財源 内訳	国県支出金	821千円	その他	0千円
			地方債	0千円	一般財源	1,368千円

◎当該年度主な事業内容

1. 健康マイレージアプリ「あいち健康プラス」市町村負担金 183千円

健康な生活習慣の確立には、若いころからの意識づけが必要であるため、県と市町村が共同で運営する健康マイレージアプリ「あいち健康プラス」を導入し、若年層の参加を促します。

2. 講師謝金 557千円

子育て世代のエクササイズやゲートキーパー養成講座などに講師を招き、市民の健康に関する意識の向上を図ります。特に、ゲートキーパー養成講座では、市民のこころの変化に気づき、必要な支援につなぐための自死対策の支え手となる市民を養成します。

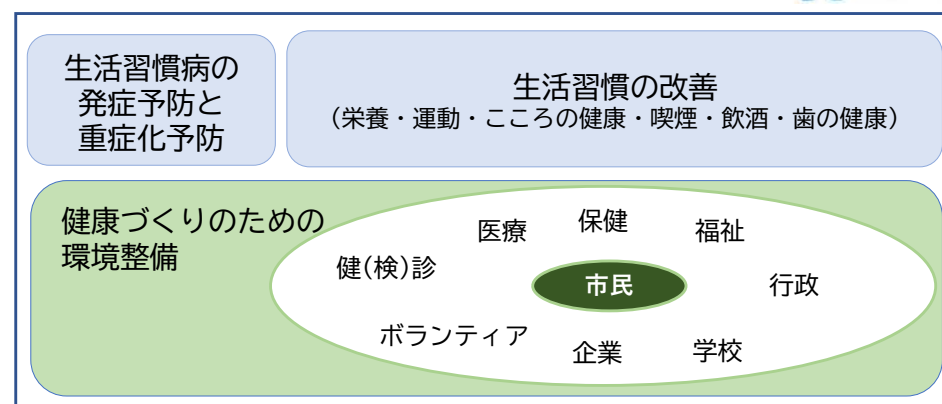
2. 得られる成果

市民の健康度が上がることで健康寿命の延伸や医療費の削減につながります。また、こころの健康も推進され、自殺者の減少にもつながります。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
子育て世代のエクササイズ教室 参加人数	320人 (238人)	320人	320人
ゲートキーパー養成講座の実施 回数	- (5回)	-	6回

3. 事業実施イメージ

健康で明るく こころ豊かなまち はんだ



各種がん検診を実施します (がん検診等推進事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

健康増進法に基づき、健康の保持、がんの早期発見及び早期治療を目的に、各種がん検診を実施します。

がんの早期発見・早期治療により健康寿命の延伸を図ります。

(2) 令和8年度予算

事業費	73,618千円	財源内訳	国県支出金	2,017千円	その他	0千円
			地方債	0千円	一般財源	71,601千円

◎当該年度主な事業内容

1. 各種がん検診等委託料 69,309千円

国が、がん検診の効果を科学的根拠に基づき推奨している5大がん検診を始め、市民ニーズに沿った22種類のがん検診を実施するため、委託料を計上します。

2. がん検診推進事業委託料 1,338千円

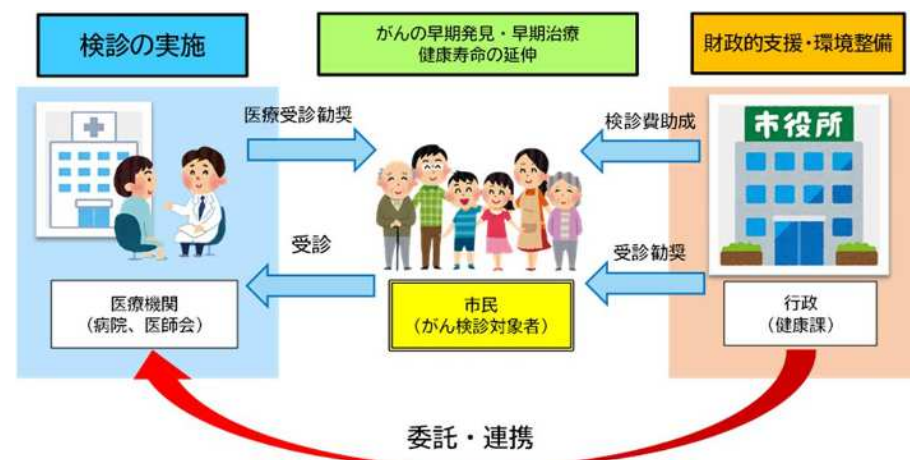
対象年齢の市民に対し、子宮頸がん及び乳がん検診の無料クーポンを配付し、がん検診の受診促進を図るため、委託料を計上します。

2. 得られる成果

公費助成を行うことで、がん検診の受診意欲を高めること及び受診率の向上に寄与し、がんの早期発見・早期治療につなげることができま

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
胃がん検診受診率 ※2年分受診率	- (9.6%)	10.0%	10.0%
子宮頸がん検診受診率 ※2年分受診率	- (18.3%)	20.0%	20.0%

3. 事業実施イメージ



高齢者保健事業と介護予防を一体的に実施します

(高齢者保健・介護予防一体的実施事業)

歳出科目：04.01.01.09.01
総合計画：3-2-1 健康づくり

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

後期高齢者の保健事業を介護保険制度の介護予防事業や後期高齢者医療制度の健診事業と接続して、一体的に事業を実施します。

後期高齢者の健康状態の特性を踏まえ、健康増進・フレイル予防(栄養・口腔・運動等)を推進し、健康寿命の延伸を図ります。

なお、当該事業は、愛知県後期高齢者医療広域連合の委託を受け、市が実施するものです。

(2) 令和8年度予算

事業費	1,246千円	財源内訳	国県支出金	0千円	その他	1,246千円
			地方債	0千円	一般財源	0千円

◎当該年度主な事業内容

1. 講師謝金 194千円

高齢者の健康増進・フレイル予防のため、地域の通いの場等で様々な職種の医療専門職による健康教育・健康相談を行います。

2. 指導員謝金 604千円

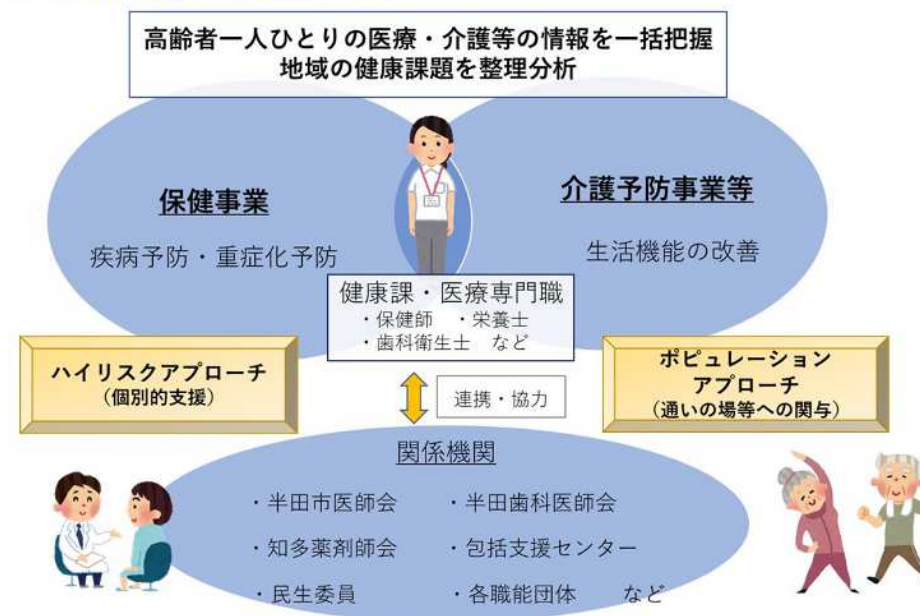
健康に関するリスクを抱えていると思われる後期高齢者に対し、家庭訪問等の個別的支援を行うことで、健康状態を把握し、必要な支援につなぎます。

2. 得られる成果

高齢者の健康上の不安や課題が軽減され、QOLの維持・向上につながることで住み慣れた地域で自立した生活を送ることができます。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
訪問等実施人数	250人 (201人)	235人	235人
健康教育実施回数	82回 (91回)	83回	85回

3. 事業実施イメージ



(地独)知多半島総合医療機構に運営費を拠出し、地域医療を支えます。

(地方独立行政法人知多半島総合医療機構負担金)

総合計画：3-3-2 知多半島総合医療機構

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

半田市と常滑市が設立した(地独)知多半島総合医療機構は、知多半島総合医療センター、知多半島りんくう病院、訪問看護ステーションを運営します。救急医療の提供をはじめとする中期目標に掲げた役割を果たすために機構が行う事業に対し、国の定める基準等に従って、運営費を負担します。

機構が運営費負担金を活用し、救急医療、周産期医療や小児医療等の政策的医療を担うことで、地域の人々の健康を支えます。

(2) 令和8年度予算

事業費	2,814,632千円	財源内訳	国県支出金	0千円	その他	2,260千円
			地方債	0千円	一般財源	2,812,372千円

◎当該年度の主な内容

地方公営企業繰出基準に準拠し、負担金を繰り出します。

■繰出基準に基づく運営費負担金の項目

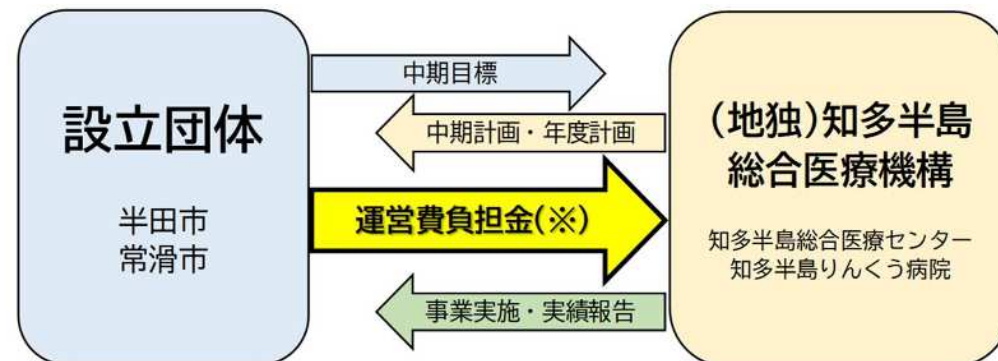
1. 救急医療の確保に要する経費	269,477千円
2. 保健衛生行政事務に要する経費	33,950千円
3. 周産期医療に要する経費	46,919千円
4. 小児医療に要する経費	56,182千円
5. リハビリテーション医療に要する費用	7,949千円
6. 感染症医療に要する経費	7,475千円
7. 医師及び看護師等の研究研修に要する経費	25,230千円
8. 医師確保対策に要する経費	4,412千円
9. 院内保育所の運営に要する経費	52,218千円
10. 共済追加費用の負担に要する費用	62,378千円
11. 基礎年金拠出金に係る公的負担に要する経費	200,729千円
12. 病院の建設改良に要する費用	2,047,713千円
(企業債償還元金・利子、リース資産購入費等)	

2. 得られる成果

24時間365日体制の救命救急センター運営や重大疾病、特定疾病への対応、周産期・小児医療体制の充実、経営統合による地域医療のさらなる向上など、機構が質の高い医療を安定的に提供することで、安心して暮らすことができます。

目標値や目指すべき状態	機構が安定した病院運営を行うことで、必要な時に必要な医療が受けられる状態
-------------	--------------------------------------

3. 事業実施イメージ



※新病院開院までの各病院の投資に係る費用については、各市が単独で負担する
 ※新病院開院以降に係る費用については、前年度4月1日時点の各市の人口割で負担する



こどもの貧困対策に取り組みます (こどもの貧困解消事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

こどもの貧困の解消に向けた対策の推進に関する法律に基づき、こどもが生まれ育った環境によって左右されることのないよう、こどもの将来の自立を後押しする環境整備と教育の機会均等を図ることを目的として、中学生向けの子どもの学習・生活支援(常設)や、学校の長期休暇中における学習・生活支援を実施しています。

(2) 令和8年度予算

事業費	11,213千円	財源内訳	国県支出金	8,033千円	その他	0千円
			地方債	0千円	一般財源	3,180千円

◎当該年度主な事業内容

1. 子どもの学習・生活支援事業委託料 10,573千円

要保護世帯(生活保護受給世帯)及び準要保護世帯(児童扶養手当受給世帯、市民税非課税世帯等経済的に困窮しており、教育委員会が援助を必要と認めた世帯)に属する中学生に対し、学習の支援、生活相談、社会性を育むためのイベント等を実施します。

2. その他謝礼 640千円

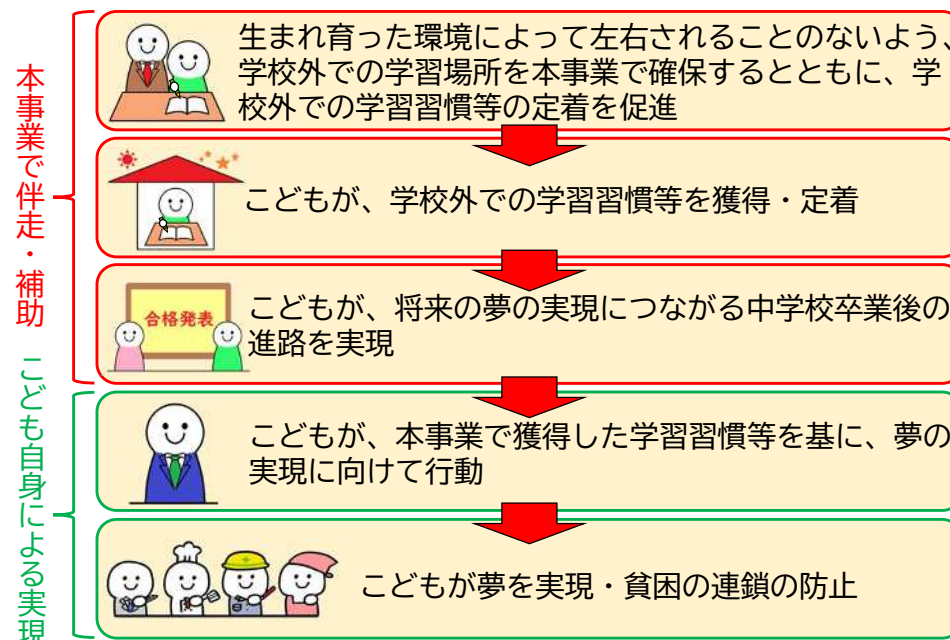
学校の長期休暇中における18歳以下のこどもの居場所の提供や学習の支援を実施します。

2. 得られる成果

こどもが自らの能力を伸ばし、社会で自立して生きていく力を身につけていくことができる環境を提供することで、貧困の連鎖の防止につなげます。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
学習意欲が向上した者の割合 (利用生徒へ調査・常設)	60.0% (72.7%)	65.0%	75.0%
学習習慣定着が見られた生徒の割合 (保護者へ調査・常設)	50.0% (48.5%)	55.0%	55.0%
出席者のうち、開始時刻からの参加生徒の割合(常設)	- (-)	70.0%	70.0%

3. 事業実施イメージ



小学生に放課後等の遊びや生活の場を提供します (放課後児童健全育成事業)

歳出科目：03.02.02.12.50
総合計画：1-1-1 子どもと子育て家庭

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生に、放課後等に適切な遊びや生活の場を提供して、児童の健全な育成を図ることを目的に、市内20か所の放課後児童クラブに事業を委託します。

13小学校区で19クラブを開設することで、放課後や長期休業期間中の小学生の居場所(受け皿)を確保します。また、保護者のニーズに即した児童の預け先の環境整備に努めるとともに、安心安全に利用していただけよう放課後児童クラブの全体的な質の向上を図ります。

(2) 令和8年度予算

事業費	333,361千円	財源内訳	国県支出金	173,274千円	その他	0千円
			地方債	0千円	一般財源	160,087千円

◎当該年度主な事業内容

市内19か所の放課後児童クラブに運営を委託し、適切な委託料や補助金を支出することで、事業の着実な推進を図ります。

また、発達障がい等に関する専門的知識を有するアドバイザーによる『放課後児童クラブ巡回支援』については、子育て相談課と連携して実施することで、障がい児等の受入れを促進し、児童が安心して過ごせるよう環境整備を行うとともに、はたらく親を応援します。

1. 放課後児童健全育成事業委託料【国・県】	276,959千円
2. 入所児童奨励費	54,792千円
3. 放課後児童クラブ巡回アドバイザー謝金【国・県】	240千円

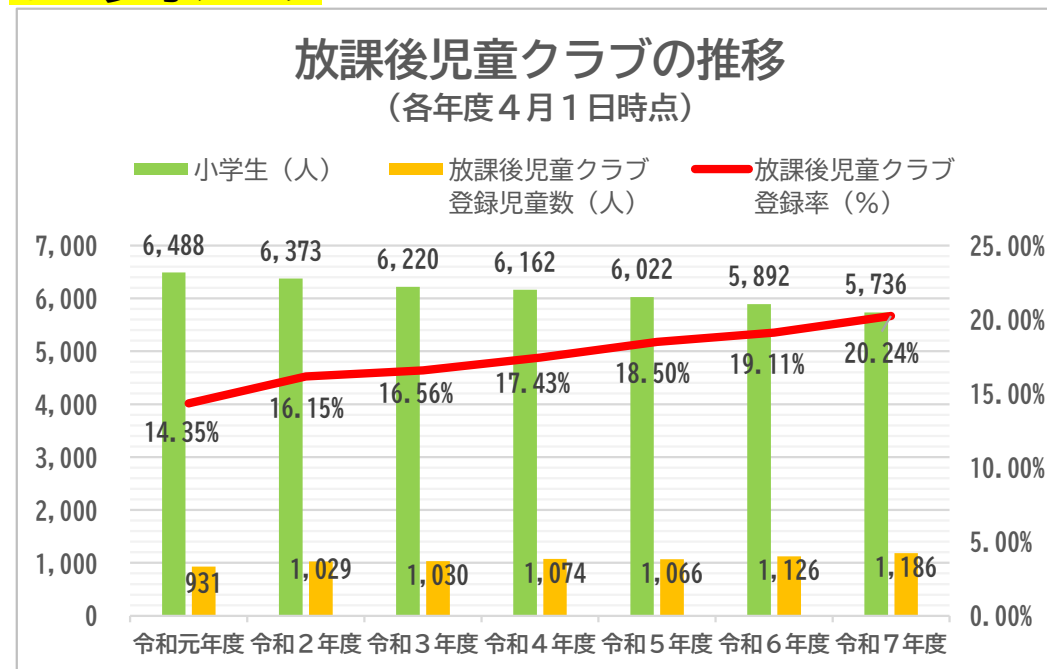
2. 得られる成果

児童の健全な育成に寄与するとともに、子育てと仕事の両立を図ることができ、はたらく親の応援につながります。



目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値 (実績値)	R8目標値
登録児童数(人) (各年度4月1日時点)	1,204 (1,126)	1,098 (1,186)	1,114

3. 参考データ



小学校内に放課後等の居場所を開設します

(小学校児童放課後等居場所づくり事業)

歳出科目：03.02.02.14.50
 総合計画：1-1-1 子どもと子育て家庭

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

すべての児童が放課後や夏休み等の時間を安心して過ごせる居場所を確保するため、小学校敷地内に放課後児童クラブ、児童センターの一部、放課後子ども教室の3つの機能を集約した新たな居場所を開設し、民間委託による一括管理・運営を行います。

(2) 令和8年度予算

事業費	54,369千円	財源 内訳	国県支出金	22,296千円	その他	23,469千円
			地方債	0千円	一般財源	8,604千円

◎当該年度主な事業内容

1. 亀崎小学校児童の居場所運営委託料 31,244千円

新たに建設した亀崎小学校内に、児童の居場所事業を民間委託により、一括管理・運営を行います。

2. 横川小学校児童の居場所運営委託料 16,551千円

横川小学校の空き教室を利用し、児童の居場所事業を民間委託により一括管理・運営を行います。

2. 得られる成果

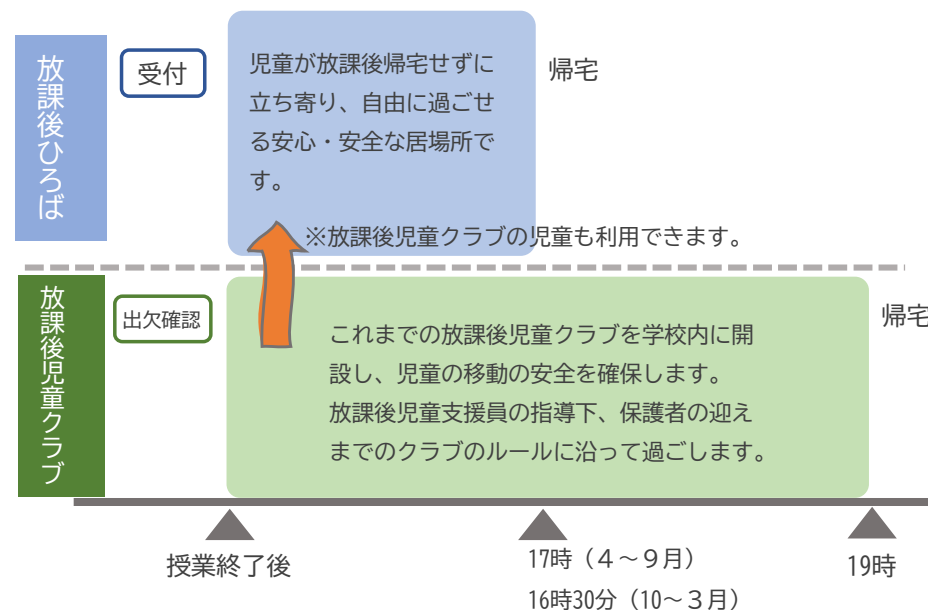
小学校の敷地内で安心・安全に過ごすことができる環境に加え、同世代や多世代と交流しながら充実した放課後の時間を過ごすことができる環境を提供できます。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
居場所施設の整備数	-	1か所	2か所

3. 事業実施イメージ

放課後の利用イメージ（通常授業時）

原則、帰宅せず、施設を利用。



小学校内に早朝の居場所を開設します (小学校児童早朝居場所づくり事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

保護者の出勤時間より児童の登校時間が遅い家庭においては、児童を家に残して出勤しなければならない状況があるため、学校施設内に始業前の児童が安心して過ごせる居場所を確保します。

(2) 令和8年度予算

事業費	1,236千円	財源 内訳	国県支出金	0千円	その他	1,236千円
			地方債	0千円	一般財源	0千円

◎当該年度主な事業内容

1. 小学校早朝居場所づくり事業委託料 1,179千円
小学校施設を活用し、児童の居場所事業を民間委託により一括管理・運営を行います。
2. 小学校児童の傷害保険料 33千円
小学校施設を活用し、児童の居場所事業を民間委託により一括管理・運営を行います。

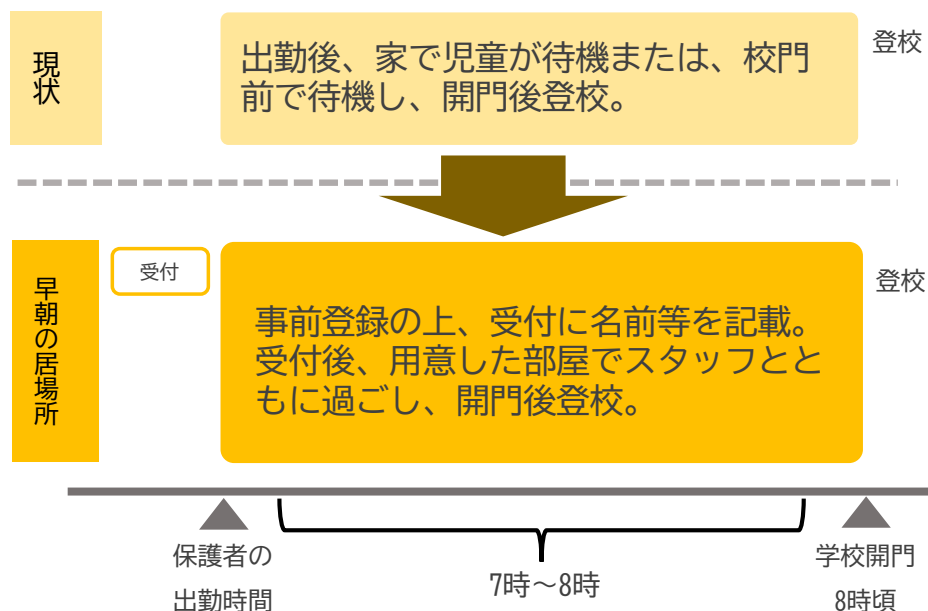
2. 得られる成果

始業前に児童が過ごせる居場所を小学校敷地内に確保することにより、児童の安心確保と保護者の子育て・就労の両立支援を行うことができます。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
居場所施設の整備数	-	-	1か所

3. 事業実施イメージ

早朝の利用イメージ (通常授業時)



ひとり親家庭等の自立を支援します (ひとり親家庭等自立支援対策事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

生活が不安定になっているひとり親家庭等の生活基盤の整備を図るとともに、安定した収入を得るための就労支援により、ひとり親家庭等の自立を図ることを目的に、資格取得に当たっての給付金の支給、就職活動等を行う際のこどもの預かりに関する助成、離婚前後の親向け相談会等を実施しています。

ひとり親家庭等が自立した生活を行うための各種サポート事業を実施するものです。

(2) 令和8年度予算

事業費	4,792千円	財源 内訳	国県支出金	3,383千円	その他	0千円
			地方債	0千円	一般財源	1,409千円

◎当該年度主な事業内容

1. 高等職業訓練促進給付金 4,080千円

就職に役立つ技能や資格取得のため、養成機関にて6か月以上就学する場合に給付金を支給することにより、より良い就業環境に就くことを支援し、ひとり親家庭等の自立を図ります。

2. 資格取得等就業支援事業委託料 150千円

ひとり親家庭等に対し、就業支援のための講座を実施することにより、就業に必要な技能や資格の習得を支援し、ひとり親家庭等の自立を図ります。

2. 得られる成果

ひとり親家庭等が就業し、経済的に自立した生活を営むことができるようになり、こどもの健全な育成につながる。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
ひとり親家庭等自立支援計画策定時の目標達成率	90.0% (91.0%)	90.0%	92.0%



3. 事業実施イメージ

本事業で伴走・補助等



母子・父子自立支援員が、ひとり親からの相談に応じ、その自立に必要な情報提供及び指導を行う。
状況に応じ、ひとり親家庭等自立支援計画を策定し、個別に目標設定する。



ひとり親家庭等が各種サポート事業を利用
・資格取得等就業支援事業
・ひとり親家庭等日常生活支援事業
・自立支援教育訓練給付金事業
・高等職業訓練促進給付金事業 等



○資格取得・就業支援系事業の利用者
⇒資格を取得し、安定した収入を得るための就労につなげる
○保育・家事支援系事業の利用者
⇒子育てや生活面をサポートし、自立した生活の維持につなげる

ファミリーサポート事業の利用促進を図ります (ファミリーサポート利用促進事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

子育ての手助けが必要な方（依頼会員）と子育ての手助けをしたい方（援助会員）をつなぎ、地域で子育てを助け合う相互援助活動であるファミリーサポート事業の利用促進を図ります。

(2) 令和8年度予算

事業費	524千円	財源内訳	国県支出金	160千円	その他	17千円
			地方債	0千円	一般財源	347千円

◎当該年度主な事業内容

令和6年度までに配布した無料券の利用を図るために「お試し無料券体験会」を継続実施し、利用しやすい環境を提供します。

安心して援助活動を行っていただくために、活動する援助会員の方に感染症対策物品を配布します。

依頼会員の多様なニーズに対応するため援助会員の確保を行う。

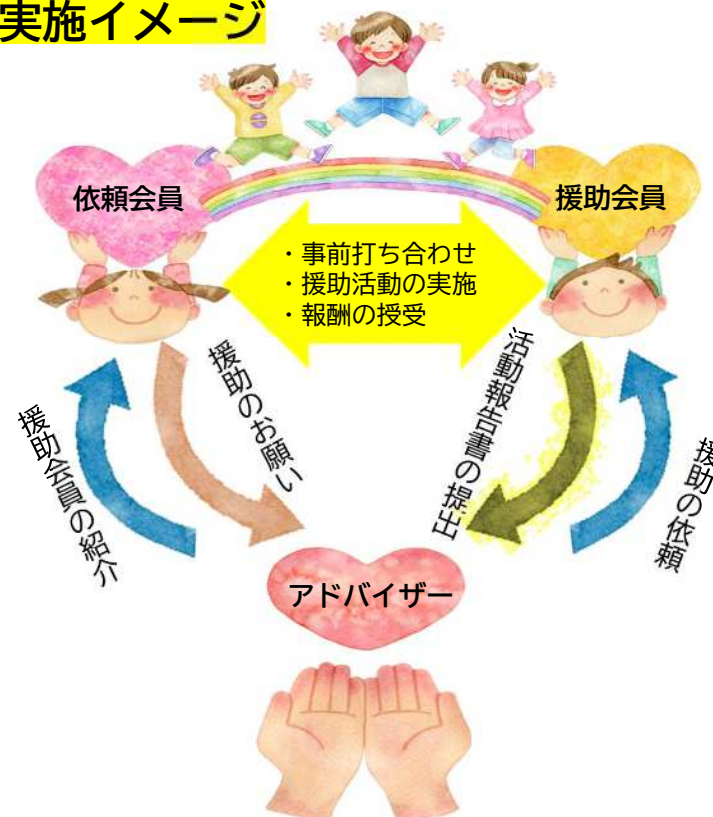
1. ファミリーサポート事業援助活動謝金 37千円
2. 消耗品費 110千円

2. 得られる成果

子育て中の保護者の不安を和らげ、負担を軽減するとともに、地域で子育てを助け合う環境の充実につながります。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
新規援助会員登録者数 (人)	20 (11)	20	20

3. 事業実施イメージ



子育て支援センター事業の充実を図ります (子育て支援センター事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

こどもの健やかな育ちと親の子育て力の向上とともに、地域全体で子育てをする意識の醸成を図り、誰もが安心して子育てができる環境づくりを推進するものです。

(2) 令和8年度予算

事業費	41,919千円	財源 内訳	国県支出金	9,857千円	その他	7,496千円
			地方債	0千円	一般財源	24,566千円

◎当該年度主な事業内容

地域子育て支援拠点はんだっこの運営（親子交流の場（プレイランド）の提供や講座の開催、相談事業など）と事業の推進、乳幼児一時預かり事業、また本年度より乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）をはんだっこので実施します。

1. 子育て支援事業委託料	13,293千円
2. 乳幼児一時預かり事業委託料	23,622千円
3. 乳児等通園支援事業委託料	1,013千円

2. 得られる成果

子育て親子の交流の場の提供や相談支援、子育て支援に関する情報の提供や講習会を実施することで、子育ての不安や悩みの解消、育児に対する保護者の負担軽減につながります。

また、一時預かりにおいて、育児に対する保護者の負担軽減の他にリフレッシュする時間を提供することができます。

乳児等通園支援事業については、こどもが家族以外の人や同じ年頃のこどもとふれあい、物や人への興味や関心を広げ、社会情緒的な発達を支え成長するための経験を提供することができます。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
プレイランド新規利用登録者数 (人)	2,400 (2,221)	2,400	2,400

3. 事業実施イメージ



障がい特性に応じた療育支援を行います (児童発達支援センターつくし学園管理運営事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

つくし学園において、未就学の発達・知的障がい児、肢体不自由児が日々通園することにより、健康的な身体づくりと基本的な生活習慣の取得を促していく。また、個々の障がい特性に応じた指導育成実施のため、職員の資質の向上を図り療育の質を高めていく。

(2) 令和8年度予算

事業費	28,792千円	財源 内訳	国県支出金	412千円	その他	28,380千円
			地方債	0千円	一般財源	0千円

◎当該年度主な事業内容

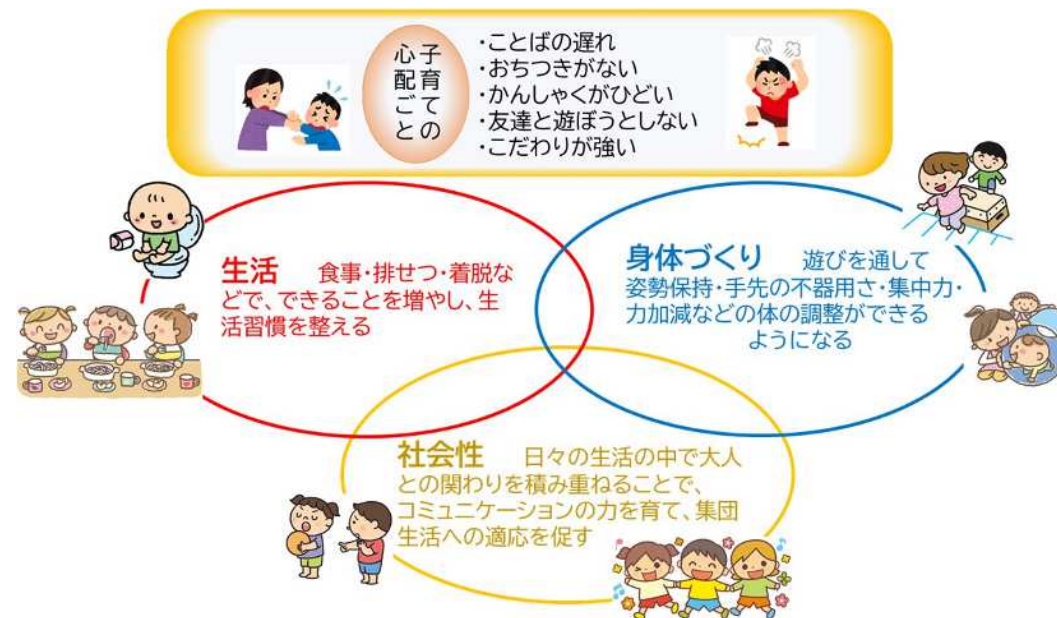
1. 障がい児療育指導謝金	1,550千円
2. 通園バス運行管理委託料	9,625千円
3. 第三者評価業務委託料	162千円
4. 研修負担金	116千円

2. 得られる成果

個々の障がい特性に応じた指導育成や訓練などを行うことで、日常生活に必要な生活習慣の習得を促すことができます。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
園児の進級・就学先等の相談支援達成度	— (—)	—	100%

3. 事業実施イメージ



発達に心配のある子どもの適切な支援につなげます

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

児童発達支援センターとして、4つの中核機能を備えるとともに、地域全体で障がい児に提供する支援の質を高め、障がい児の支援体制の強化を図ることを目的に、以下の事業を実施します。

- ・発達支援相談「あゆみ」
- ・保育所等訪問支援「すてっぴ」
- ・家族等支援「ペアレントプログラム」、「ペアレントトレーニング」
- ・巡回療育支援事業
- ・地域講演会及び支援者向け研修会

(2) 令和8年度予算

事業費	3,027千円	財源内訳	国県支出金	2,102千円	その他	925千円
			地方債	0千円	一般財源	0千円

◎当該年度主な事業内容

1. 講師謝金	150千円
2. 巡回療育支援謝金	2,244千円
3. 地域生活支援促進事業委託料	144千円

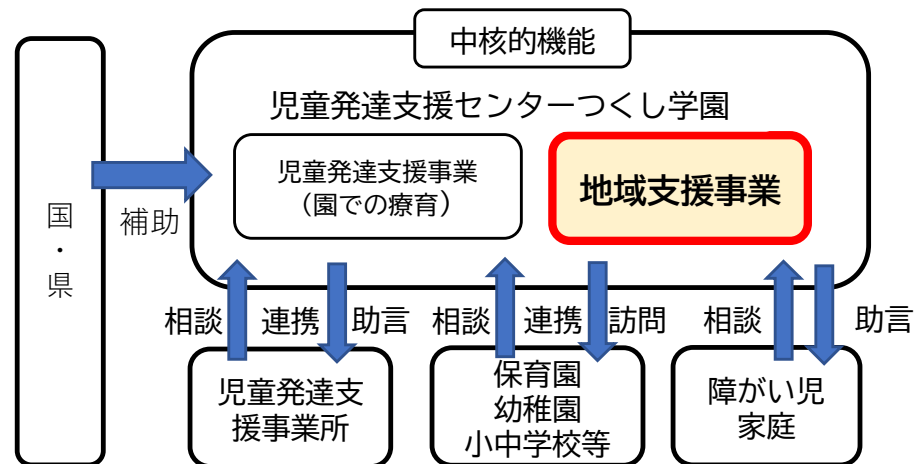
2. 得られる成果

地域全体で、障がい児に提供する支援の質の向上と支援体制の強化を図ることができます。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
相談支援事業による支援人数	1,500人 (1,926人)	1,500人	1,500人
保育所等訪問支援事業による支援人数	175人 (86人)	175人	175人
巡回療育支援事業による支援回数	240回 (204回)	240回	240回

3. 事業実施イメージ

センターは、施設の有する専門機能を活かし、地域の障がい児やその家庭への相談、障がい児を預かる施設への援助・助言を併せて行うなど、地域の中核的な療育支援施設の役割を担います。



妊娠期から切れ目ない支援を行います (母子健康増進事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

すべての子どもが心身ともに健やかに生まれ育つことを目的とし、母子保健法に基づき、母性並びに乳幼児等の健康の確保及び増進を図ります。妊娠期から切れ目ない支援を目指す利用者支援事業を行い、地域で安心して子育てが行えるよう相談支援の充実を図ります。

(2) 令和8年度予算

事業費	3,844千円	財源内訳	国県支出金	2,171千円	その他	0千円
			地方債	0千円	一般財源	1,673千円

◎当該年度主な事業内容

母子保健事業従事者謝金 2,275千円

母子保健事業支援委託料 663千円

母子保健事業実施経費 906千円

2. 得られる成果

地域で安心して出産し、子育てをすることができます。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
産後1か月までの指導・ケアの満足度	85% (85.8%)	85%	88%
たんぽぽの日 親の意識改善率※	80% (73.2%)	80%	80%

※教室で伝えている子どもの関わり方が実践できた方の率

3. 事業実施イメージ

妊娠期から切れ目ない支援を行います。



不妊治療に要する費用の一部を助成します (不妊治療費助成事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

不妊に悩む夫婦に対し、不妊治療（保険適用の治療のみ）に要する費用の一部を助成することにより、その経済的な負担の軽減を図ります。不妊治療に要する費用は高額なため、治療を敬遠し、あきらめてしまう夫婦も多いことから、少子化対策の一つとして事業を実施しています。

(2) 令和8年度予算

事業費	14,569千円	財源 内訳	国県支出金	0千円	その他	0千円
			地方債	0千円	一般財源	14,569千円

◎当該年度主な事業内容

1. 不妊治療費助成金 14,569千円

2. 得られる成果

自己負担した保険適用の不妊治療費に対して、自己負担額の2/3（上限なし）の助成を行い、経済的支援をすることで、若い世代の不妊治療が促進されます。その成果として、令和6年度は80組の夫婦が妊娠に至っています。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
不妊治療費助成金の申請件数	- (165)	-	183
不妊治療費助成金を支給した夫婦で妊娠した件数	- (80)	-	89

3. 事業実施イメージ



保育園選考事務にAIシステムを活用します (入園選考事務ICT化事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

保育園等への入園受付事務を円滑に行うため、ICT (AI入所選考システム) を導入し、AIが入園先を素早くマッチング処理することで、入所選考に係る時間が短縮されるとともに申込者への入所決定通知を早めることができ、保護者の仕事復帰や育児休暇の延長といった勤務先との調整がしやすくなります。

また、申込状況や選考結果が管理しやすいシステムにより業務効率化を図ります。

(2) 令和8年度予算

事業費	1,730千円	財源 内訳	国県支出金	0千円	その他	0千円
			地方債	0千円	一般財源	1,730千円

◎当該年度主な事業内容

令和7年10月に実施した令和8度4月入園一斉申込よりICT (AI入所選考システム) を導入しました。引き続き、適正かつ円滑に入所選考を行います。

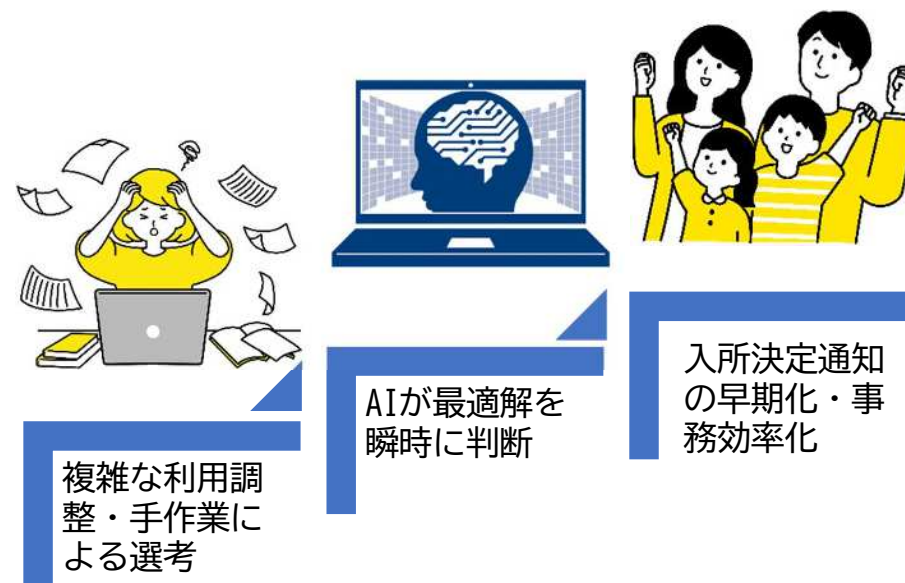
1. 情報システム保守委託料 1,730千円

2. 得られる成果

ICT (AI入所選考システム) を導入したことで、手作業で行っていた入所選考事務処理時間が短縮され、申込者への入所決定通知を早めることができ、市民サービスの向上を図ります。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値 (実績値)	R8目標値
一斉申込開始日から決定通知 発送までの期間	未実施 (54日)	50日 (42日)	40日

3. 事業実施イメージ



3歳未満の2人目の子以降の保育料を無償化します

歳出科目：03.02.02.50.50～51/03.02.04.02.52

(多子世帯の3歳未満児保育料無償化事業)

総合計画：1-1-2 幼児教育・保育

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

認可保育園等において、3歳未満児の第2子以降の保育料を所得制限等の条件を設けず、半田市独自に無償化します。

2. 得られる成果

3歳未満児の第2子以降の保育料を無償化することにより、多子世帯の経済的負担を軽減します。

目標値や目指すべき状態

多子世帯の経済的負担の軽減

(2) 令和8年度予算

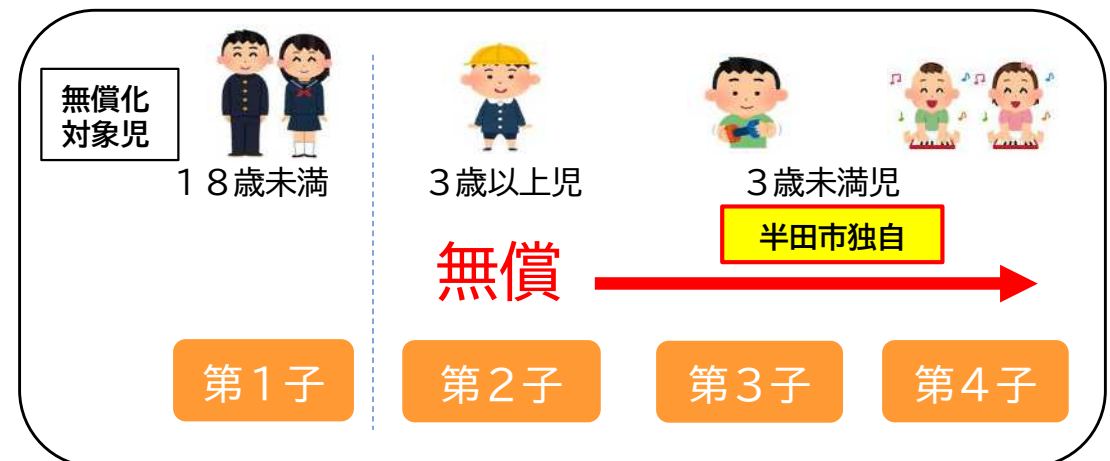
事業費	99,308千円
-----	----------

◎当該年度主な事業内容

1. 市立保育園 (歳入)市立保育所等の保育料減収分	52,384千円
2. 私立保育園 (歳入)民間保育所等の保育料減収分	32,201千円
3. 認定こども園・小規模保育園 (歳出)民間保育所等(認定こども園、小規模保育園)の保育料補填分	14,723千円

3. 事業実施イメージ

生計を同一にしている18歳未満の子どものうち、最年長者を第1子、その下の子を第2子として、第2子以降の保育料が無償化となります。



民間保育所運営事業を実施します (民間保育所運営事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

公立保育園のみでは全ての保育ニーズに対応できないことから、民間事業者へ保育園等の運営を委託します。民間事業者へは委託費を施設型給付費として支給するとともに、運営費等を一部補助金として交付することで児童の健全育成を実現し、増加傾向にある低年齢児の保育ニーズを始めとした多様化する様々な保育ニーズに対応します。

また、国の交付金を活用し、物価高騰等に伴う給食費の値上げ分について補助することで、保護者の負担軽減を図ります。

(2) 令和8年度予算

事業費	1,115,497千円	財源 内訳	国県支出金	695,524千円	その他	48,622千円
			地方債	0千円	一般財源	371,351千円

◎当該年度主な事業内容

子ども・子育て支援法の規定により、民間保育所等に施設型給付費(委託費)を支給するとともに、運営や延長保育事業等の実施に要する経費に対し補助金を交付します。

1. 民間保育所運営委託料	835,445千円
2. 民間保育所事業補助金(運営費)	166,260千円
3. 保育所等給食費軽減対策補助金(市事業)	5,580千円
4. 施設型教育・保育給付費(住吉こども園)	89,171千円

2. 得られる成果

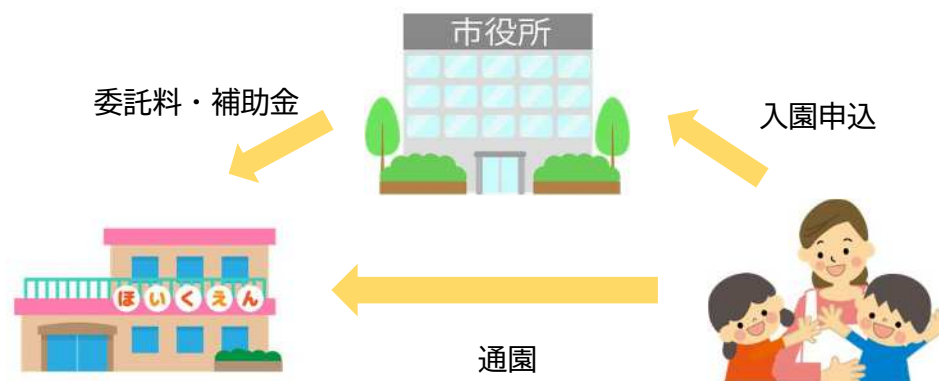
民間の力を活用し、低年齢児の保育ニーズや延長保育、一次保育など様々な保育ニーズに対応できます。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値 (実績値)	R8目標値
4月1日現在の待機児童数	0人 (0人)	0人 (0人)	0人
10月1日現在の待機児童数	0人 (69人)	0人 (16人)	0人

3. 事業実施イメージ

【支給内容】

- 運営委託料
- 補助金(人件費管理費、嘱託医報酬改善費、長時間保育・一時的保育実施費)



地域型保育事業を実施します (地域型保育事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

年度途中から待機児童が発生している3歳未満児を対象に、受け入れる児童を少人数とすることで家庭的な雰囲気の中、きめ細やかな保育を行います。

事業者へは地域型保育給付費として支給するとともに、一部経費を補助金として交付することで、増加傾向にある低年齢児の保育ニーズに対応します。

(2) 令和8年度予算

事業費	321,790千円	財源内訳	国県支出金	233,158千円	その他	0千円
			地方債	0千円	一般財源	88,632千円

◎当該年度主な事業内容

子ども・子育て支援法の規定により地域型保育給付費等を支給するとともに、延長保育事業に要する経費に対し、補助金を交付します。

1. 地域型保育給付費	316,261千円
2. 地域型保育事業補助金(延長保育事業)	4,500千円

2. 得られる成果

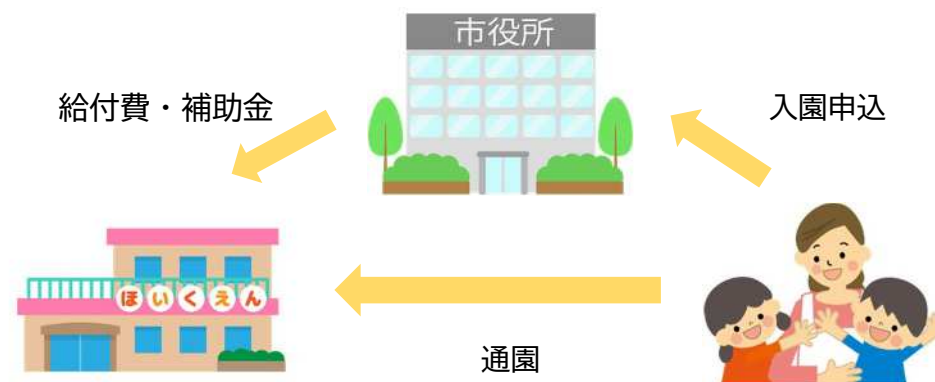
増加する低年齢児の保育ニーズに対応することにより、待機児童解消を図ることができます。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値 (実績値)	R8目標値
4月1日現在の待機児童数	0人 (0人)	0人 (0人)	0人
10月1日現在の待機児童数	0人 (69人)	0人 (16人)	0人

3. 事業実施イメージ

【支給内容】

- 地域型保育給付費
- 補助金(延長保育事業費、保育対策総合支援事業費)



通園する児童の心身の育成を行います (市立保育園管理運営事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

家庭で保育ができない保護者に代わり保育を行うことに加え、通園する児童の心身の育成を行います。

また、年度途中に発生する病気や育児休業取得に伴う保育士の欠員について、人材派遣を活用し、保育の質を維持します。

さらに、国の交付金を活用し、物価高騰等に伴う給食費の値上げ分について補助することで、保護者の負担軽減を図ります。

(2) 令和8年度予算

事業費	338,785千円	財源 内訳	国県支出金	23,149千円	その他	162,084千円
			地方債	0千円	一般財源	153,552千円

◎当該年度主な事業内容

市立保育園施設（市立認可保育園11園及び保育所型認定こども園2園）の維持管理及び保育の質の向上に必要な経費を計上します。

1. 賄材料費	162,620千円
2. 光熱水費	51,296千円
3. 消耗品費	30,460千円
4. 保育士派遣料	11,484千円
5. 保育園維持補修工事	19,286千円

2. 得られる成果

家庭で保育ができない保護者に代わり保育を行うことにより、通園する児童の心身の育成を行うことができます。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値 (実績値)	R8目標値
4月1日現在の待機児童数	0人 (0人)	0人 (0人)	0人
10月1日現在の待機児童数	0人 (69人)	0人 (16人)	0人

3. 事業実施イメージ



保育園等への登園準備に係る保護者負担の軽減を行います

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

公立保育園等へ通う0～2歳児を対象に、お昼寝ふとん及び食事用エプロン等を各園で用意し、登園準備に係る保護者の負担を軽減するとともに、子育て支援の充実を図ります。

(2) 令和8年度予算

事業費	22,506千円	財源 内訳	国県支出金	0千円	その他	0千円
			地方債	0千円	一般財源	22,506千円

◎当該年度主な事業内容

1. 消耗品費 7,628千円
食事用使い捨てエプロン及びお口拭き代を計上します。
2. 午睡用寝具交換業務委託料 3,942千円
お昼寝布団用のふとんのシーツ交換作業を外部へ委託します。
3. 寝具等借上料 10,936千円
お昼寝布団用ふとんのレンタル・クリーニングサービス利用料を計上します。

2. 得られる成果

保育園等への登園準備に係る保護者の負担を軽減することで、子育て支援の充実を図ることができます。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
登園準備の負担が少ないと感じている市立保育園等へ通う3歳児未満の保護者の割合	80% (91.4%)	80%	90%

3. 事業実施イメージ

お昼寝布団のレンタル・クリーニング

自宅から園への運搬は不要です。

定期的なクリーニングを行うことにより、清潔なお昼寝環境を提供します。



食事用エプロン・お口拭き



1食ごとの使い捨てのため、清潔さを保てます。

お口拭きはノンアルコールのウェットティッシュを使用するため、お肌が敏感なお子様にも問題なく使用できます。

協和保育園と成岩幼稚園を統合しこども園を整備します

((仮称) 成岩こども園建設事業)

歳出科目：03.02.07.02.50

総合計画：1-1-2 幼児教育・保育

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

令和元年度に策定した「半田市保育園等公民連携更新計画」に基づき、少子化、多様化する教育・保育ニーズ、低年齢児の待機児童対策等の課題に対応するため、教育・保育環境の充実・整備を図ることを目的に、成岩中学校区内に近接する市立協和保育園及び成岩幼稚園を統合し、適正な定員規模として、認定こども園へ移行します。

(2) 令和8年度予算

事業費	1,176,401千円	財源 内訳	国県支出金	79,551千円	その他	8,186千円
			地方債	830,200千円	一般財源	258,464千円

◎当該年度主な事業内容

令和9年4月の開園に向けて、令和7年度から引き続き、実施設計に基づいて、こども園の建設工事を行います。

1. 消耗品費	13,325千円
2. 建設工事	1,114,160千円
3. 保育事業用備品購入費	18,343千円

2. 得られる成果

多様化する教育・保育ニーズ（低年齢児保育、延長保育等）に対応でき、質の高い教育・保育の提供と施設環境の整備を図ることができます。

目標値や目指すべき状態

施設環境の整備と多様化する教育・保育ニーズへの対応

3. 事業スケジュール

令和7年12月～ (仮称) 成岩こども園建設工事

令和9年4月～ 開園

4. 事業実施イメージ



都市計画道路の見直し方針を作成します (都市計画道路調査事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

将来交通量推計を行ったうえで計画道路の必要性を整理し、路線の廃止や変更も視野に検討するが、この検討結果を踏まえ、今後、事業未着手区間のある道路の優先度の設定や既決定路線における計画幅員の縮小、廃止等を検討します。

(2) 令和8年度予算 (全体事業費：16,621千円 令和8～9年度)

事業費	10,824千円	財源 内訳	国県支出金	0千円	その他	0千円
			地方債	0千円	一般財源	10,824千円

◎当該年度主な事業内容

将来交通量推計、道路網の評価解析を実施します。

1. 都市計画道路調査業務委託料	10,824千円
------------------	----------

2. 得られる成果

今後の都市計画道路の整備方針を定めることにより、将来のまちづくりの推進に繋がる。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
調査業務進捗率	- (-)	-	65.1%

3. 事業実施イメージ



名鉄河和線の高架化に関する調査を推進します (名鉄河和線連続立体交差化事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

市街地の東西分断を解消するために実施する名鉄河和線の連続立体交差化について、調査を進めます。

(2) 令和8年度予算 (全体事業費：365,310千円 令和7年度～)

事業費	114,400千円	財源 内訳	国県支出金	33,000千円	その他	0千円
			地方債	0千円	一般財源	81,400千円

◎当該年度主な事業内容

1. 鉄道高架事業調査負担金 81,298千円
 - ・ 県が実施する鉄道高架に関する調査への負担金
2. 鉄道高架事業調査検討業務委託料 33,000千円
 - ・ 街路、公園、基盤整備（区画整理等）の方針に係る検討業務

2. 得られる成果

東西交通の円滑化や市街地の分断解消により、どこからでもアクセスしやすい魅力ある市街地の形成が図られます。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
連続立体交差事業に係る調査進捗率	- (-)	8.9%	40.8%

3. 現状写真



自動車ボトルネック
住吉1号踏切
【(都)土井山新居線】

市民の暮らしの足を維持・確保します (公共交通対策事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

少子高齢化や単身世帯増加など時代背景から予測される移動需要の高まりを見据え、市民の暮らしの足の維持・確保を目的とした事業です。

市民の移動手段の1つとして、公共交通バスの運行の維持確保（地区交通A・地区交通Bの運行と基幹路線バスへの運行経費等補助）及びタクシーを活用した制度（おでかけタクシー、医療センター直行タクシー、広域おでかけタクシー）の導入等により、公共交通空白地域の解消を図ります。

(2) 令和8年度予算

事業費	277,217千円	財源 内訳	国県支出金	3,943千円	その他	8,500千円
			地方債	0千円	一般財源	264,774千円

◎当該年度主な事業内容

1. 公共交通運行委託料 222,901千円

コミュニティバス（地区交通A・B）、おでかけタクシー、医療センター直行タクシー、広域おでかけタクシー（新）

2. 地方バス路線維持補助金 19,424千円

半田北部線及び半田・常滑線における、市内運行分の運行経費の欠損補助

3. 基幹路線バス運賃差額補助 25,011千円

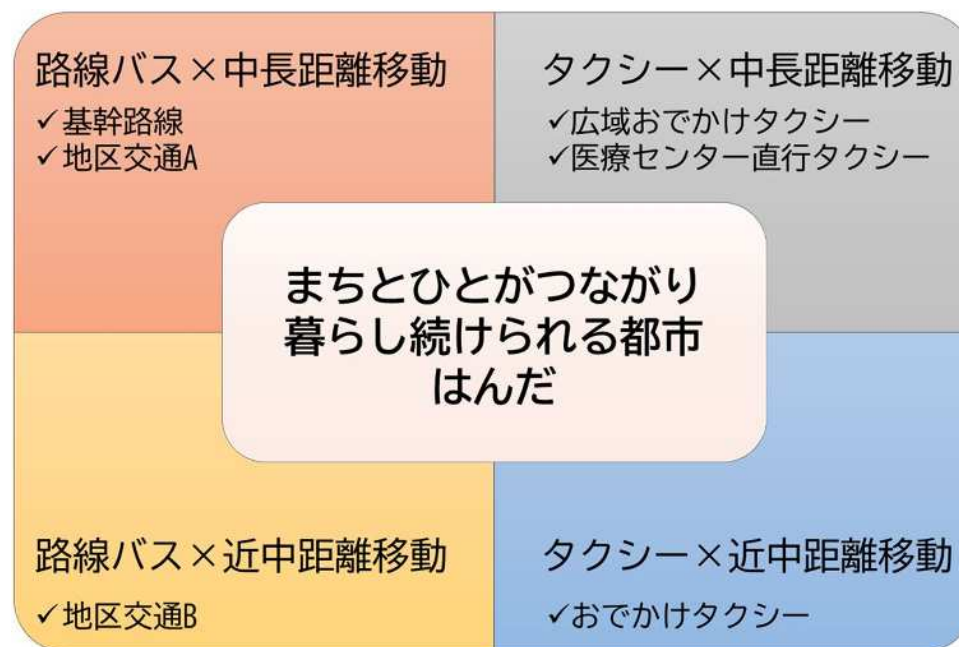
半田北部線及び半田・常滑線における、市内運賃収入と本来運賃収入との差額に対する補助

2. 得られる成果

公共交通環境の維持と向上により市民の暮らしの足を確保することで、交通将来像の「まちとひとつながり暮らし続けられる都市 はんだ」の実現につながります。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
市内路線バス利用者数 ※令和7年度第1回半田市地域公共交通会議で承認されたモニタリング指標に基づく。	1,108人/日 (997人/日)	1,082人/日	1,170人/日

3. 事業実施イメージ



幹線道路を整備します (北条向山線道路改良事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

環状線など幹線道路の機能を補い、乙川地区周辺から国道247号、県道半田東浦線へのアクセス向上を図ります。

当該事業では、地域の利便性の向上を図るとともに、安全な交通を確保するため、道路拡幅及び歩道設置などの道路改良工事を行います。

(2) 令和8年度予算

事業費	329,896千円	財源 内訳	国県支出金	41,080千円	その他	0千円
			地方債	258,700千円	一般財源	30,116千円

◎当該年度主な事業内容

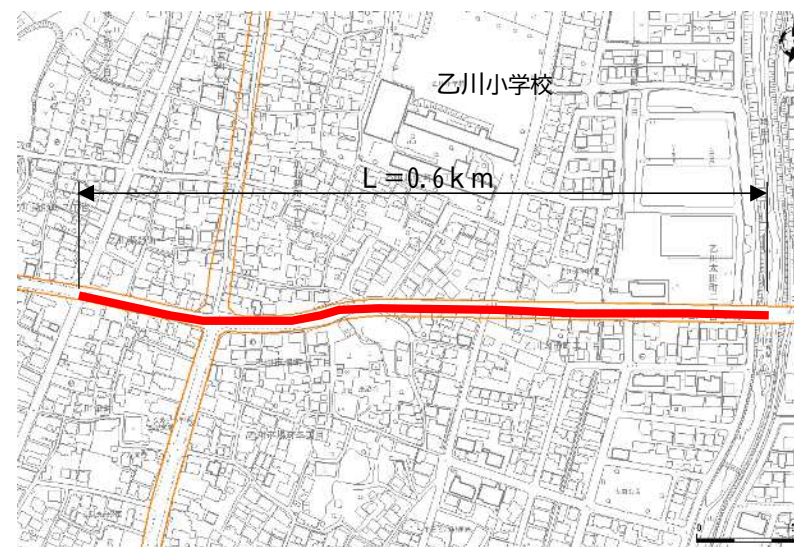
1. 物件調査等委託料 7,082千円
道路整備を行うため、物件調査委託料等を計上します。
2. 公有財産購入費 46,677千円
道路用地を取得するため、用地買収費を計上します。
3. 補償費 276,114千円
道路用地を確保するため、支障となる物件の移転補償費を計上します。

2. 得られる成果

道路を整備することで、交通のアクセスが向上し、利便性が高くなるとともに、通勤・通学の歩行者、自転車の安全かつ快適な通行空間が確保されます。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
事業進捗率 (%)	3.8% (3.8%)	13.4%	45.3%

3. 事業箇所



幹線道路を整備します (大矢知線道路改良事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

市北部にある主要地方道路 西尾知多線と接続し、大矢知地区周辺を南北方向に結ぶことで、地域の交通アクセスの向上を図ります。

当該事業では、地域の利便性の向上を図るとともに、安全な交通を確保するため、新たに車道や歩道設置などの道路改良工事を行います。

(2) 令和8年度予算

事業費	75,491千円	財源内訳	国県支出金	8,300千円	その他	0千円
			地方債	60,400千円	一般財源	6,791千円

◎当該年度主な事業内容

1. 測量調査設計委託料 75,491千円
道路整備を行うため、道路詳細設計費、用地測量費を計上します。

2. 得られる成果

新たな道路を整備することで、安全かつ快適な通行空間が確保されるとともに、利便性及び地域の交通アクセスが向上します。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
事業進捗率 (%)	- (-)	5.4%	12.0%

3. 事業箇所



橋梁の架け替え等を実施します (江川橋架け替え事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

通勤・通学の歩行者、自転車の安全かつ快適な通行空間を確保し、道路交通のアクセス向上を図ります。

当該事業では、橋梁の架け替え等により生活道路の利便性と安全性を確保します。

(2) 令和8年度予算

事業費	23,298千円	財源 内訳	国県支出金	3,388千円	その他	0千円
			地方債	0千円	一般財源	19,910千円

◎当該年度主な事業内容

1. 測量調査設計委託料 23,298千円

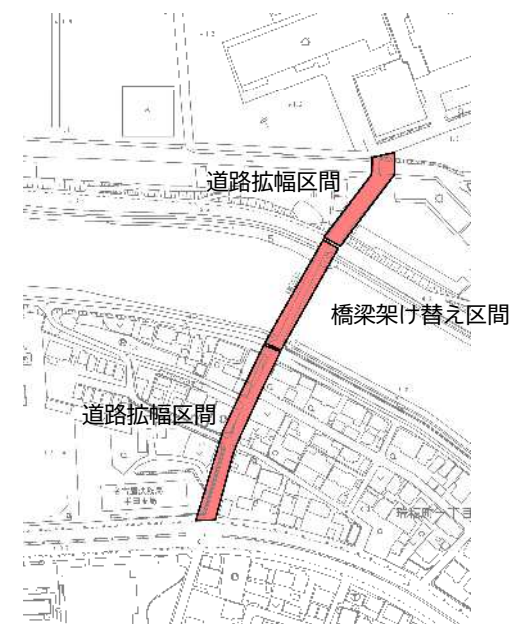
道路整備を行うため、道路予備設計費、測量費を計上します。

2. 得られる成果

橋梁架け替え等を実施することで、交通のアクセスが向上し、利便性が高くなるとともに、通勤・通学の歩行者、自転車の安全かつ快適な通行空間が確保されます。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
事業進捗率 (%)	- (-)	-	1.5%

3. 事業箇所



JR武豊線の高架化を推進します (JR武豊線連続立体交差化事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

JR武豊線の高架化と関連する交差道路、側道等の整備を推進し、東西の円滑化と地域の利便性の向上を図ります。

(2) 令和8年度予算 (全体事業費：10,952,000千円 平成24年度～令和13年度)

事業費	585,960千円	財源 内訳	国県支出金	15,308千円	その他	78,252千円
			地方債	492,400千円	一般財源	0千円

◎当該年度主な事業内容

1. 連続立体交差事業負担金 489,974千円
2. 道路改良工事 45,694千円
 - ・歩道整備工事(新川線) 等
3. 測量調査設計業務委託料 17,427千円
 - ・北末広線詳細設計業務委託 等
4. 電線共同溝工事負担金(御幸通り) 14,569千円
 - ・連系管・取付管布設(NTT・中部電力)

2. 得られる成果

鉄道の高架化により、東西交通の円滑化、地域間の交通利便性の向上が図られ、中心市街地の一体的なまちづくりにつながります。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
高架・側道事業進捗率	50.3% (48.7%)	60.1%	63.1%

3. 事業実施イメージ



【JR武豊線連続立体交差事業の整備イメージ】

公園施設の整備・改修を実施します (公園整備・改修事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

既存の都市公園において、利用者が安全かつ快適に利用できるよう、公園施設の整備・改修を実施します。

2. 得られる成果

公園施設の利便性・安全性の向上により、市民が快適に公園を利用できるようになります。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
公園施設の整備・改修工事実施数	5基 (8基)	6基	11公園

(2) 令和8年度予算

事業費	58,699千円	財源 内訳	国県支出金	21,450千円	その他	18,665千円
			地方債	0千円	一般財源	18,584千円

◎当該年度主な事業内容

- 1. 既設公園等改修工事** 44,108千円
 日陰不足を解消し、公園利用者の利便性向上を図るため、七本木池公園に東屋を整備します。
 まちなかで実施することの難しいアーバンスポーツ等を楽しんでもらうため、潮風の丘緑地に多目的広場を整備します。
- 2. 公園施設長寿命化改修工事** 12,532千円
 既存の公園の利便性・安全性向上のため、公園施設の整備・改修等を行います。

3. 事業実施イメージ



潮風の丘緑地

JR半田駅前土地区画整理事業を推進します (JR半田駅前土地区画整理事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

住環境の向上及び中心市街地の活性化を図るため、JR武豊線の高架化にあわせて区画整理を実施し、面整備と幹線道路等の整備により一体的な市街地形成を図ります。

(2) 令和8年度予算 (全体事業費：9,645,000千円 平成24年度～令和19年度)

事業費	392,277千円	財源内訳	国県支出金	30,544千円	その他	1,094千円
			地方債	0千円	一般財源	360,639千円

◎土地区画整理事業の主な内訳

1. 区画整理工事	158,825千円
・ 電線共同溝工事 (駅前広場、半田駅前線)	
・ 歩道整備工事、水路撤去工事 (新川線) 等	
2. 物件移転補償費	79,500千円
3. 水道工事負担金	22,728千円
4. 測量調査設計業務委託料	13,846千円

◎当該年度主な事業内容

1. 土地区画整理事業	320,193千円
2. 人件費	33,182千円
3. 公債費	38,902千円

2. 得られる成果

一体的な市街地の形成や住環境の向上が図られるとともに、中心市街地の活性化につながります。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
建物移転率	100% (95.5%)	100%	100%

3. 整備状況



■区域南側の整備状況

宅地造成と生活道路の整備が完了し、住宅が建ち始め、新たなまちなみが形成されています。



■区域北側の整備状況

建物移転が完了した箇所から着実に宅地造成・道路整備を進めております。



■駅周辺の整備状況

御幸通りの電線共同溝工事を進めております。

乙川中部土地区画整理事業を推進します (乙川中部土地区画整理事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

土地区画整理による土地利用の再編と公共施設等の都市基盤整備により、良好な街づくりを進めます。

(2) 令和8年度予算 (全体事業費：18,732,000千円 平成6年度～令和15年度)

事業費	311,431千円	財源 内訳	国県支出金	28,725千円	その他	1,439千円
			地方債	0千円	一般財源	281,267千円

◎当該年度主な事業内容

- | | |
|---------------------------|-----------|
| 1. 測量調査設計業務委託料 | 126,745千円 |
| ・登記変更準備(建物)、換地計画、事業計画変更 等 | |
| 2. 橋梁点検委託料 | 12,386千円 |

〈当該事業費内訳〉

- | | |
|-------------|-----------|
| 1. 土地区画整理事業 | 183,305千円 |
| 2. 人件費 | 29,015千円 |
| 3. 公債費 | 99,111千円 |

2. 得られる成果

建物の移転や道路整備等が進むことにより、土地利用が図られ、良好な住環境の形成につながります。

目標値や目指すべき状態	令和9年度末に換地処分を行う
-------------	----------------

3. 事業の実施状況

環状線とJR武豊線の立体交差化が完了し、国道247号(浜田町1交差点)まで開通しました。



道路の維持修繕・改修及び除草を行います (道路維持修繕事業 (維持修繕・改修))

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

市内一円の市管理道路について、適切な維持管理を行い、道路利用者の安全確保及び快適な住環境の創出を図ります。

当該事業では、道路施設の劣化・損傷による道路瑕疵を防ぎ、快適で安全に利用できる道路を維持するため、維持修繕・改修工事及び除草などを行います。

2. 得られる成果

通行に支障となる危険・不具合箇所の状況を把握し、緊急性や必要性を踏まえ、計画的に修繕・改修工事、除草などを実施することで、健全な生活道路の維持と安全性の向上を図ることができます。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
道路維持改修路線数	2路線 (2路線)	5路線	3路線

(2) 令和8年度予算

事業費	264,574千円	財源 内訳	国県支出金	10,575千円	その他	79,639千円
			地方債	0千円	一般財源	174,360千円

◎当該年度主な事業内容

1. 除草委託料 30,600千円

道路の安全性の確保と快適な住環境の創出のため、除草委託料を計上します。

2. 道路維持修繕・改修工事、雑草防止対策工事 229,199千円

道路の安全性の確保と快適な住環境の創出のため、工事費を計上します。

3. 事業実施イメージ

着手前



完了



通学路の安全対策を行います (通学路安全対策事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

市内一円の通学路について、登下校時における児童の安全を確保します。

当該事業では、通学路において児童が安全に通学できる歩行空間を確保するため、側溝の蓋掛けや区画線による路面標示などの安全対策工事を行います。

(2) 令和8年度予算

事業費	55,994千円	財源 内訳	国県支出金	9,239千円	その他	0千円
			地方債	0千円	一般財源	46,755千円

◎当該年度主な事業内容

1. 通学路安全対策工事 55,994千円

通学路における児童の安全を確保するため、工事費を計上します。

2. 得られる成果

通学路における危険箇所の対策工事を計画的に進めることで、安全・安心な通学路を確保することができます。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
学校指定通学路整備率 (20人~29人)	69.7% (69.7%)	72.3%	-
通学路整備率(20人以上)	- (-)	-	90.3%

3. 事業実施イメージ

着手前



完了



舗装の維持修繕及び改修を行います (道路舗装事業 (維持修繕・改修))

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

市内一円の市管理道路舗装について、適切な維持管理を行い、道路利用者の安全を確保します。

当該事業では、舗装の劣化・損傷による道路瑕疵を防ぎ、快適で安全な通行を維持をするため、舗装維持修繕・改修工事を行います。

(2) 令和8年度予算

事業費	275,088千円	財源 内訳	国県支出金	11,756千円	その他	3,707千円
			地方債	0千円	一般財源	259,625千円

◎当該年度主な事業内容

1. 調査委託料 2,300千円

現況道路舗装の劣化度を調査するため、舗装修繕測量地質調査委託料を計上します。

2. 舗装修繕・改修工事 272,788千円

道路舗装の破損・不具合などを修繕するため、舗装修繕・改修工事費を計上します。

2. 得られる成果

通行に支障となる危険・不具合箇所の状況を把握し、緊急性や必要性を踏まえ、計画的に修繕・改修工事を実施することで、舗装の健全な維持と安全性の向上を図ることができます。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
舗装修繕・改修路線数	6路線 (6路線)	17路線	9路線

3. 事業実施イメージ

着手前



完了



橋梁の維持修繕及び改修を行います (橋梁維持修繕事業 (維持修繕・改修))

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

市内一円の市管理橋梁について、適切な維持管理を行い、長期的な管理コストの縮減を図ります。

当該事業では、橋梁において、計画的な定期点検かつ予防的な修繕・改修工事を行います。

(2) 令和8年度予算

事業費	39,123千円	財源 内訳	国県支出金	4,204千円	その他	0千円
			地方債	0千円	一般財源	34,919千円

◎当該年度主な事業内容

- 点検委託料 10,109千円
橋梁の定期的な点検を行うため、橋梁点検委託料を計上します。
- 維持修繕・改修工事 29,014千円
高根橋において、利用者が安全に通行できるよう修繕工事費を計上します。

2. 得られる成果

橋梁の定期点検による異常箇所の早期発見と計画的な修繕を継続して行うことにより、円滑な交通の確保と橋梁の安全性の向上を図ることができます。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
橋梁点検を実施した橋数	10橋 (10橋)	33橋	24橋

3. 事業実施イメージ

橋梁点検作業



水路の維持修繕及び改修等を行います (用悪水路維持修繕事業 (維持修繕・改修))

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

市内一円の市管理水路について、適切な維持管理を行い、快適な住環境の創出と浸水被害の軽減を図ります。

当該事業では、水路の排水機能を確保し、快適で健全な状態を維持するため、水路維持修繕・改修工事及び除草などを行います。

2. 得られる成果

水路施設の破損・不具合箇所の状況を把握する中、緊急性や必要性を考慮し、計画的に排水施設の修繕・改修、除草などを実施することで、快適な住環境の創出と排水機能を確保することができます。

(2) 令和8年度予算

事業費	78,777千円	財源内訳	国県支出金	0千円	その他	10,002千円
			地方債	0千円	一般財源	68,775千円

◎当該年度主な事業内容

1. 除草委託料 6,515千円

快適な住環境の創出と排水機能を確保するため、除草委託料を計上します。

2. 水路修繕・改修工事、雑草防止対策工事 71,712千円

快適な住環境の創出と排水機能を確保するため、工事費を計上します。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
水路改修箇所数	3箇所 (3箇所)	1箇所	3箇所

3. 事業実施イメージ

着手前



完了



市営住宅の適正な維持管理を行います (市営住宅維持管理事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

市営住宅の維持補修を継続して実施することで、入居者に安心安全な住環境を提供する。

(2) 令和8年度予算

事業費	95,263千円	財源 内訳	国県支出金	0千円	その他	95,263千円
			地方債	0千円	一般財源	0千円

◎当該年度主な事業内容

1. 修繕料 13,204千円
市営住宅等の修繕料を予算計上します。

2. 既設住宅維持補修工事 46,218千円
市営住宅の空家等整備工事費及び住宅の需要把握のため空き室整備工事費を予算計上します。

2. 得られる成果

市営住宅の住環境を整備することにより、入居者に安心安全な住環境を提供することができます。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
市営住宅入居戸数(戸)	600 (566)	570	565
新規入居戸数／新規募集戸数 (%)	30 (51)	50	60

3. 事業実施イメージ



市営住宅の老朽個所を計画的に整備します (市営住宅計画的修繕等整備事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

市営住宅の計画的な修繕及び改修を実施することで、施設の長寿命化を図り安全安心な住環境を提供する。

2. 得られる成果

計画的な修繕等を実施することで、市営住宅の長寿命化を図ることができます。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
当該年度更新工事の進捗率 (%)	— (—)	—	100

(2) 令和8年度予算

事業費	21,750千円	財源 内訳	国県支出金	0千円	その他	21,750千円
			地方債	0千円	一般財源	0千円

3. 事業実施イメージ

◎当該年度主な事業内容

1. 既設住宅改修工事 21,750千円

緑ヶ丘住宅1～7棟給水ポンプ更新工事及び大高住宅フェンス更新工事費を予算計上します。



市営住宅を適正な管理戸数まで減らします (市営住宅用途廃止事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

適正な市営住宅の管理戸数となるように、計画に基づいて管理戸数を減少させる。

(2) 令和8年度予算

事業費	6,280千円	財源 内訳	国県支出金	0千円	その他	0千円
			地方債	0千円	一般財源	6,280千円

◎当該年度主な事業内容

1. 既設住宅維持補修工事（一本木西住宅） 4,500千円
移転先住宅整備工事費を予算計上します。
2. 入居者移転補償費（一本木西住宅） 1,780千円
入居者の移転補償費を予算計上します。

2. 得られる成果

老朽化した市営住宅を用途廃止することで、計画に沿った適正な管理戸数にすることができます。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
既存入居者の移転の進捗率 (%)	100 (96.8)	—	57
解体工事の進捗率 (%)	— (—)	100	—

3. 事業実施イメージ



民間住宅の耐震化を促進します (民間住宅耐震事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

昭和56年以前に建築された民間住宅に対し、大地震に備える耐震化を図るために、木造住宅の無料耐震診断や耐震改修補助等を行う。また、減災に向けた取組として耐震シェルター等の設置補助を行います。

(2) 令和8年度予算

事業費	37,224千円	財源内訳	国県支出金	22,981千円	その他	5,545千円
			地方債	0千円	一般財源	8,698千円

◎当該年度主な事業内容

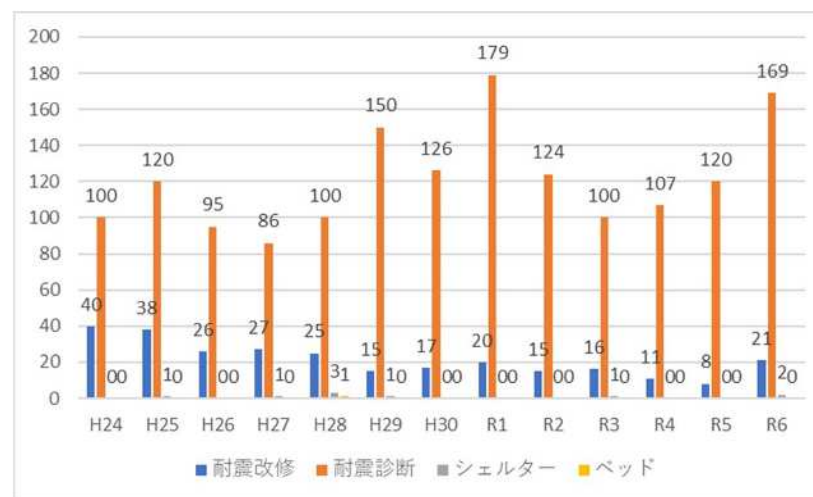
1. 民間木造住宅耐震診断員派遣委託料 9,900千円
2. 民間住宅耐震改修費補助金 22,850千円
3. 民間非木造住宅・建築物耐震診断費補助金 1,191千円
4. 耐震シェルター・防災ベット設置補助金 250千円

2. 得られる成果

建築物の耐震改修が進むことで、予想される大地震への不安が軽減されます。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
木造住宅無料耐震診断件数	120 (169)	130	120
住宅耐震改修補助件数	15 (21)	20	15
耐震シェルター・防災ベット設置件数	1 (2)	2	1

3. 参考データ



各申請件数

老朽化建物などの取壊しと空き家の適正管理を促進します

(老朽化建築物取壊促進・空家対策事業)

歳出科目：07.06.01.10.51

総合計画：4-2-1 市街地

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

大地震時に倒壊し、二次災害を引き起こす可能性の高い老朽化建築物やブロック塀の取壊し・撤去補助の実施及び空き家の適正管理を促進することで減災化を図る。

(2) 令和8年度予算

事業費	16,837千円	財源 内訳	国県支出金	10,850千円	その他	0千円
			地方債	0千円	一般財源	5,987千円

◎当該年度主な事業内容

1. 老朽化建築物取壊補助金 11,000千円

2. ブロック塀等撤去補助金 2,500千円

3. 緊急安全対策工事 200千円

空き家の倒壊などに対して、安全対策を行うための予算計上します。

4. 予納金 2,800千円

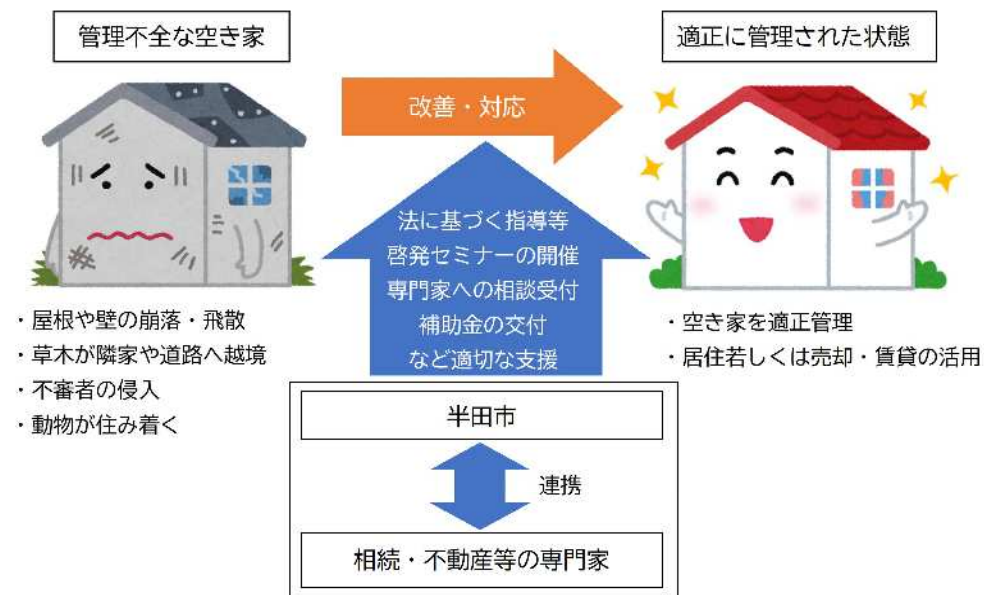
相続放棄等により、相続人不存在の空き家について、相続財産清算人を選任するための予納金を予算計上します。

2. 得られる成果

老朽化建築物やブロック塀の取壊し、空き家の適正な管理を促進することで、地域住民の生命・財産の保護、生活環境の保全が図られます。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
老朽化建築物取壊補助件数	55 (55)	55	55
ブロック塀等撤去補助件数	30 (24)	50	50

3. 事業実施イメージ



大規模造成宅地の安全性を調査します (造成宅地地盤災害対策事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

過年度に実施した、現地踏査や簡易ボーリング調査により選定された地区で、詳細なボーリング調査等を実施し、大規模盛土の地盤の安全性を検証します。

(2) 令和8年度予算

事業費	24,398千円	財源内訳	国県支出金	5,692千円	その他	0千円
			地方債	0千円	一般財源	18,706千円

◎当該年度主な事業内容

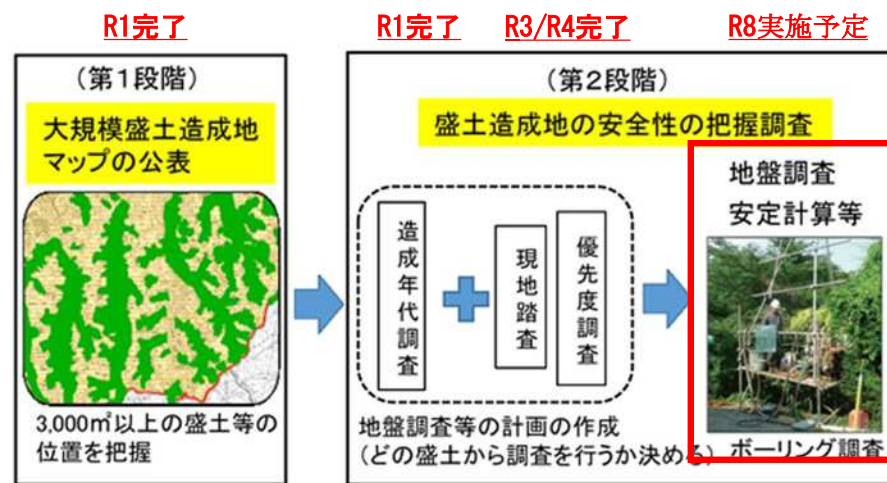
1. 二次スクリーニング調査 24,398千円

2. 得られる成果

得られたデータを基に、崩落の危険性がある地区の地盤の状態を把握し、今後の対応を策定することができる。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
二次スクリーニング調査実施	- (-)	-	100%

3. 事業実施イメージ



適切な墓地管理を進めます (墓地管理事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

市内6か所の墓地が故人をしのぶ場として、墓参者、近隣住民にとって快適な施設となるよう、適切に維持管理を行います。

近年の少子高齢化やライフスタイルの変化に伴い、墓地に対する考え方も変わってきているため、時代の変化に対応した持続的な墓地経営を行います。また、近隣住民の生活環境にも配慮しながら、樹木管理や雑草処理、施設の清掃や修繕など、安心・快適な墓参環境の整備を行います。

(2) 令和8年度予算

事業費	30,802千円	財源 内訳	国県支出金	0千円	その他	30,771千円
			地方債	0千円	一般財源	31千円

◎当該年度主な事業内容

墓地内通路、トイレ、駐車場等の清掃やごみの収集運搬、樹木、雑草の管理、無縁墳墓の整理、墓地管理料の徴収等を行います。

1. 通信運搬費	986千円
2. 樹木等管理委託料	18,026千円
3. ごみ収集運搬委託料	4,165千円
4. 封入封緘業務委託料	825千円
5. 墓地清掃管理委託料	1,242千円
6. 墓地施設整備工事	1,496千円

2. 得られる成果

施設の維持修繕や無縁化の防止、墓地管理に係る費用負担の公平化など、適正に墓地経営を行うことで、市民が永続的に安心してより快適に市営墓地を利用することができます。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
墓地管理料収納率(現年度分)	- (98.52%)	98.50%	98.70%
より安心、快適に市営墓地が利用できる。			

3. 事業実施イメージ



合葬式墓地（合葬墓）を整備します（合葬墓整備事業）

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

少子化や核家族化など、時代の変化とともに住民のお墓に対する考え方も変わってきているため、住民意識の変化に対応した新たな墓地経営の一つとして、後の世代の管理が不要な合葬式の埋蔵施設（合葬墓）の整備を行います。

令和8年度は、整備工事ための実施設計を行います。

【合葬墓の概要】

- ・場 所…市営北部墓地内
- ・整備面積…約350㎡（うち墳墓としての利用面積：約250㎡）
- ・埋 蔵 数

①個別埋蔵施設…約1,000体

※地面に個別の穴をあけ、遺骨を1体ずつ埋蔵する形式。

②共同埋蔵施設…約9,000体

※大きなコンクリート製の地下空間に、個別の袋に入れた遺骨をまとめて埋蔵する形式。

(2) 令和8年度予算（全体事業費：65,391千円 令和8～9年度）

事業費	6,391千円	財源内訳	国県支出金	0千円	その他	0千円
			地方債	0千円	一般財源	6,391千円

◎当該年度主な事業内容

1. 実施設計委託料 6,391千円

2. 得られる成果

代々引き継ぐ必要のない合葬墓を整備することで、「将来、お墓を守り続けてくれる子供や身寄りがない」「自分の代で墓じまいをしたい」という方たちが、お墓に関して不安や心配なく暮らせるようになります。

目標値や目指すべき状態

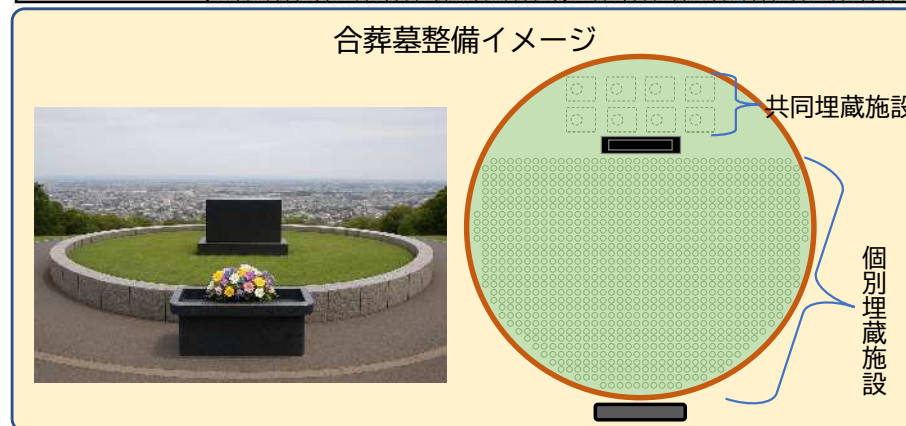
住民がお墓に関して不安や心配なく暮らせるよう、早期に整備を行う。

3. 事業実施イメージ

合葬墓整備スケジュール（案）

内容	令和8年度												令和9年度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実施設計	■																							
整備工事													■											
周知・広報													■											
使用者募集													■											

合葬墓整備イメージ



太陽光発電設備等の導入を支援します (住宅用地球温暖化対策設備導入促進費補助事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

2050年ゼロカーボンシティの実現に向け、市民・事業者・行政がそれぞれ二酸化炭素排出量の削減に取り組む必要があります。

家庭部門における二酸化炭素排出量の削減が進まない中、特に再生可能エネルギーの利用促進が重要であることから、太陽光エネルギーの有効活用を図ることを目的に、愛知県との協調補助により補助金を交付し、導入の支援を行います。

(2) 令和8年度予算

事業費	27,268千円	財源 内訳	国県支出金	12,442千円	その他	14,826千円
			地方債	0千円	一般財源	0千円

◎当該年度主な事業内容

市民が住宅に導入する地球温暖化対策設備の設置費の一部を助成します。また、家庭での脱炭素化の取り組みを一層促進するため、同時に省エネ・創エネができる家庭用燃料電池を新たに補助対象に追加します。

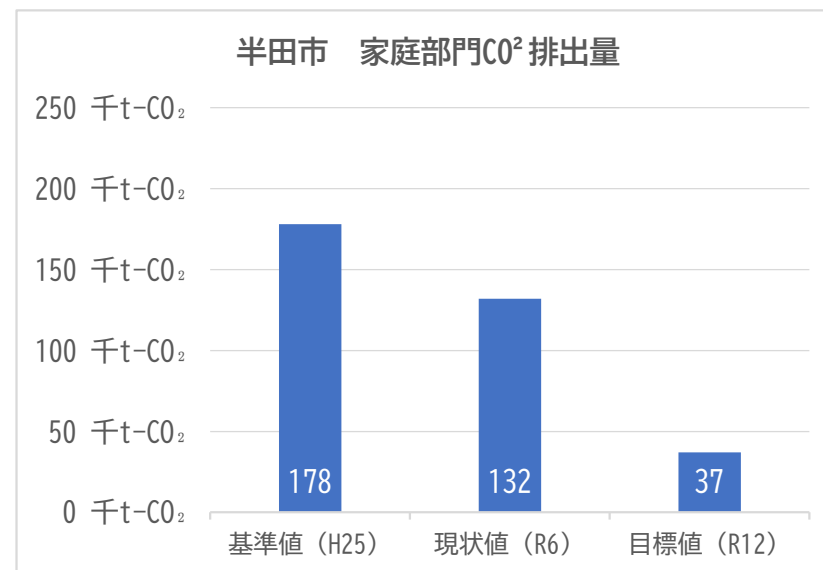
1. 住宅用地球温暖化対策設備導入促進補助金	27,268千円
1 一体型 (太陽光+HEMS+蓄電池)	10,890千円 (50件×217.8千円)
2 一体型 (太陽光+HEMS+高性能外皮)	1,628千円 (10件×162.8千円)
3 単体 (蓄電池)	14,250千円 (95件×150千円)
4 単体 (家庭用燃料電池)	500千円 (5件×100千円)

2. 得られる成果

家庭部門における二酸化炭素排出量の削減、再生可能エネルギーへの転換を図ることができ、また、各家庭でのエネルギーの自給自足を促進することで、災害時の電源確保が可能となり、災害に強いまちづくりにも寄与します。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
助成件数	125件 (125件)	157件	160件

3. 参考データ



次世代自動車の導入を支援します (次世代自動車購入費補助事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

2050年ゼロカーボンシティの実現に向け、運輸部門における二酸化炭素排出量の削減には、ガソリン車等の化石燃料で走る車から次世代自動車へ買い替えることが有効であるため、購入費の一部に対して補助金を交付し、次世代自動車の導入を支援します。

(2) 令和8年度予算

事業費	8,500千円	財源 内訳	国県支出金	0千円	その他	0千円
			地方債	0千円	一般財源	8,500千円

◎当該年度主な事業内容

市民が購入する次世代自動車（燃料電池自動車・電気自動車・プラグインハイブリッド自動車）の購入費用の一部を助成します。また、水素の活用を促進するため、燃料電池自動車に対する補助制度を事業者向けに拡充します。

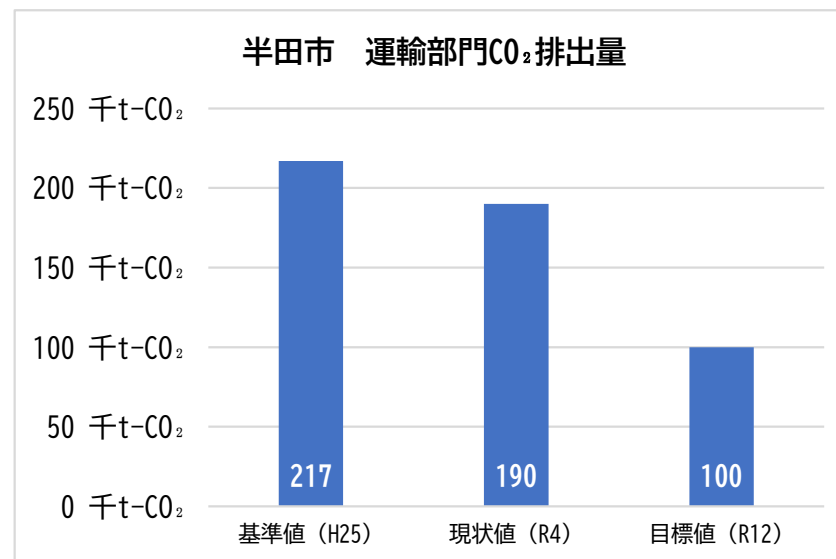
1. 次世代自動車購入費補助金	8,500千円
1 燃料電池自動車	1,500千円 (5件×300千円)
2 電気自動車・プラグインハイブリッド自動車	7,000千円 (70件×100千円)

2. 得られる成果

移動における二酸化炭素排出量の削減とともに、市民の地球温暖化対策に対する意識の向上に期待できるほか、災害時には非常用電源として活用でき、停電時でも照明や通信機器への電力供給が可能であるため、家庭や地域の防災性向上に寄与します。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
助成件数	144件 (63件)	130件	75件

3. 参考データ



ゼロカーボン施策を推進します (地域脱炭素移行・再エネ推進事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

2050年の二酸化炭素排出実質ゼロを目指した取り組みを推進するため、環境省の交付金を活用し、公共施設等への太陽光発電設備等の導入を進めます。

行政が地球温暖化対策に対する率先行動を示すとともに、民間施設や農地等への太陽光発電設備等導入を支援することで、目標達成に向けた本市のゼロカーボン施策を推進します。

(2) 令和8年度予算

事業費	178,340千円	財源 内訳	国県支出金	178,340千円	その他	0千円
			地方債	0千円	一般財源	0千円

◎当該年度主な事業内容

PPA方式による公共施設や民間事業所等への太陽光発電設備や蓄電池の設置に対して、PPA事業者への補助を行います。

1. 地域脱炭素移行・再エネ推進重点対策加速化事業補助金

176,340千円

1 太陽光発電設備	公共施設	30,000千円 (300kW×100千円)
	未活用公有地	60,000千円 (600kW×100千円)
2 蓄電池	民間施設	25,000千円 (500kW×50千円)
	農地等	50,000千円 (500kW×100千円)
2 蓄電池	公共施設	7,560千円 (72kWh×105千円)
	民間施設	3,780千円 (72kWh×52.5千円)

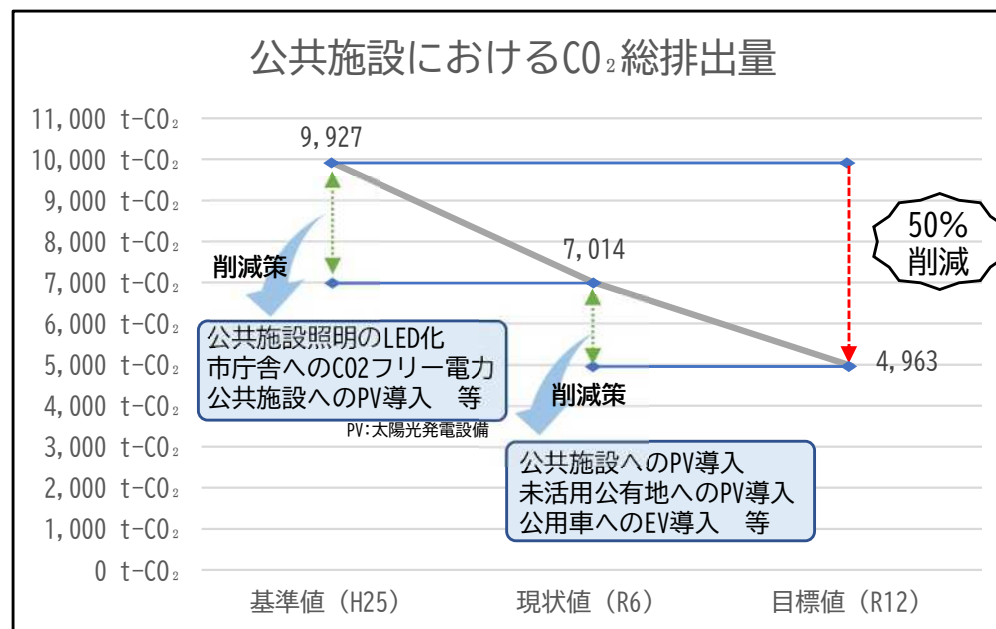
2. 再エネ促進業務等委託料 2,000千円

2. 得られる成果

再生可能エネルギーの活用が促進され、市内の二酸化炭素排出量が削減されます。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
公共施設における二酸化炭素総排出量	6,801t-CO ₂ (7,014t-CO ₂)	6,561t-CO ₂	6,321t-CO ₂

3. 事業実施イメージ



1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

知多南部広域環境センター(ゆめくりん)の供用開始に伴い、現在、稼働を停止しているごみ焼却施設を始め、老朽化が進んだ破碎施設や灰固形化施設などの解体を計画的に進めていきます。

また、ごみ焼却施設を解体した跡地には、市民が資源物を搬入しやすい利便性の高い資源物のストックヤードを建設します。

なお、管理棟は今後も継続して使用するため、令和8・9年度において、ごみ焼却施設を基点として管理棟や破碎施設などに延びる電気設備・給排水設備を管理棟基点に改修するための工事を実施します。

2. 得られる成果

老朽化が進んだ施設を解体し、新たなストックヤードを建設することで、資源化及びごみ減量の推進を図ります。

目標値や目指すべき状態	利便性の高い資源物のストックヤードを建設し、施設解体後の跡地を有効利用する
-------------	---------------------------------------

3. 事業スケジュール

		R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
管理棟 (切替)	設計	←						
	工事		←					
ごみ焼却 施設(解体)	設計			←				
	工事				←	←		
	施工監理				←	←		
ストック ヤード(新設)	設計				←	←		
	工事				←	←	←	
	施工監理				←	←	←	
破碎施設等 (解体)	設計						←	←
	工事						←	←
	施工監理						←	←

(2) 令和8年度予算 (全体事業費：2,379,029千円 令和7～13年度)

事業費	41,252千円	財源内訳	国県支出金	0千円	その他	0千円
			地方債	30,900千円	一般財源	10,352千円

◎当該年度主な事業内容

1. 管理棟切替工事 41,252千円



資源を適正にリサイクルします (再資源化事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

市民がリサイクルセンターやごみステーションなどに排出した資源について、中間処理（選別・異物除去・圧縮など）や再資源化処理を行い適正にリサイクルをすることで、再生可能な資源の有効活用を図ります。

(2) 令和8年度予算

事業費	225,851千円	財源 内訳	国県支出金	0千円	その他	38,152千円
			地方債	0千円	一般財源	187,699千円

◎当該年度主な事業内容

1. プラスチック製容器包装収集運搬委託料 51,742千円
2. プラスチック製容器包装中間処理・保管委託料 43,405千円
3. ペットボトル中間処理委託料 19,580千円
4. 木製粗大等再資源化処理委託料 3,773千円
5. 硬質プラスチック等再資源化処理委託料 2,442千円
6. 紙製容器包装等収集・中間処理及び保管委託料 43,565千円
7. 樹木等再資源化処理委託料 54,719千円



木製粗大等再資源化処理



樹木等再資源化処理

2. 得られる成果

市民が排出した資源を適正にリサイクルすることで、再生可能な資源の有効活用を図り、ごみ減量と資源化が推進されます。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
市民1人1日あたりのごみ排出量(家庭系)	420g (433g)	420g	418g

3. 事業実施イメージ



地震に強い水道施設を整備します (水道施設地震対策事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

大規模地震等の被災時において水道の機能を確保するため、令和5年度まで避難所等の重要給水施設への耐震化を最優先事業として取り組んできましたが、今後は耐震性が劣る残りの大口径配水管（基幹管路）の布設替え工事を実施し、2系統（バックアップ機能）の確保に取り組んでいきます。

(2) 令和8年度予算

事業費	168,196 千円	財源 内訳	国県支出金	0千円	その他	55,096千円
			地方債	113,100千円	一般財源	0千円

◎当該年度主な事業内容

耐震性が劣る基幹的な管路の耐震化工事を行います。

1. 大口径配水管改良工事 113,163千円

- ・浜田町二丁目地内ほか (DIPφ300mm L=410mほか)

新基準に基づく耐震診断を実施し、耐震補強や施設更新の必要性を確認するとともに、必要となる施設においては工事を実施していきます。

2. 配水池耐震診断業務委託 55,033千円

- ・深谷町地内始め2か所：深谷・砂谷配水場（配水池耐震診断 一式）

2. 得られる成果

市内配水管網の基幹となる管路（主にφ300mm以上の配水管）の耐震性の向上を図ることにより、大規模地震等の被災時に、被害を最小限に留め、長期の給水制限を避けることができます。また、応急給水及び応急復旧活動へ速やかに移行することができます。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
水道管（φ300mm以上）の耐震化率	89.1% (88.5%)	89.1%	89.3%

3. 事業実施イメージ



非耐震管から耐震管への布設替（φ300mmの基幹管路）

安心・安全な水道水を安定的に供給します (水道安定供給事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

市民へ安定した水道水の供給を図るため、JR半田駅前土地区画整理事業において新たに需要が見込まれる地域、また地勢的に水圧や水量が不十分な地域への管路網整備を実施します。また、旧土地区画整理事業において布設した法定耐用年数を経過した老朽管の面的な更新・再構築を計画的に実施し、老朽化率の上昇を抑制するとともに、漏水リスクの低減・耐震化を図ります。配水場等の水道施設については、老朽化した計装設備等の改良工事を実施します。

(2) 令和8年度予算

事業費	773,938 千円	財源 内訳	国県支出金	0千円	その他	763,298千円
			地方債	0千円	一般財源	10,640千円

◎当該年度主な事業内容

1. 配水管布設工事 (管路網整備等) 167,880千円
 - ・中億田町地内ほか (DIPφ200mm L=250mほか) 等
2. 水道施設改良工事 (老朽化対策) 101,603千円
 - ・深谷町地内：深谷配水場 (電気設備 一式)
3. 配水管布設工事 (JR半田駅前土地区画整理) 29,998千円
 - ・御幸町地内ほか (DIPφ200mm L=50mほか)
4. 配水管更新工事 (老朽化対策) 450,698千円
 - ・柘町五丁目地内ほか (HPPEφ100mm L=185mほか) 等
5. 水道施設改良工事設計業務委託 (老朽化対策) 5,159千円
 - ・阿久比町板山東高根地内：北部配水場 (電気設備 一式)

2. 得られる成果

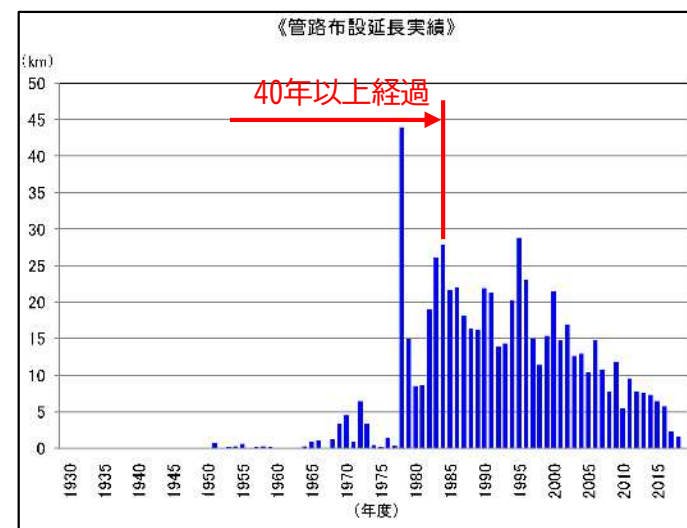
耐用年数を経過した老朽管の更新により、漏水リスクを低減するとともに、耐震性能の向上を図ることができます。

水道施設の計画的な整備・管理を実施することにより、各年度の事業費を平準化し、経営の安定化を図ることができます。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
老朽管の更新率 (花園、清城、白山・桐ヶ丘地区に限る)	- (-)	-	41.0%

3. 参考データ

法定耐用年数を経過する管路が年間更新延長(5 km程度)を上回っているため、年々管路経年化率(老朽化度合)が上昇することがわかる。



良好な住環境を目指し、

歳出科目：01.01.01 (資本的支出)

公共下水道 (汚水) を整備します (汚水整備事業)

総合計画：4-1-1 防災・減災 4-3-3 下水道

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

老朽化対策として、計画的に汚水管の点検調査・布設替工事及びマンホールポンプ制御盤更新工事を実施するとともに、耐震対策として、避難所等の重要施設への耐震化を進めます。

また、公共汚水ます申請に基づき、設置工事を遅滞なく実施するとともに、下水道接続率の向上に努めます。

下水道使用料による自立経営を達成するため、下水道使用料の改定を実施し、経費回収率100%を目指します。

(2) 令和8年度予算

事業費	364,846千円	財源内訳	国県支出金	17,019千円	その他	10,183千円
			地方債	327,000千円	一般財源	10,644千円

◎当該年度事業内容

1. 汚水管渠点検調査業務委託	12,714千円
2. 汚水管耐震診断業務委託	25,498千円
3. 衣浦西部流域下水道全体計画策定業務委託	8,305千円
4. 供用開始区域内汚水管整備工事	189,309千円
5. 公共汚水ます設置工事	127,020千円
6. その他	2,000千円

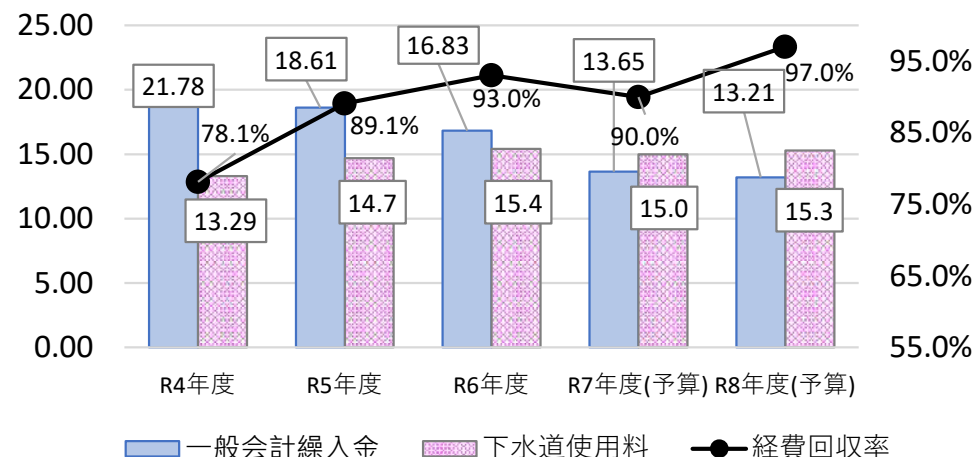
2. 得られる成果

1. 老朽管の更新により、機能の確保や本管の詰まり、道路陥没等のリスクが減少します。
2. 避難所等の重要施設への耐震化により、地震時における排水機能を確保します。
3. 下水道接続率の向上により、住環境や下水道事業経営の改善が図ることができます。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
下水道接続率	90.6% (89.2%)	89.3%	89.7%

3. 参考データ

下水道事業会計の主な指標 (左軸：億円、右軸：%)



1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

大型台風や近年多発している集中豪雨への対策として、雨水管の整備を実施するとともに、地震対策として、重要な幹線管渠等の耐震化を進めます。

また、浸水対策の最重要施設である排水ポンプ場においては、老朽化が進む機械類の更新計画に併せて耐震化を実施します。

さらに、想定最大規模降雨の浸水シミュレーションをもとにハザードマップを作成し、市民の防災意識の向上や災害時の行動に活用します。

(2) 令和8年度予算

事業費	442,879千円	財源 内訳	国県支出金	107,800千円	その他	0千円
			地方債	296,200千円	一般財源	38,879千円

◎当該年度事業内容

1. 雨水管整備測量調査設計業務委託	120,931千円
2. 雨水管整備付帯工事費	88,388千円
3. 雨水管耐震工事費	89,760千円
5. 排水ポンプ場整備工事費	140,800千円
6. 雨水・移転補償費	3,000千円

2. 得られる成果

1. 雨水管を整備することにより、大雨等による浸水被害を抑制します。
2. 排水ポンプ場及び重要な幹線管渠等の耐震化により、地震時における排水機能を確保します。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
重要な幹線管渠等(雨水管)の耐震化率	36% (36%)	37%	40%

3. 参考データ

ポンプ場名	稼働年月日	排水面積	排水能力
若宮排水ポンプ場	昭和55年 6月	31.38 ha	5.0 m ³ /sec
北浜田排水ポンプ場	昭和57年 4月	127.90 ha	19.0 m ³ /sec
有楽排水ポンプ場	昭和60年 5月	40.50 ha	5.0 m ³ /sec
東成岩排水ポンプ場	平成 4年 6月	60.98 ha	6.6 m ³ /sec
瑞穂排水ポンプ場	平成 8年 3月	109.09 ha	15.7 m ³ /sec
吉野排水ポンプ場	平成 8年 4月	103.56 ha	14.6 m ³ /sec
旭排水ポンプ場	平成10年 4月	30.20 ha	4.9 m ³ /sec
新居排水ポンプ場	平成15年 9月	38.43 ha	6.0 m ³ /sec



瑞穂排水ポンプ場



北浜田排水ポンプ場 (排水ポンプ)

小中学校でスポーツの出前授業を実施します (小中学校スポーツ出前授業実施事業)

歳出科目：09.01.03.02.42
総合計画：1-1-3 義務教育

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

2026年開催の第20回アジア競技大会では、知多半島内にある愛知県国際展示場 (Aichi Sky Expo) も会場となり、ブレイキンなどの競技が行われます。これに合わせて、公益財団法人愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会の協力により、半田市内の小中学生を対象として、各競技の魅力や楽しさを体験できる出前授業を実施します。

(2) 令和8年度予算

事業費	3,000千円	財源 内訳	国県支出金	0千円	その他	3,000千円
			地方債	0千円	一般財源	0千円

・本事業はボートレース事業の収益金を活用しています

◎当該年度主な事業内容

1. 学校出前授業委託料 3,000千円

2. 得られる成果

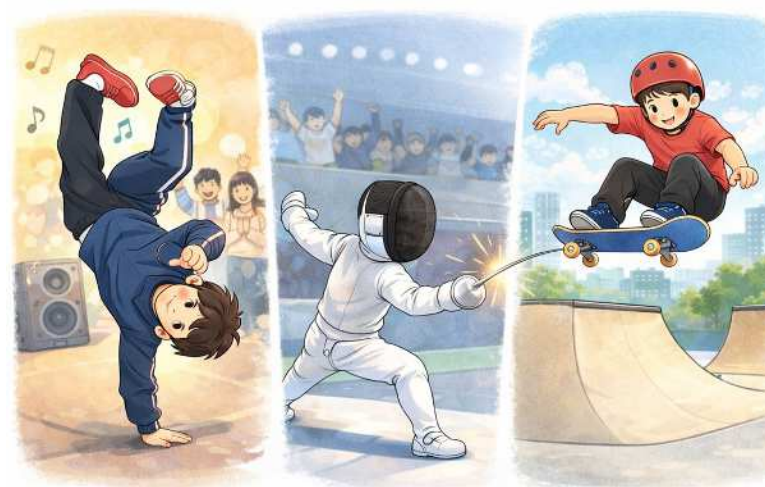
出前授業を通じて、競技理解を促進し、子どもたちの可能性と視野を広げ、スポーツへの関心を高めることが期待されます。

目標値や目指すべき状態	スポーツの多様性と素晴らしさが感じられる状態
-------------	------------------------

3. 参考データ

出前授業実施種目

ブレイキン 6校
フェンシング 2校
スケートボード 1校



児童生徒の学校生活を支援します (学校生活支援事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

各学校に学校生活支援員や特別支援学級補助員などを配置し、特別な支援を必要とする児童生徒が安心して学校生活を送ることができるよう支援します。

(2) 令和8年度予算

事業費	184,920千円	財源 内訳	国県支出金	0千円	その他	0千円
			地方債	0千円	一般財源	184,920千円

◎当該年度主な事業内容

1. 会計年度任用職員報酬等	178,926千円
2. 特別支援教育指導員謝金	5,994千円

2. 得られる成果

各学校で特別な支援を必要とする児童生徒などの個別支援が進み、安心して学校生活を送ることができるようになります。

目標値や目指すべき状態

特別な支援を必要とする児童生徒などが安心して学校生活を送ることができる状態

3. 参考データ

令和8年度配置予定

1. 小学校支援員	36名
2. 中学校支援員	15名
3. 特別支援学級補助員	35名
4. 養護教諭補助員	4名



いじめや不登校等対策を進めます (いじめや不登校等対策事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

教育支援センターの設置運営、スクールカウンセラー・メンタルフレンドの派遣、心の教室相談員・スクールソーシャルワーカーの配置等により、いじめや不登校等の対策を推進します。

(2) 令和8年度予算

事業費	98,482千円	財源 内訳	国県支出金	17,364千円	その他	0千円
			地方債	0千円	一般財源	81,118千円

◎当該年度主な事業内容

1. 会計年度任用職員報酬等	84,609千円
2. スクールカウンセラー謝金	10,148千円
3. メンタルフレンド謝金	72千円
4. 学級診断尺度Q-Uテスト委託料	2,367千円

2. 得られる成果

児童生徒の心の安定や不登校児童生徒の学校復帰などが進みます。

目標値や目指すべき状態	いじめや不登校等の課題を抱える児童生徒に対する相談支援体制が整備されている状態
-------------	---

3. 参考データ

令和8年度配置予定

1. 教育相談員	6名
2. スクールソーシャルワーカー	5名
3. 校内教育支援センター支援員	5名
4. 心の教室相談員	5名



亀崎小学校の改築工事を実施します (亀崎小学校改築等事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

老朽化した亀崎小学校を改築し、児童の学習環境の向上を図ります。
新校舎建設に続き、旧校舎南棟の解体、体育館の改築、外構の整備などを順次実施します。

(2) 令和8年度予算 (全体事業費：5,622,168千円 令和4～11年度)

事業費	149,619千円	財源 内訳	国県支出金	354千円	その他	0千円
			地方債	39,900千円	一般財源	109,365千円

◎当該年度主な事業内容

令和10年3月の新体育館の供用開始を目指し、基本・実施設計を進めます。また、外構の基本・実施設計に着手します。

1. 小学校改築等工事	126,108千円
2. 工事監理委託料	5,245千円
3. 体育館改築等基本・実施設計委託料	17,017千円

2. 得られる成果

学校施設の改築を進めるとともに、「児童の居場所」を併設することで、児童の安全・安心が確保されるとともに、学習環境の向上等が図られます。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
事業進捗率 (体育館・外構設計業務)	- (-)	65.0%	100.0%

3. 事業スケジュール

	R6	R7	R8	R9	R10	R11
校舎	解体工事 (中棟)		解体工事 (南棟)			
	新築工事					
体育館	設計			新築工事		
					解体工事	
外構	設計			工事 (アスレ、法面、グラウンド等)		



乙川東小学校の改築工事を実施します (乙川東小学校改築等事業)

歳出科目：09.02.03.02.51
総合計画：1-1-3 義務教育

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

老朽化した乙川東小学校を改築し、児童の学習環境の向上を図ります。
また、学校を核とした公共施設等の複合化を進めるためのワークショップを行い、地域住民等の意見を設計等に反映させ、「地域とともに」ある学校を目指します。

(2) 令和8年度予算

事業費	261,896千円	財源内訳	国県支出金	0千円	その他	0千円
			地方債	133,800千円	一般財源	128,096千円

◎当該年度主な事業内容

令和11年1月の新校舎の供用開始を目指し、校舎等の実施設計の策定等を進めます。

1. 基本・実施設計委託料	178,401千円
2. 小学校改築等工事	81,312千円

2. 得られる成果

学校施設の改築を進めるとともに、「児童の居場所」と「地域共創センター」を併設することで、児童の安全・安心が確保されるとともに、学習環境の向上、地域拠点化等が図られます。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
事業進捗率 (校舎等設計業務)	- (-)	50%	100%

3. 事業スケジュール

実施内容	R6年度			R7年度			R8年度			R9年度			R10年度												
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	6	8	10	12	2	4	6	8	10	12		
基本・実施設計				地域住民や関係者の意見を踏まえた設計																					
				基本構想(土地利用・配置計画)			基本設計			実施設計															
建設工事													外構工事									新校舎建設			



安心安全な給食用食材を購入します（学校給食食材購入事業）

1. 事業の内容

（1）事業目的・概要

学校等給食用の食材として、安全性の確認を行うほか、可能な限り地元産の食材を選定し購入することで、地産地消を推進し食育に繋がります。

また、昨今の物価高騰の影響を受け、食材料費の積算根拠となる1食あたりの給食費について、令和7年度に続き、令和8年度に更に適正金額へ値上げし、学校等給食の質の維持を図ります。

なお、国により小学校給食費の約9割が補助されるとともに、中学校及び幼稚園給食費についても国の交付金を活用し一部を補助することで保護者負担を軽減します。

（2）令和8年度予算

事業費	634,060千円	財源内訳	国県支出金	415,836千円	その他	217,862千円
			地方債	0千円	一般財源	362千円

◎当該年度主な事業内容

1. 学校給食材料費 634,060千円

小中学校及び幼稚園給食用食材料費を計上します。

参考【児童、生徒、園児に係る給食費改定の内容（1食あたり）】

区分	現行	改定後
小学校	300円	330円（+30円）
中学校	350円	380円（+30円）
幼稚園	270円	290円（+20円）

【1食あたり給食費の負担内訳】

区分	給食費	保護者負担額	公費負担額
小学校	330円	0円	330円
中学校	380円	290円	90円
幼稚園	290円	230円	60円

【学校給食材料費における公費負担の状況】

- 地方創生臨時交付金（国） 85,141千円
- 給食費負担軽減交付金（県） 317,460千円
- アジア・フレンドシップ推進事業費補助金（県） 1,800千円

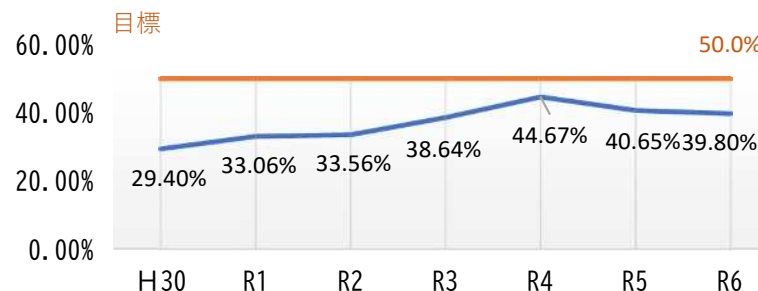
2. 得られる成果

児童生徒及び園児の健全な発育に寄与します。また地産食材を使用することで地元への愛着や食への興味関心を育むことができます。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
給食用物資地産地消比率	50.0% (39.8%)	50.0%	50.0%

3. 参考データ

給食物資地産地消比率推移



音楽のあるまちづくりを推進します (音楽のあるまちづくり事業)

歳出科目：09.05.01.05.50

総合計画：1-2-2 文化の振興と継承

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

音楽文化の創造や醸成を促し、市民が音楽に親しみ、豊かな地域社会を実現するため、「半田市音楽文化振興に関する協定」を締結するセントラル愛知交響楽団や地元音楽事業者と連携した各種音楽事業を実施します。

(2) 令和8年度予算

事業費	11,843千円	財源 内訳	国県支出金	0千円	その他	4,718千円
			地方債	0千円	一般財源	7,125千円

◎当該年度主な事業内容

1. 「音楽文化振興に関する協定」に基づく事業 (委託料等) 6,687千円
セントラル愛知交響楽団による小学校への音楽アウトリーチ、公演会事業、まちなか巡回公演等を実施します。
2. 地元音楽事業者との協働事業 (委託料等) 924千円
地元音楽事業者と連携して、幼稚園・保育園・こども園への音楽アウトリーチ、子ども向け室内楽コンサート、「私はピアニスト」を実施します。
3. 「音楽マルシェ」の開催 (委託料等) 2,510千円
市内楽器店等と連携して、楽器の演奏体験、楽器製作ワークショップ、市内を拠点に活動する団体等による演奏を実施します。
4. 音楽コンサートの開催 (委託料等) 1,471千円
半田市出身のベーシストが所属する男女4人組の人気バンド「ペンギンラッシュ」、ゴスペラーズ、岩崎宏美・岩崎良美のコンサートを行います。

2. 得られる成果

新たな音楽文化の創造や醸成が促され、ひとづくりやまちづくりにつながります。また、心豊かな市民生活と活力ある地域社会が実現します。

目標値や目指すべき状態

音楽に興味・関心が高い方や特定の世代の方だけでなく、こどもから大人まで、多くの市民が幅広く音楽文化に触れ、愉しんでいる状態

3. 事業実施イメージ



▲大ホールでの公演会事業



▲小学校への音楽アウトリーチ



▲「音楽マルシェ」でのドラムサークル



▲公民館での巡回公演

文化芸術に触れ親しむ環境づくりを進めます (文化芸術普及推進事業)

歳出科目：09.05.01.05.51

総合計画：1-2-2 文化の振興と継承

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

市民の文化芸術への興味を喚起するきっかけ作りや理解と参加の深化を図ることを目的に、文化芸術体験や鑑賞などができる各種事業を実施します。また、補助金の交付や激励金の支給を通して、文化芸術活動を行う方や団体を支援します。

(2) 令和8年度予算

事業費	5,075千円	財源 内訳	国県支出金	0千円	その他	1,627千円
			地方債	0千円	一般財源	3,448千円

◎当該年度主な事業内容

1. 「まちなかでアート」の開催 (報償費等) 412千円

市内で開催される各種イベントや市民が何気なく訪れる公園等の野外で「アートパフォーマンス」「アートワークショップ」を行います。

2. 「はんだアール・ブリュット展」の開催 (委託料) 450千円

障がいのある方などが手掛けるアール・ブリュット作品の展覧会(一般公募、著名アーティストからの借用)及びワークショップを実施します。

3. 「半田市美術展」の開催 (委託料) 1,579千円

日頃の文化芸術創作活動の発表の場として、また、優れた芸術作品を身近な場所で鑑賞できる場として、美術展を開催します。

4. その他 (委託料、補助金等) 2,375千円

親子向けの観劇会(公演会)を実施するほか、文化活動団体への補助金の交付、全国大会等に出場する方へ激励金を支給します。

2. 得られる成果

人々の創造性を育み表現力を高め、多様性を受け入れて相互に理解し、尊重しあうといった心豊かな地域社会が実現します。

目標値や目指すべき状態

文化芸術活動に携わる方や団体と協力・連携し、「誰でも」「いつでも」「どこでも」気軽に文化芸術に触れられる環境が創り上げられている状態

3. 事業実施イメージ



▲まちなかでアート



▲はんだアール・ブリュット展

誰もが生涯にわたって学習できる環境整備を進めます (生涯学習推進事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

市民が生涯にわたり主体的に学び続けることができる環境を整備し、その学びを自己実現や生きがいづくりにつなげるとともに、地域活動や社会参画を通じて地域社会の発展に活かすことを目的に、各種生涯学習講座の実施やコーディネートを行います。

(2) 令和8年度予算

事業費	3,172千円	財源 内訳	国県支出金	1,124千円	その他	888千円
			地方債	0千円	一般財源	1,160千円

◎当該年度主な事業内容

1. 市民との協働による講座の開催 (講師謝金等) 412千円

ゲストティーチャー制度により、学校・団体等への講師派遣や生涯学習講座(まなびとゼミ)を開催します。また、企業ゲストティーチャーによる小中学校への出前授業を実施するほか、子ども・若者のキャリア形成につながるような講座(学びのきっかけ講座)などを開催します。

2. 日本福祉大学との連携による講座の開催 (委託料等) 926千円

日本福祉大学と連携して、地域ニーズを踏まえた高等教育機関ならではの講座を開催します(令和8年度からは、オンデマンド講座を新設)。

3. 女性向けデジタル講座の開催 (委託料等) 1,467千円

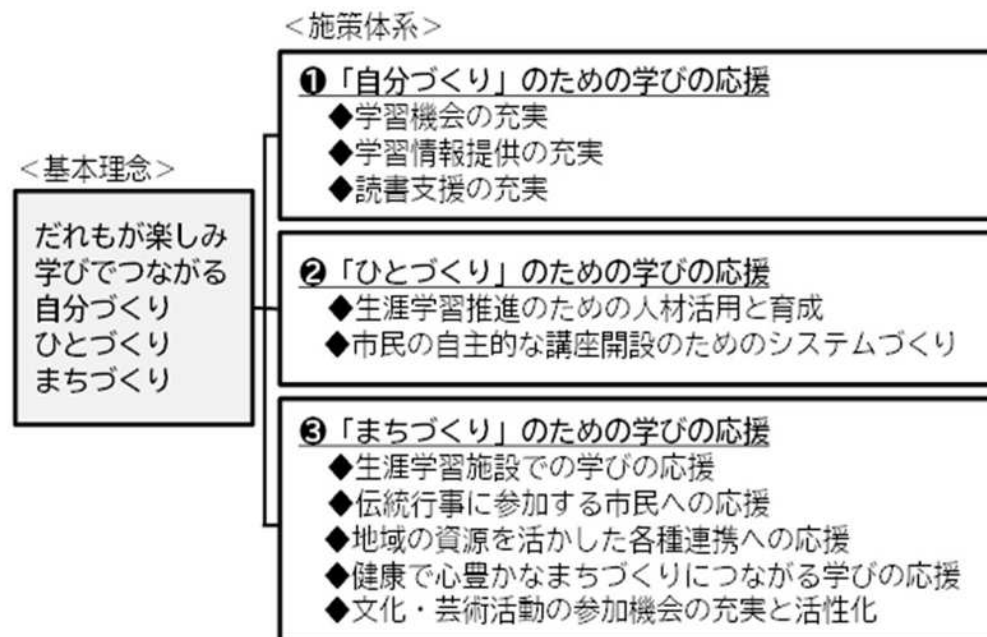
結婚や出産でキャリアを中断した女性を主な対象に、デジタルスキルの基礎講座を実施し、学び直しの機会を提供するとともに、地域における人材を育成します。

2. 得られる成果

市民の知識や技能を高めて自己実現と社会参加を促し、より豊かで持続可能な人生と社会をつくります。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
学習に取り組んでいる市民の割合	- (-)	-	35.0%

3. 事業実施イメージ



生徒の受入先団体整備と体制強化を図ります

(地域スポーツ・文化芸術活動支援事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

半田市の新たな部活動ガイドラインが施行され、土日祝日の中学校部活動が廃止となり、生徒は地域でスポーツ・文化芸術活動を実施することとなりました。各中学校で実施している部活動種目について、生徒が土日祝日も継続して活動を実施できる環境を構築すること等を目的に、生徒の受入先となる団体の体制整備に要する費用の補助を実施します。

(2) 令和8年度予算

事業費	14,136千円	財源 内訳	国県支出金	0千円	その他	0千円
			地方債	0千円	一般財源	14,136千円

◎当該年度主な事業内容

1. 地域スポーツ・文化芸術活動支援事業補助金 14,136千円

生徒の受入先団体の整備と体制強化を目的とした補助事業に要する費用を計上します。

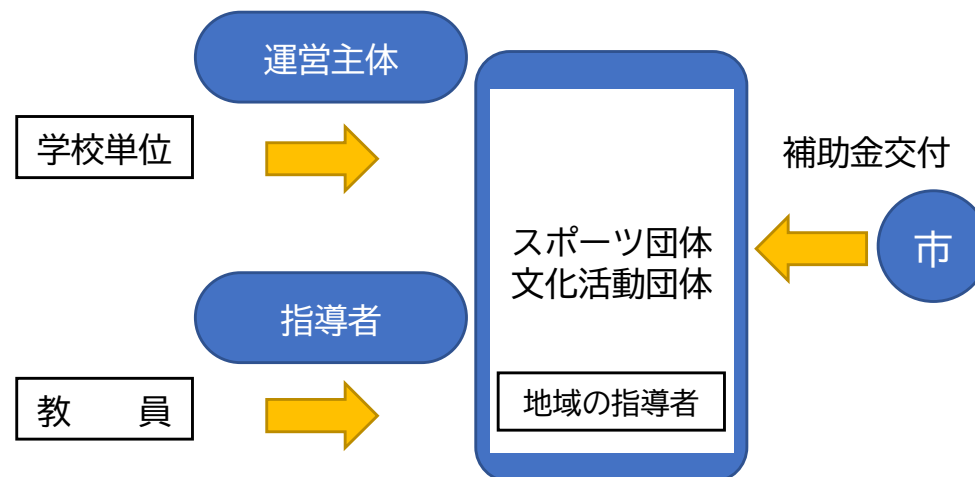
2. 得られる成果

生徒が引き続きスポーツや文化芸術活動が実施できる体制を構築することで、受入先団体の運営体制強化が図られるとともに、地域のスポーツ・文化芸術活動の活性化につながります。

目標値や目指すべき状態

生徒の受入先となる団体の持続可能な受入及び運営体制が構築されている状態

3. 事業実施イメージ



場所を選ばないスポーツを推進します (どこでもスポーツ推進事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

スポーツ推進計画の基本理念である【どこでもスポーツが親しめるように】の内、「場所を選ばないスポーツを推進します」について、公共施設空きスペースなど様々な場所を活用したスポーツイベントを開催することで、計画の推進を図ります。また、市内団体が自ら企画・運営できるように、市が先進事例としてイベント等を実施することで、スポーツを「見る」「触れる」機会を創出し、どこでもスポーツの推進を図ります。

(2) 令和8年度予算

事業費	2,042千円	財源内訳	国県支出金	239千円	その他	82千円
			地方債	0千円	一般財源	1,721千円

◎当該年度主な事業内容

1. スラックライン体験会 (委託料) 478千円

アーバンスポーツの中でもスラックラインは対象に合わせて難易度を調整することができ、幅広い世代で楽しむことができるため、自由参加型イベントとして体験会を開催します。

2. 「はんだスポーツの日」イベント (委託料) 1,294千円

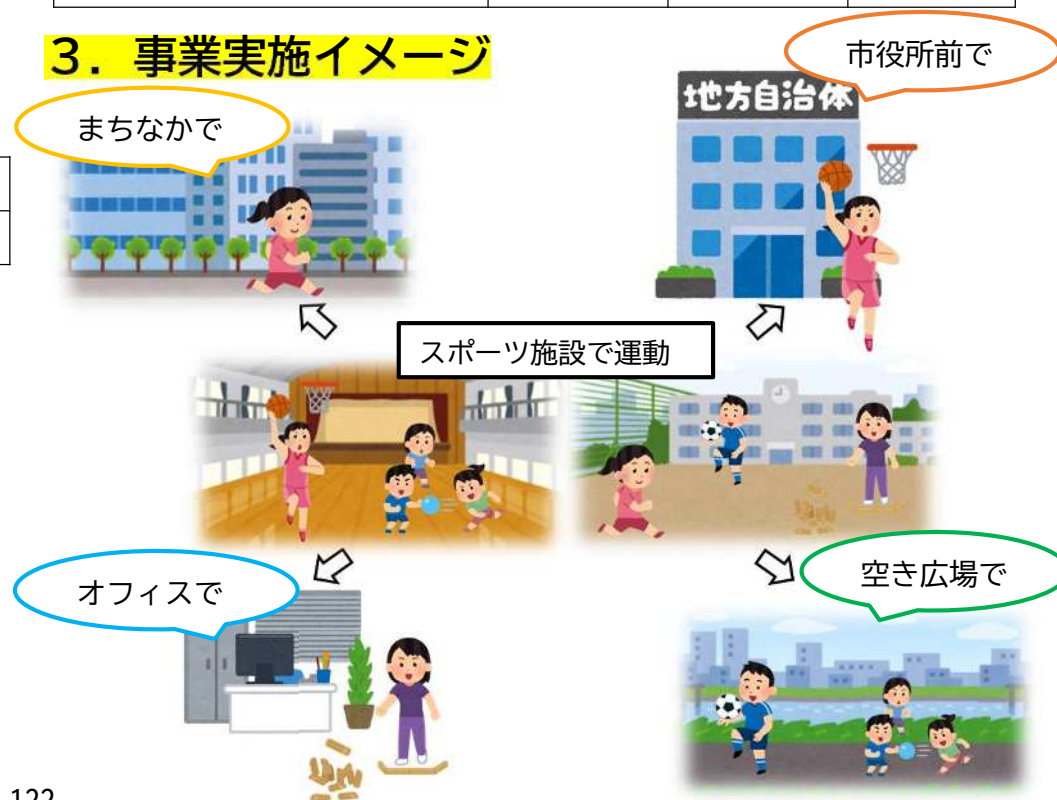
スポーツが苦手な方でも「はんだスポーツの日」は1日スポーツが楽しめるようなイベントを開催し、スポーツの魅力を知ってもらいます。

2. 得られる成果

市内で実施するスポーツイベントの集客力等を把握することで、民間団体主催の新たなスポーツイベントの開催が期待できます。また、スポーツをより身近なものにすることによって、市内のスポーツ実施率向上を図ることができます。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値 (実績値)	R8目標値
スポーツイベントに対する参加者満足度	80.0% (93.4%)	80.0% (91.5%)	90.0%

3. 事業実施イメージ



新総合体育館建設に向け事業者選定の準備を進めます (新総合体育館建設事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

利用者に快適な環境を提供し、更なる利用者の増加に伴うスポーツ実施率の向上を図りつつ、生涯スポーツ社会の実現に向け、だれでも多様な活動が「いつまでも」できる、触れられる活気を生み出す拠点構築を目的に新たな総合体育館を建設します。

(2) 令和8年度予算

事業費	17,108千円	財源 内訳	国県支出金	0千円	その他	0千円
			地方債	0千円	一般財源	17,108千円

◎当該年度主な事業内容

1. 事業者選定業務委託料 17,108千円

新たな体育館の設計・建設・運営を担っていただく事業者選定が、公正・円滑に実施できるための要求水準書や募集要項等の作成、事業者選定の評価などに係る業務を実施します。設計から長期に渡る運営において、必要な性能の確保、安全で安定した事業運営の導入には、技術や法務などの高度な専門知識が求められるため、事業者選定に関する事項について、外部からアドバイスを得る費用を計上します。

2. 得られる成果

利用者に快適な環境を提供し、更なる利用者の増加を図ることで、スポーツ実施率向上や生涯スポーツ社会の実現が推進できます。

目標値や目指すべき状態

快適なスポーツ環境が提供できている状態

3. 事業実施スケジュール

令和6～7年度：基本構想・基本計画策定

令和8～9年度：事業者選定

令和10年度：設計モニタリング

令和11～12年度：建設・開業準備

令和13年度：供用開始

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

子どもの発達段階に応じた図書を始め、障がい者、高齢者、外国にルーツを持つ人など、多様な利用者にとって魅力ある図書館資料を整備し、市民の学びを応援します。

図書資料の整備にあたっては、利用ニーズに沿った図書等を整備し、調査研究の助力、市民の生活や仕事に関する課題や地域課題の解決、市民生活の支え・潤いとなる資料を選定します。

(2) 令和8年度予算

事業費	26,262千円	財源 内訳	国県支出金	0千円	その他	69千円
			地方債	0千円	一般財源	26,193千円

◎当該年度主な事業内容

1. 消耗品費（図書資料整備費） 23,910千円

本館・分館に整備する図書資料、公民館に設置する貸出文庫と小中学校及び幼稚園・保育園等に巡回貸出する図書資料を購入する予算を計上します。

2. 新刊図書データ等情報使用料 2,352千円

図書館システム等で必要となる資料や情報に関する書籍のデータを利用する予算を計上します。

2. 得られる成果

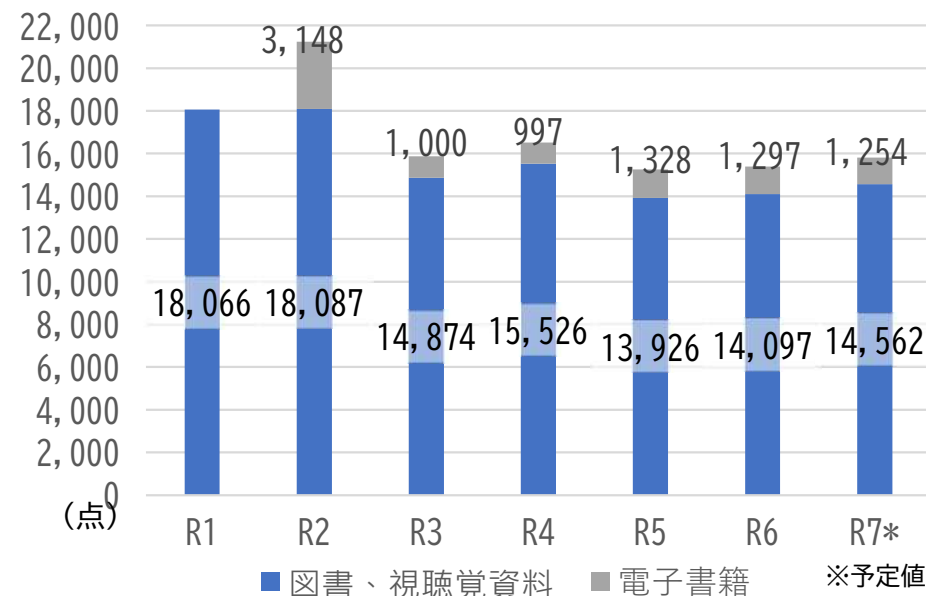
常時発刊される様々な資料について、市民のリクエストに対応しながら、社会情勢や流行などを考慮し、知識の拠点として市民の学びを支えることができます。

目標値や目指すべき状態

利用ニーズに沿った図書資料が整備できている状態であること

3. 参考データ

新規購入点数推移



※令和7年3月31日現在の蔵書数：469,478点
 (内訳) 図書、視聴覚資料 464,058点 電子書籍 5,420点

どこでも読める電子図書資料を整備します (電子図書館整備事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

図書館の立地条件の影響や、生活サイクル・仕事や子育てで来館が難しい市民に対しての読書支援を目的とし、非来館型のデジタル書籍貸出サービスである電子図書館を運営し、より多くの市民の学びを支援します。

資料の整備にあたっては、幅広い年齢層の利用者にとって魅力のある電子書籍を充実させ、情報提供につとめます。

(2) 令和8年度予算

事業費	7,483千円	財源 内訳	国県支出金	0千円	その他	2,001千円
			地方債	0千円	一般財源	5,482千円

◎当該年度主な事業内容

1. 消耗品費（図書資料整備費） 4,912千円
はんだ電子図書館で閲覧できる図書資料を購入する予算を計上します。
2. 電子図書館システム保守委託料 1,782千円
3. 電子書籍データ等情報使用料 789千円
図書館システム等で必要となる資料や情報に関する電子書籍のデータを利用する予算を計上します。

2. 得られる成果

電子書籍の充実及び利活用を促進することにより、時間や場所にとらわれず、より多くの市民に読書の機会を提供することや学びを支えることができます。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
電子書籍閲覧回数	- (154,703回)	-	150,000回

3. 参考データ

電子書籍点数及び利用実績

	蔵書冊数 (冊)	貸出冊数 (冊)	予約冊数 (冊)	閲覧回数 (回)
令和2年度	3,148	1,314	275	3,498
令和3年度	4,148	9,466	1,688	27,210
令和4年度	4,208	6,933	1,192	16,868
令和5年度	4,842	25,724	16,204	133,021
令和6年度	5,420	38,517	13,169	154,703

※令和3年3月2日、電子図書館開始

※令和5年6月1日、市内小中学生向けに電子図書館用IDを配布

市民の学びの機会を提供・支援します (図書館学び支援事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

各分野における専門家などによる講座やイベントを主とした学びの機会を提供し、市民の自己実現や地域課題の解決につながる学びを支援します。

また、市民との共創につながる図書館運営を目指し、ボランティアなどの育成を図ります。

(2) 令和8年度予算

事業費	821千円	財源 内訳	国県支出金	0千円	その他	43千円
			地方債	0千円	一般財源	778千円

◎当該年度主な事業内容

1. 各種講座講師謝金 97千円

市民の自己実現につながる学びの講座（金融講座等）や、読書推進につながる講座（絵本講座等）、ボランティア養成講座等を開催するための講師謝金として予算を計上します。

2. 運営基本計画講演会講師謝金（費用弁償含む） 67千円

今後10年の図書館の基本的な運営方針を定める「半田市立図書館運営基本計画」の市民への周知理解を目的としたキックオフ講演会を開催するための講師謝金と費用弁償として予算を計上します。

3. 図書館活動支援謝金 400千円

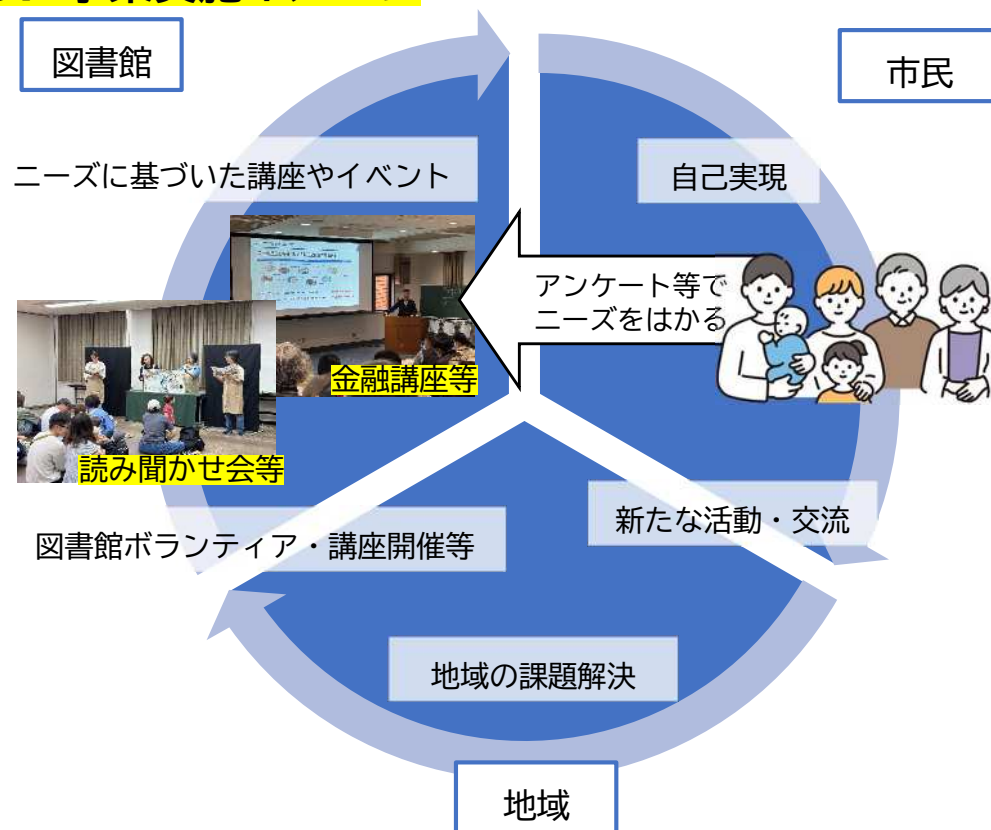
読み聞かせ等の各種行事や本の修理、障がい者支援に携わるボランティア活動に対する謝金として予算を計上します。

2. 得られる成果

市民や地域の課題を把握し、ニーズに沿った講座等を開催することにより、学びを通じて地域の課題解決や活性化に向け行動する市民を支援することができます。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
イベント・講座の満足度（アンケートでの「満足」または「おおむね満足」の割合）	- (-)	-	70%

3. 事業実施イメージ



未公開資料等を活用し市民の文化意識を高めます (文化財等公開活用事業)

歳出科目： 09.05.01.04.02

総合計画：総合計画：1-2-2 文化の振興と継承

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

文化財や、文化財に指定されていない地域の貴重な資料、博物館の収蔵資料等を、展示や講座、情報発信等の公開活用を行うことで、市民が文化財等の保存継承の担い手として活躍していくための意識を高めるため、その基となる郷土の自然、歴史、文化に対する愛着と誇りを育てます。

(2) 令和8年度予算

事業費	2,802千円	財源 内訳	国県支出金	0千円	その他	93千円
			地方債	0千円	一般財源	2,709千円

◎当該年度主な事業内容

1. 山車展示借上料 1,800千円

市指定文化財である本物の山車を展示し、山車文化の情報発信を行います。

2. 印刷製本費 409千円

文化財に興味をもってもらえるようなパンフレットやカードを制作します。

3. 文化財公開講座委託料 225千円

所有している文化財の説明やお囃子等の上演を行います。

2. 得られる成果

市民が地域独自の資源の大切さを理解し、自らが文化財等の保存継承の担い手として活躍していくための意識を高めます。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
半田の歴史や文化に関心を持っている市民の割合	55.0% (50.4%)	55.0%	56.0%

3. 事業実施イメージ

4～7月 乙川 西山 神楽車

8～11月 下半田 北組 唐子車

12～3月 下半田 中組 祝鳩車

展示している山車等でお囃子やからくり人形を上演



令和7年度山車展示及びお囃子等の上演

歴史文化を保存・活用するための計画を策定します (文化財保存活用地域計画策定事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

半田市の歴史・文化を活かしたまちづくりを行うため、中・長期的な基本方針と短期的に実施する具体的な事業を記載した「半田市文化財保存活用地域計画」を策定します。

これにより、地域住民・関係団体・行政など地域全体で文化財を守り、活用し、伝承する体制の構築を図ります。なお、本計画は、令和9年度に文化庁より認定を受けることを目指します。

(2) 令和8年度予算

事業費	3,823千円	財源 内訳	国県支出金	1,911千円	その他	0千円
			地方債	0千円	一般財源	1,912千円

◎当該年度主な事業内容

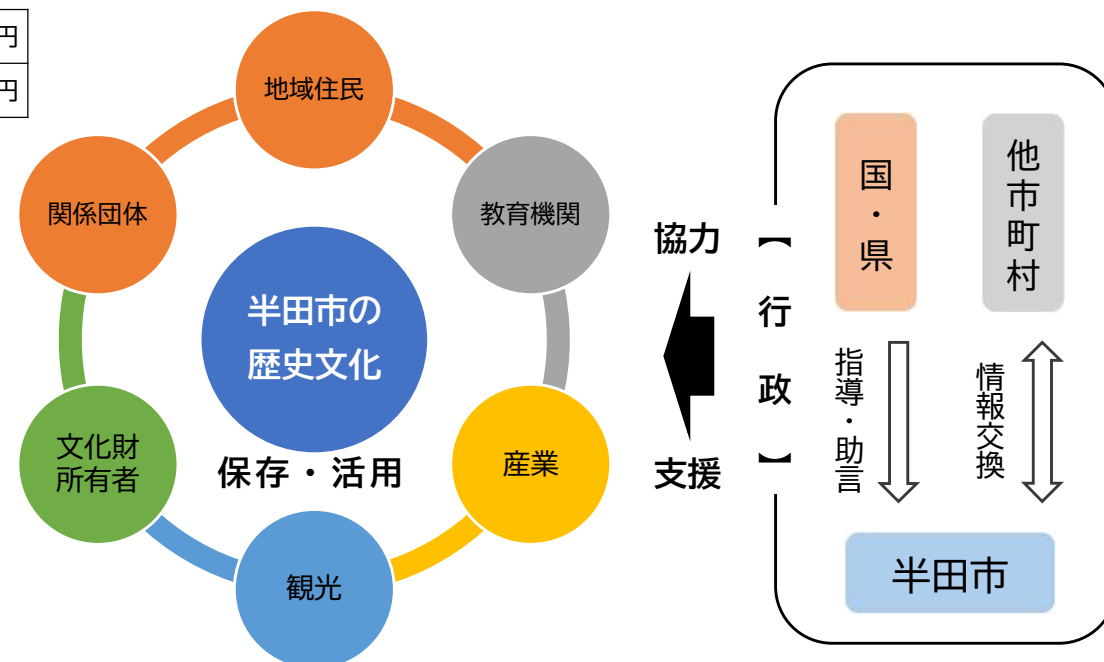
- 1. 委託料** 3,641千円
 文化財保存活用地域計画の策定にかかる、コンサルタント業者による支援業務委託料を計上します。
- 2. 報償費** 164千円
 文化財保存活用地域計画に対して提言をおこなう、協議会の委員の報償費を計上します。
- 3. 旅費** 18千円
 文化庁調査官による現地指導等にかかる旅費を計上します。

2. 得られる成果

市民および文化財所有者の文化財（文化資源）に対する保存意欲の向上が期待できるほか、「歴史と文化のまち半田」のまちづくりの推進とシビックプライドの醸成につなげます。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
文化財保存活用地域計画策定の進捗	- (-)	-	70%

3. 事業実施イメージ



地域の特色ある企画展を開催します (企画展開催事業)

1. 事業の内容

(1) 事業目的・概要

常設展示の内容を補完する展示事業として、テーマや期間を設けた企画展・館蔵品展等を開催し、郷土の自然や歴史、文化について学び触れ親しむ機会を提供します。

令和8年度は、企画展「バードカービングの世界」のほか、館蔵品展や知多工芸展、博物館友の会合同展を開催します。

(2) 令和8年度予算

事業費	1,998千円	財源 内訳	国県支出金	0千円	その他	0千円
			地方債	0千円	一般財源	1,998千円

◎当該年度主な事業内容

1. 印刷製本費 1,272千円
企画展や館蔵品展等のポスター、チラシ、リーフレット印刷費として計上します。
2. 委託料 415千円
知多工芸展での呈茶会業務委託料のほか、企画展で使用する展示ケース制作、展示台布クロス貼替等の委託費として計上します。
3. 看板書料 121千円
企画展や館蔵品展等のエントランス看板書料として計上します。

2. 得られる成果

郷土の自然や歴史、文化への興味関心を高めることで、生涯学習の推進、及び地域文化の向上に資することができます。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
企画展開催期間内入館者数	55,000人 (63,248人)	55,000人	55,000人

3. 事業実施イメージ

※展示会名は仮称

- 4～6月 第41回知多工芸展
- 6～8月 企画展「バードカービングの世界」
- 9～11月 館蔵品展(桐塑人形)
- 12月 第41回博物館友の会合同展
- 3～4月 新収蔵品展



令和7年度企画展「終戦80年 半田の戦争記録」

新美南吉童話賞を実施します（新美南吉童話賞事業）

歳出科目：09.05.06.05.01

総合計画：1-2-2 文化の振興と継承

1. 事業の内容

（1）事業目的・概要

南吉作品の普及と南吉顕彰を進め、ふるさと半田への関心を深めるとともに、児童文学の振興に寄与します。

自由創作部門と新美南吉オマージュ部門の二部門で創作部門を広く募集し、一次・二次審査を経て優秀な作品を表彰します。

令和6年度から郵送・持参に加え、Web応募を採用しました。

受賞作品は入選作品集「赤いろうそく」として発刊、全国の図書館や関係各所へ配布する他、記念館で直接販売や通信販売も行います。

（2）令和8年度予算

事業費	3,331千円	財源 内訳	国県支出金	0千円	その他	555千円
			地方債	0千円	一般財源	2,776千円

◎当該年度主な事業内容

1. 新美南吉童話賞賞金、賞品 1,020千円

入選者への副賞（賞金または図書カード）として計上します。

2. 審査員謝金、謝品 878千円

3. 印刷製本費 831千円

入選作品集や作品募集のポスター・チラシの印刷費として計上します。

2. 得られる成果

多くの方が新美南吉と作品及び南吉のふるさと半田への関心を持ち、児童文学の振興へと繋がります。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
新美南吉童話賞応募数	2,000 (1,637)	2,000 (1,769)	1,800

3. 事業実施スケジュール

募集期間 6月1日～9月10日

第一次審査会 10月18日

最終審査会 11月23日

表彰式 3月上旬

入選作品集発刊 3月上旬



▲入選作品集「赤いろうそく」



▲表彰式の様子

企画展を開催します（企画展開催事業）

1. 事業の内容

（1）事業目的・概要

南吉の魅力発信のために、時宜的な話題を捉え、南吉とその文学をテーマに企画展・特別展を開催。令和8年度は、初めて南吉の自伝的小説をテーマに取り上げた特別展を開催し、企画展では南吉のペンネーム展、南吉作品を若い学生たちがアートとして表現する展示などを行います。

（2）令和8年度予算

事業費	3,543千円	財源 内訳	国県支出金	0千円	その他	192千円
			地方債	0千円	一般財源	3,351千円

◎当該年度主な事業内容

1. 展示作成委託料 2,853千円
特別展の展示作成や、企画展のパネル・サイン作成などの委託費として計上します。
2. 印刷製本費 440千円
ポスター・チラシや、展示解説などの印刷費として計上します。
3. 消耗品費 87千円

2. 得られる成果

毎年の企画展・特別展を魅力あるものにする事で、リピーター増加へと繋がります。

※展示全体を網羅するために、R8年度から目標設定を修正しました。

目標値や目指すべき状態	R6目標値 (実績値)	R7目標値	R8目標値
特別展1日あたりの観覧者数	300人 (229人)	300人 (237人)	-
企画展・特別展1日あたりの観覧者数	- (173人)	-	180人

3. 事業実施イメージ

- 4～7月 企画展 「南吉」だけじゃなかった、ペンネームあれこれ
- 7～10月 特別展 南吉の自伝的小説
- 10～1月 みんなの南吉展 ～青春篇～
- 1～3月 ペーパーアート展

※展示会名は仮称



▲関係者を招いたトークイベント



▲R7 特別展展示会場

新美南吉記念館の改修工事をします （新美南吉記念館更新事業）

1. 事業の内容

（1）事業目的・概要

平成6年6月に開館した新美南吉記念館は、開館から30年余が経過しました。経年劣化によって外観、内観、設備の至るところで損傷が見られます。老朽化した施設や設備の長寿命化を図るとともに、安全で快適に利用できるよう大規模な改修工事を3年かけて行い、初年度となる令和8年度は、実施設計業務を行います。

2. 得られる成果

施設の老朽化にともなう事故発生リスクを軽減するとともに、予防修繕により、施設の長寿命化と修繕費用の低減を実現します。

目標値や目指すべき状態	独自の建築意匠をできる限り保持しつつ長寿命化を実現し、かつ来館者が安全で快適に利用できる状態。
-------------	---

（2）令和8年度予算（全体事業費：890,469千円 令和8～10年度）

事業費	22,869千円	財源 内訳	国県支出金	0千円	その他	0千円
			地方債	0千円	一般財源	22,869千円

◎当該年度主な事業内容

令和6年度に実施した施設現況調査と長寿命化改修計画に基づいて、効率的かつ効果的な実施設計を行い、改修工事に繋がります。

3. 事業スケジュール

	R8	R9	R10
設計業務	←→		
工事（本館）		←→	
〃（付帯施設）			←→

1. 実施設計委託料 22,869千円



記念館本館



付帯施設の一部

令和8年度：実施設計

令和9年度：10月頃工事着手

準備・仮設・外壁・防水工事着工

令和10年度：10月頃工事完了

内部・電気・機械・付帯施設着工

全工程完了

工事中の約1年間は休館の予定

3か年実施計画からの主な変更点（令和8年度事業）

1. 3か年実施計画には無いが予算化された事業及び3か年実施計画から変更のあった事業(※1)

※1…3か年実施計画公表後、政策的な内容変更(新規・拡充等)を伴う事業など

単位：千円

担当課	予算書掲載頁	事業名	3か年実施計画額	8年度予算額 (うち新規・拡充分等)
デジタル課	一般 52頁	標準準拠システム運用事業	140,290	120,521 (△19,769)
防災安全課	一般 123頁	知多中部広域事務組合消防費負担金	1,665,496	1,225,734 (△439,762)
農政課	一般 104頁	道の駅建設事業	20,000	12,155 (△7,845)
商工企業立地課	一般 107頁~108頁	知多半田駅前広場改修事業	56,954	68,121 (11,167)
健康課	一般 96頁	予防接種事業(成人)	246,295	301,965 (55,670)
保育幼稚園課	一般 79頁	旧花園保育園解体事業	50,876	77,720 (26,844)
都市計画課	—	Park-PFI事業	59,766	0 (△59,766)
学校教育課	一般 134頁	乙川東小学校改築等事業	317,860	261,896 (△55,964)

2. 3か年実施計画にあったが、令和8年度分の一部(または全部)を国の補正予算に合わせて前倒して、令和7年度に予算化された事業

単位：千円

担当課	予算書掲載頁	事業名	3か年実施計画額	7年度3月補正 予算計上額 (うち前倒し分)
農政課	一般 105頁	農業用ため池保全・防災減災対策事業	12,800	11,200 (11,200)
都市整備課	一般 116頁	JR武豊線連続立体交差化事業	651,598	△112,018 (44,132)
都市整備課	—	亀崎地区無電柱化等整備事業	205,367	205,367 (205,367)
維持管理課	一般 113頁	橋梁維持修繕事業(維持修繕・改修)	46,410	9,272 (9,272)

第7次総合計画施策体系

章	基本施策	単位施策
第1章 学びあい育ちあう 自分らしさと夢を育むまち	1 育ちの支援	1 子ども子育て家庭 2 幼児教育・保育 3 義務教育
	2 学びの応援	1 学びの推進 2 文化の振興と継承
第2章 地球に配慮しながら成長する 都市の活力を育むまち	1 観光・産業	1 観光 2 企業立地 3 農業 4 商工業
	2 環境	1 脱炭素社会 2 循環型社会 3 生活環境
第3章 つながり助けあう 健康と笑顔を育むまち	1 地域福祉	1 地域福祉 2 高齢者福祉 3 障がい者福祉
	2 健康	1 健康づくり 2 スポーツ
	3 医療体制	1 地域医療体制 2 半田病院
第4章 安心・安全で快適な生活 質の高い暮らしを育むまち	1 安心・安全な社会	1 防災・減災 2 交通安全 3 生活安全 4 消防・救急
	2 都市空間	1 市街地 2 景観・公園 3 移動環境
	3 都市基盤	1 道路 2 水道 3 下水道 4 港湾
第5章 互いを尊重し知恵と力を活かしあう 豊かさを育むまち	1 協働	1 情報共有 2 コミュニティ活動 3 市民活動
	2 共生社会	1 多文化共生社会 2 自分らしく生きられる社会
	3 行財政	1 行政運営 2 財政運営